坂 元 遺 跡

県営農地保全整備事業船引工区にかかる埋蔵文化財調査報告書

2005

清武町教育委員会



巻頭図版 1 坂元遺跡全景(東より)



巻頭図版 2 坂元遺跡 B 区



巻頭図版 3 坂元遺跡 D・E・F区

本書は、清武町船引地区で進められている県営農地保全整備事業に伴い、平成12年度に 発掘調査を行った坂元遺跡の調査報告書です。

坂元遺跡では、今から約2万年前の石器から弥生時代の住居まで、幅広い時期にわたる 人々の生活の痕跡が数多く確認されましたが、なかでも今から約7000年前から約9000年 前の縄文時代早期の資料は、当時の南九州に暮らす人々の生活を復元するうえでの貴重な データとなっています。

今後、これらの貴重な文化遺産が、地域における歴史文化の解明や 21 世紀を担う子供たちへ着実に継承されるとともに、子供たちの豊かな心を育む教育の場の生きた資料となることができれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査を実施するに当たり、多大な御協力をいただきました船引土地改良区をはじめとする地元の皆様並びに関係各局に対し、心より厚く御礼申し上げます。

平成17年3月

清武町教育委員会 教育長 神 川 孝 志

例 言

- 1. 本書は、県営農地保全整備事業(船引工区)に伴い、平成12年度に実施された坂元遺跡の発掘調査報告書です。
- 2. 現場における測量・実測については、井田篤・松原一哉・安楽哲文及び実測補助員が行い、一部を (有) ジパング・サーベイに委託した。

実測補助員…

(50 音順)

3. 遺物の整理及び報告書作成業務については、平成16年度に井田・秋成雅博及び整理作業員が清武町埋蔵文化財センターで行った。

整理作業員‥

(50 音順)

- 4. 本書で使用した写真については、現場における撮影は井田・松原・安楽が行い、空中写真については (株)スカイサーベイに委託した。また、遺物撮影については、井田・秋成・若杉知和が清武町 埋蔵文化財センターで行った。
- 5. 本書で使用した放射性炭素年代については、データ測定を(株)古環境研究所に委託した。 尚、掲載している放射性炭素年代測定値については、加速器質量分析法による補正¹⁴ C年代である。
- 6. 本書で使用した土層及び土器の色調等は、『新版 標準土色帖 (1997年後期版)』の土色に準拠した。
- 7. 本書で使用した方位は磁北と座標北がある。座標北を用いる場合にはG.N.と表示している。レベルは海抜絶対高である。
- 8. 本書に使用した記号は次のとおりである。 SA…竪穴式住居跡 SC…土 坑(炉穴・落し穴も含む) SI…集石遺構
- 9. 本書の執筆と編集は、井田・秋成が担当した。文責については本文目次に記した。
- 10. 出土遺物その他諸記録は、清武町埋蔵文化財センターに保管している。

目 次

第Ⅰ章	はじめに	第2節	縄文時代早期79
tote a teter		1	遺構
第1節	調査の経過・・・・・・・・1		(1) 埋設土器········79(文責 井田)
1	調査に至る経緯1(文責 井田)		(2)集石遺構79(")
2	調査組織1(")		(3) 炉穴95(")
第2節	遺跡の環境2		(4)遺構内出土遺物 ····· 96 仅責 井田·秋成
1	地理的環境2(文責 井田)	2	包含層出土遺物
2	歷史的環境2(")		(1) 土器100(文責 井田)
3	周辺遺跡2(")		(2) 石器110(文責 秋成)
第3節	調査の方法と経過 4	第3節	その他の時期126
1	調査の方法4(文責 井田)		竪穴式住居126(文責 井田)
2	調査の経過4(")	第IV章	A・C・D・F区における調査
3	調査日誌抄5(")		(縄文時代早期)
第4節	基本土層9	第1節	遺構128
1	各区の地形9(文責 井田)	_	集石遺構128(文責 井田)
2	基本土層9(")	1 2	来行退構128(又資 井田) おとし穴129(
第Ⅱ章	B区における調査(縄文時代早期)		,
77 11 4	DETERMINE (MICKING TO 1 791)	第2節	包含層出土遺物132
第1節	遺構11	1	土器132(文責 井田)
1	検出状況·····11(文責 井田)	2	石器133(文責 秋成)
2	集石遺構と炉穴23(")	第V章	まとめ
3	遺構内出土遺物23(文責 井田・秋成)		
第2節	包含層出土遺物33	1	旧石器時代の調査について…141
1	土器33(文責 井田)		石器製作について141(文責 秋成)
2	土製品33(")		ナイフ形石器について 141(")
3	石器40(文責 秋成)		石器組成について 142(
&& 111 → ★		2	縄文時代早期の調査について ・・・ 142
第Ⅲ章	E区における調査		集石遺構について · · · · · · 142(文責 井田)
第1節	旧石器時代49		炉穴について143(")
1	旧石器時代遺物包含層の概要・・・・・49(文責 秋成)		包含層出土土器について … 143(")
2	礫群(SI-73) ·············52(")		槍先形尖頭器について 144(文責 秋成)
3	A ブロックの様相·······52(* *)		石鏃について144(")
4	Bブロックの様相60(")	調査	全抄録147
5	旧石器時代終末期の資料について…68(")		

挿図目次

第 1 図	遺跡位置図3 (S=1/25000)	第39図	E区旧石器時代遺構·遺物分布図【器種別】51 (\$=1/100)
第 2 図	調査区域図6 (S=1/2500)	第40図	E区Aブロック接合資料平面分布図52 (\$=1/60)
第 3 図	調査区削平状況図6 (S=1/2500)	第41図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図①: A ブロック · · · 53 (S=2/3)
第 4 図	トレンチ配置図6	第42図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図②: A ブロック · · · 54 (S=2/3)
第 5 図	坂元遺跡周辺地形図7·8	第43図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図③: A ブロック · · · 55 (S=2/3)
第 6 図	基本土層図①10 (\$=1/30)	第44図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図④: A ブロック · · · 56 (S=2/3)
第7図	基本土層図②10 (\$-1/30)	第45図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑤: A ブロック · · · 57 (S=2/3)
第 8 図	B 区縄文時代早期遺構配置図及び焼礫分布図…11 (S=1/250)	第46図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑥:A ブロック · · · 58 (S=2/3)
第 9 図	SI-27~30実測図······12 (s-1/30)	第47図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑦: A ブロック · · · 59 (S-2/3)
第10図	SI-31実測図······13 (S=1/30)	第48図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑧: A ブロック ・・・ 60 (S=2/3)
第11図	SI-53·54·56、SC-5~7実測図①14 (S=1/30)	第49図	E 区 B ブロック接合資料平面分布図 61 (S=1/60)
第12図	SI-53·54·56、SC-5~7実測図②15 (S=1/30)	第50図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑨:B ブロック ・・・ 62 (S=2/3)
第13図	SI-55実測図······15 (S=1/30)	第51図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑩:B ブロック … 63 (\$=2/3)
第14図	SI-67、SC8·9、SC10~13実測図① ··· ··· 16 (S-1/30)	第52図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑩:B ブロック … 64 (\$=2/3)
第15図	SI-67、SC8·9、SC10~13実測図② ······· 17	第53図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑩:B ブロック ・・・ 65 (\$=2/3)
第16図	SI-7実測図18 (S-1/30)	第54図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図億:B ブロック ・・・ 66 (S=2/3)
第17図	SI-51実測図······18	第55図	E 区旧石器時代包含層出土石器実測図⑭:B ブロック・他 ・・・ 67 (S=2/3)
第18図	SI-52実測図······ 18 (S=1/30)	第56図	E区旧石器時代包含層出土石器実測図®:出土位置不明 ··· 68 (S=2/3)
第19図	SI-38実測図······ 19	第57図	埋設土器実測図79 (S=1/5)
第20図	SX-1実測図······19 (S=1/30)	第58図	SI-72実測図······79 (S=1/30)
第21図	SX-2実測図······19	第59図	E 区縄文時代早期遺構配置図80 (S=1/400)
第22図	B 区遺構内遺物実測図①······25 (土器: S=1/3 石器: S=2/3)	第60図	SI-62実測図·····81 (S=1/30)
第23図	B 区遺構内遺物実測図②・・・・・26 (±器: S=1/3 石器: S=2/3)	第61図	SI-26実測図······81 (S=1/30)
第24図	B 区遺構内遺物実測図③······27 (土器: S=1/3 石器: S=2/3)	第62図	SI-17実測図······81 (S=1/30)
第25図	B 区遺構内遺物実測図④······28 (土器: S=1/3 石器: S=2/3)	第63図	SI-1実測図······82 (s=1/30)
第26図	B 区縄文時代早期包含層遺物分布図33 (S=1/250)	第64図	SI-58実測図······ 82 (s=1/30)
第27図	B 区貝殼文系土器分布図······35 (S=1/250)	第65図	SI-42実測図······ 82 (S=1/30)
第28図	B 区押型文土器分布図······35 (S=1/250)	第66図	SI-45実測図····· 82 (S=1/30)
第29図	B 区塞ノ神式土器・輪状耳栓分布図 35 (S=1/250)	第67図	SI-24実測図····· 83 (S=1/30)
第30図	B 区縄文時代早期包含層出土土器実測図①·····36 (S=1/3)	第68図	SI-40·74実測図······83 (S=1/30)
第31図	B 区縄文時代早期包含層出土土器実測図②·····37 (S=1/3)	第69図	SI-32実測図·····83 (S=1/30)
第32図	B 区縄文時代早期包含層出土土器実測図③·····38 (S=1/3)	第70図	SI-11実測図·····84 (S=1/30)
第33図	B 区輪状耳栓実測図38 (S=2/3)	第71図	SI-22実測図·····84 (S=1/30)
第34図	B 区縄文時代早期包含層出土石器実測図①・・・・・41 (S=2/3)	第72図	SI-13実測図·····84 (S=1/30)
第35図	B 区縄文時代早期包含層出土石器実測図②42 (S=1/2·2/3)	第73図	SI-12実測図·····85 (S=1/30)
第36図	SI-73出土遺物実測図49 (S=2/3)	第74図	SI-14実測図·····85 (S=1/30)
第37図	SI-73実測図······49 (S=1/30)	第75図	SI-23実測図·····85 (S=1/30)
第38図	E 区旧石器時代遺構・遺物分布図【石材別】… 50 (S=1/100)	第76図	SI-33実測図·····85 (S=1/30)

第77図	SI-34実測図······86	第117図	E 区縄文時代早期包含層出土石器実測図②…113 (S=2/3)
第78図	SI-35実測図·····86 (s=1/30)	第118図	E 区縄文時代早期包含層出土石器実測図③…114 (S=2/3)
第79図	SI-41実測図·····86 (s-1/30)	第119図	E 区縄文時代早期包含層出土石器実測図④…115 (S=2/3)
第80図	SI-43実測図······86	第120図	E 区縄文時代早期包含層出土石器実測図⑤…116 (S-1/2)
第81図	SI-59実測図······86	第121図	SA-1位置図······126 (s=1/1000)
第82図	SI-63実測図······86	第122図	SA-1実測図······126 (s=1/60)
第83図	SI-3実測図······87	第123図	SA-1出土遺物実測図127 (S-1/5)
第84図	SI-15実測図······87 (S=1/30)	第124図	SI-8実測図······128 (S=1/30)
第85図	SI-19実測図······87 (S=1/30)	第125図	SI-9実測図······128 (s=1/30)
第86図	SI-44実測図······87 (S=1/30)	第126図	SI-10実測図······128 (\$=1/30)
第87図	SI-46実測図······87 (s=1/30)	第127図	SC-1実測図······129 (S=1/30)
第88図	SI-48実測図······88	第128図	SC-2実測図······129 (S-1/30)
第89図	(S-1/30) SI-49実測図······88	第129図	A·C·D·F 区縄文時代早期包含層出土土器分布図 ··· 131 (S=1/2000)
第90図	(S=1/30) SI-61実測図······88	第130図	A·C·D·F 区縄文時代早期包含層出土土器実測図 ··· 133
第91図	(S=1/30) SI-60実測図······88	第131図	(S=1/3) A·C·D·F 区縄文時代早期包含層出土石器実測図① · · · 134
第92図	(S=1/30) SI-64実測図······88	第132図	(S=2/3) A·C·D·F 区縄文時代早期包含層出土石器実測図② · · · 135 (S=2/3)
第93図	(S=1/30) SI-18実測図・・・・・89	第133図	A·C·D·F 区縄文時代早期包含層出土石器実測図③ ··· 136
第94図	(S=1/30) SI-37実測図·····89		(S=1/2)
第95図	(S=1/30) SI-2実測図·····89		
第96図	(S=1/30) SI-4実測図·····89		表目次
/14			
第97図	(S=1/30) SI-16実測図······89		2
	SI-16実測図······89 (S=1/30) SI-20·21実測図····89	第1表	B 区集石遺構及び炉穴観察表·······20
第97図	SI-16実測図・・・・89 (S=1/30) SI-20・21実測図・・・・89 (S=1/30) SI-39実測図・・・89	第 1 表 第 2 表	
第97図	SI-16実測図・・・・89 (S=1/30) SI-20・21実測図・・・・89 (S=1/30) SI-39実測図・・・・89 (S=1/30) SI-25実測図・・・90	<i>711</i>	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・28・29
第97図 第98図 第99図	SI-16実測図・・・・89 (S=1/30) SI-20・21実測図・・・89 (S=1/30) SI-39実測図・・・・89 (S=1/30) SI-25実測図・・・・90 (S=1/30) SI-47実測図・・・・90	第 2 表 第 3 表 第 4 表	B 区集石遺構及び炉穴観察表20 B 区遺構内出土遺物一覧表24 B 区遺構内出土土器観察表28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表30
第97図 第98図 第99図 第100図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (SI-20•21実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (SI-5実測図 90	第 2 表 第 3 表 第 5 表	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40
第97図 第98図 第99図 第100図 第101図	SI-16実測図・ 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 SI-6実測図・90 90	第 3 表 表 表 表 表 表 表	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・・43
第97図 第98図 第99図 第100図 第101図 第102図	SI-16実測図・ 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 SI-36実測図・90 90	第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8 8 8 8 8 8 8	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70
第97図 第98図 第99図 第100図 第101図 第102図 第103図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S-1/30) 89 (S-1/30) 89 (S=1/30) 90 (S-1/30) 90	第 3 表 表 表 表 表 表 表	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・・43
第97図 第98図 第99図 第100図 第101図 第102図 第103図 第104図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (SI-20·21実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 SI-47実測図 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S-1/30) 90 <	第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・・91
第97図 第98図 第99図 第100図 第101図 第102図 第103図 第104図 第105図	SI-16実測図・ 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90	第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8 表 表 表 表 表	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・・・91 E 区炉穴観察表・・・・96
第97図 第98図 第99図 第100図 第101図 第102図 第103図 第104図 第105図 第106図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (第第第第第第第第第第第第第第第第112	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・・91 E 区炉穴観察表・・・・96 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・・98 E 区遺構内出土土器観察表・・・98 E 区遺構内出土土器観察表・・・98
第97図 第98図 第99回 第100図 第102図 第103図 第104図 第106図 第106図 第107図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 SI-25実測図 90 (S=1/30) 90 SI-5実測図 90 (S=1/30) 90 SI-5実測図 90 (S=1/30) 90 SI-36実測図 90 (S=1/30) 90 SI-71実測図 90 (S=1/30) 90 SC-3・4実測図 96 (S=1/30) 97 (土器: S=1/3 石器: S=2/3) 97 (土器: S=1/3 石器: S=2/3) 97 (土器: S=1/500) 97 E 区規文 英十 100 (S=1/500) E E 区貝殼文系土器分布図 102	第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 1 1 1 2 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・・24 B 区遺構内出土造物一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第97図 第98図 第999図 第100図 第100図 第102図 第103図 第104図 第106図 第107図 第108図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 SI-47実測図 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 SI-6実測図 90 (S=1/30) 90 (S	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・91 E 区炉穴観察表・・・96 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・98 E 区遺構内出土土器観察表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・108・109 E 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・110・111
第97図 第98図 第100図 第101図 第102図 第103図 第104図 第106図 第106図 第108図 第109図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・24 B 区遺構内出土造物一覧表・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・・91 E 区炉穴観察表・・・・96 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・98 E 区遺構内出土土器観察表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・108・109 E 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・110・111 E 区 SA-1出土石器計測分類表・・・1111
第97図 第98図 第100図 第101図 第102図 第103図 第104図 第106図 第107図 第107図 第108図 第109図 第110図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・・30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・91 E 区炉穴観察表・・・96 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・98 E 区遺構内出土土器観察表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・108・109 E 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・110・111
第97図 第98図 第100図 第101回図 第102図図 第103図図 第104図図 第106図図 第107回図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (S=1/30) 90 SI-25実測図 90 (S=1/30) 90 SI-5実測図 90 (S=1/30) 90 SI-36実測図 90 (S=1/30) 90 SI-71実測図 90 (S=1/30) 90 SC-3・4実測図 96 (S=1/30) 96 E C遺構内遺物実測図 97 (±器:5-1/3 石器:5-2/3) E 区縄大時代早期包含層遺物分布図 100 (S=1/500) E 区具設文系土器分布図 102 (S=1/400) E 区押型文土器分布図 103 (S=1/400) E 区塞ノ神式土器分布図 104 (S=1/400) E 区郷文時代早期包含層出土土器実測図① 105 E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図② 106	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	B 区集石遺構及び炉穴観察表 20 B 区遺構内出土遺物一覧表 24 B 区遺構内出土遺物一覧表 28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表 30 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表 39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表 43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表 69・70 E 区集石遺構観察表 91 E 区炉穴観察表 91 E 区遺構内出土遺物一覧表 98 E 区遺構内出土出器観察表 98 E 区遺構内出土石器計測分類表 98 E 区遺構内出土石器計測分類表 98 E 区遺構内出土石器計測分類表 98 E 区縄文時代早期包含層出土土器観察表 108・109 E 区縄文時代早期包含層出土工器制別類表 110・111 E 区 SA-1出土石器計測分類表 127 C 区集石遺構観察表 128
第97回 图 第98回 第100回 图 第101回 图 第102回 图 图 第104回 图 图 第105回 图 第106回 图 图 第110回 图 图 第111回 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图	SI-16実測図・ 89 (S=1/30) 89 SI-20・21実測図・ 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 SI-25実測図・ 90 (S=1/30) 90 SI-47実測図・ 90 (S=1/30) 90 SI-5実測図・ 90 (S=1/30) 90 SI-36実測図・ 90 (S=1/30) 90 SI-71実測図・ 90 (S=1/30) 96 SC-3・4実測図・ 96 (S=1/30) 97 (土器: S=1/3 石器: S=2/3) E 区縄文時代早期包含層遺物分布図・ 100 (S=1/500) E 区月数文系土器分布図・ 102 (S=1/400) E 区押型文土器分布図・ 103 (S=1/400) E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図②・ 106 (S=1/3) E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図②・ 106 E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図③・ 107	第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・・24 B 区遺構内出土造物一覧表・・・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・・91 E 区炉穴観察表・・・・96 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・・98 E 区遺構内出土出器観察表・・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・108・109 E 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・110・111 E 区 SA-1出土石器計測分類表・・・127 C 区集石遺構観察表・・・・128 A・C・D・F 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・132
第978図図第100図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-16実測図 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 89 (S=1/30) 90 (S=1/400) E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図① 100 (S=1/400) E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図② 106 (S=1/40) E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図② 106 (S=1/3) E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図② 106	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・・24 B 区遺構内出土土器観察表・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・・96 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・・98 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・・98 E 区遺構内出土工器観察表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・108・109 E 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・108・109 E 区縄文時代早期包含層出土工器観察表・・・110・111 E 区 SA-1出土石器計測分類表・・・・1111 E 区 SA-1出土石器計測分類表・・・・127 C 区集石遺構観察表・・・・128 A・C・D・F 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・132 A・C・D・F 区縄文時代早期包含層出土工器計測分類表・・・137 坂元遺跡集石遺構及び炉穴変遷略表・・・143 坂元遺跡縄文時代早期包含層出土土器集計表・・・143
第978	SI-16実測図	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	B 区集石遺構及び炉穴観察表・・・・・20 B 区遺構内出土遺物一覧表・・・・・24 B 区遺構内出土造物一覧表・・・・・28・29 B 区遺構内出土石器計測分類表・・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・39・40 B 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・43 E 区旧石器時代包含層出土遺物計測分類表・・・69・70 E 区集石遺構観察表・・・・91 E 区炉穴観察表・・・・96 E 区遺構内出土遺物一覧表・・・・98 E 区遺構内出土出器観察表・・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・98 E 区遺構内出土石器計測分類表・・・・98 E 区縄文時代早期包含層出土土器観察表・・・108・109 E 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・110・111 E 区 SA-1出土石器計測分類表・・・1111 E 区 SA-1出土石器計測分類表・・・・127 C 区集石遺構観察表・・・・128 A・C・D・F 区縄文時代早期包含層出土工器観察表・・・132 A・C・D・F 区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表・・・137 坂元遺跡集石遺構及び炉穴変遷略表・・・143

図版目次

巻頭図版1	坂元遺跡全景(東より)	図版74	SI-11 (西から) ······	95
巻頭図版2	坂元遺跡 B 区	図版75	SI-22 (南から) ····································	93
巻頭図版3	坂元遺跡 D·E·F 区	図版76	SI-13 (南から) ····································	93
図版1	坂元遺跡基本土層①(谷部)9	図版77	SI-14(検出)······	93
図版2	坂元遣跡基本十層②(台地端部)9	図版78	SI-14(半截)······	93
図版3	SI-27~31検出(北から) ·······20	図版79	SI-14(南から) ····································	93
図版4	SI-27~31配石(北西から)······20	図版80	SI-12(北から)····································	93
図版5	SI-27~31掘り込み完掘(北から)20	図版81	SI-23(南から) ····································	93
図版6	SI-53·54·56、SC-5·6·7検出(北西から) ·······20	図版82	SI-33 (南から)	93
図版7	SI-53 (北西から) ····································	図版83	SI-34(東から)····································	93
図版8	SI-54(北から)···················21	図版84	SI-35(東から)	93
図版9	SI-56、SC-5(東から)·······21	図版85	SI-41 (北から) ····································	93
図版10	SC-6 (東から) ··················21	図版86	SI-43(北から) ····································	93
図版11	SC-7(東から)·······21	図版87	SI-59(北西から)····································	93
図版12	SI-55(北から)21	図版88	SI-63(西から)····································	93
図版12	SI-67、SC-8~13検出(南東から) ·············21	図版89	SI-3(南から)····································	94
	SI-67、SC-8・9 (南東から)21	図版90	SI-15(南から)····································	0/
図版14	SI-67配石(東から)·······22	図版91	SI-19(南から) ····································	0/
図版15	SC-9(東から)······22	図版92	SI-44(西から) ····································	04
図版16	SC-9(東から)		SI-46 (西から) ····································	04
図版17	SC-10・11 (東から)	図版93	SI-48 (南から) ····································	0.4
図版18	SU-13(果から)····································	図版94	SI-48 (南から) ····································	0.4
図版19	SI-7·51·52 (南西から)	図版95	SI-60(西から)	94
図版20	SI-38 (北から)	図版96	SI-64(西から)	94
図版21	SX-1 (南東から)·······22	図版97	51-64(四から)	94
図版22	SX-2南東から)·······22	図版98	SI-18(南から)	94
図版23	SI-27出土遺物·······30	図版99	SI-37(南東から)·······	94
図版24	SI-28出土遺物········30	図版100	SI-2(西から)·····	94
図版25	SI-29出土遺物·······30	図版101	SI-4(北西から)······	94
図版26	SI-30出土遺物······30	図版102	SI-16(西から) ······	94
図版27	SI-31出土遺物·······31	図版103	SI-20·21(南東から)·····	94
図版28	SI-53出土遺物········31	図版104	SI-25 (北から) ····································	95
図版29	SI-54出土遺物·······31	図版105	SI-39 (南東から) ····································	95
図版30	SC-5出土遺物······31	図版106	SI-47 (西から) ····································	95
図版31	SC-6出土遺物·······31	図版107	SI-5 (南から) ····································	95
図版32	SC-7出土遺物·······31	図版108	SI-6 (西から) SI-36 (西から)	95
図版33	SI-55出土遺物············31	図版109	SI-36(四から)	95
図版34	SI-67出土遺物······32 SC-8出土遺物·····32	図版110	SC-3・4(南から)····································	95
図版35	SC-8出土遺物······32 SC-9出土遺物·····32	図版111	SC-3 (角から)	95
図版36	SC-9出土遺物······32 SC-10出土遺物·····32	図版112	埋設土器	95
図版37	SC-10出土遺物·······32 SC-11出土遺物·····32	図版113	埋放工器·······SA-1出土石器··········	99
図版38	SC-11出土退物·······32 SC-12出土遺物······32	図版114 図版115	SI-62出土遺物····································	00
図版39	SC-12田工遺物·······32 SC-13出土遺物·····32	図版116	SI-1出土遺物······	00
図版40	SC-13出土遺物·······32 SI-51出土遺物·····32	図版110 図版117	SI-45出土遺物····································	00
図版41	SI-52出土遺物·······32	図版117	SI-13出土遺物····································	00
図版42 図版43	SX-1出土遺物······32	図版118	SI-41出土遺物·······	00
	SX-2出土遺物·······32	図版120	SI-59出土遺物····································	90
図版44	B 区縄文時代早期包含層出土土器① · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	図版120	SI-40出土遺物····································	90
図版45	B 区縄文時代早期包含層出土土器② · · · · · · · · 44	図版121 図版122	SI-60出土遺物·······	00
図版46	B区縄文時代早期包含層出土土器③······45	図版122	SI-21出土遺物······	00
図版47	B区縄文時代早期包含層出土土器④·輪状耳栓 · · 45	図版123	SC-3出土遺物····································	00
図版48	B区縄文時代早期包含層出土石器① ···········46	図版12年 図版125	SC-4出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	00
図版49	B区縄文時代早期包含層出土石器② ······47	図版123	E 区縄文時代早期包含層出土土器①	117
図版50 図版51	D 区牌又时八平期也占眉山上口岙(g)************************************			111
	P 区绅女哄从日期与今屋山土工业(0	図版197	区区建立時代日期与今層出土土界の	117
	B区縄文時代早期包含層出土石器③······48	図版127 図版128	E 区縄文時代早期包含層出土土器②	117
図版52	SI-73······49	図版128	E 区縄文時代早期包含層出土土器②·········· E 区縄文時代早期包含層出土土器③··········	118
図版52 図版53	SI-73······49 E 区旧石器時代包含層出土石器①·····71	図版128 図版129	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④	·· 118
図版52 図版53 図版54	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72	図版128 図版129 図版130	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑤	·· 118 ·· 118 ·· 119
図版52 図版53 図版54 図版55	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73	図版128 図版129 図版130 図版131	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑤ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥	··118 ··118 ··119 ··119
図版52 図版53 図版54 図版55 図版56	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74	図版128 図版129 図版130 図版131 図版132	E 区縄文時代早期包含層出土土器②	·· 118 ·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120
図版52 図版53 図版54 図版55 図版56 図版57	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑤ 75	図版128 図版129 図版130 図版131 図版132 図版133	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土工器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器②	·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121
図版52 図版53 図版54 図版55 図版56 図版57 図版58	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76	図版128 図版129 図版130 図版131 図版132 図版133 図版134	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土工器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器②	·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121 ·· 122
図版52 図版53 図版54 図版55 図版56 図版57 図版58 図版59	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77	図版128 図版129 図版130 図版131 図版132 図版133 図版134 図版135	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑤ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器③	·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121 ·· 122 ·· 123
図版52 図版53 図版54 図版55 図版56 図版57 図版58 図版59 図版60	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑤ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器® 78	図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑤ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑤	·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121 ·· 122 ·· 123 ·· 124
図版52 図版53 図版54 図版55 図版56 図版57 図版58 図版59 図版60 図版60	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑤ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 78 檢出状況(南上から) 79	図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑤ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥	$egin{array}{l} \cdot \cdot \cdot 118 \\ \cdot \cdot \cdot 119 \\ \cdot \cdot \cdot 119 \\ \cdot \cdot \cdot 120 \\ \cdot \cdot \cdot 121 \\ \cdot \cdot \cdot 122 \\ \cdot \cdot \cdot 123 \\ \cdot \cdot \cdot 124 \\ \cdot \cdot \cdot 125 \\ \end{array}$
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑧ 78 検出状況(南上から) 79 斯面確認状況(歯から) 79	図128 図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥	
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 78 検出状況(南上から) 79 断面確認状況(南から) 79 SI-72(北から) 92	図28 図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ SA-1検出(東から) SA-1(西から)	
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑤ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑧ 78 検出状況(南上から) 79 断面確認状況(南から) 79 SI-72 (北から) 92 SI-62 (南から) 92	図128 図29 版版130 図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器④ SA-1検出(東から) SA-1(西から) SI-8(北から)	
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑦ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑧ 78 検出状況(南上から) 79 断面確認状況(南から) 79 SI-72(北から) 92 SI-62(南から) 92 SI-62(南から) 92	図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ SA-1検出(東から) SA-1(西から) SI-8(北から)	$\begin{array}{c} \cdot \cdot \cdot 118 \\ \cdot \cdot \cdot 118 \\ \cdot \cdot \cdot 119 \\ \cdot \cdot \cdot 119 \\ \cdot \cdot \cdot 120 \\ \cdot \cdot \cdot 121 \\ \cdot \cdot \cdot 123 \\ \cdot \cdot \cdot 124 \\ \cdot \cdot \cdot 125 \\ \cdot \cdot \cdot \cdot 127 \\ \cdot \cdot \cdot \cdot 130 \\ \cdot \cdot \cdot \cdot 130 \\ \cdot \cdot \cdot \cdot 130 \end{array}$
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑤ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 SI-72(北から) 79 断面確認状況(南から) 79 SI-72(北から) 92 SI-62(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-17(南から) 92	図28 図29 版版130 図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ SA-1検出(東から) SA-1検出(東から) SI-8(北から) SI-9(北から)	·· 118 ·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121 ·· 122 ·· 123 ·· 124 ·· 125 ·· 127 ·· 130 ·· 130 ·· 130
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑤ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 SI-72(北から) 79 SI-72(北から) 92 SI-62(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-14(南から) 92	図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器③ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑤ SA-1線上表表。 E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ SA-1検出(東から) SA-1(西から) SI-9(北から) SI-1(北から) SI-1(北から) SC-1(西から)	·· 118 ·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121 ·· 122 ·· 123 ·· 124 ·· 125 ·· 127 ·· 130 ·· 130 ·· 130
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器② 73 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑧ 78 検出状況(南から) 79 SI-72(北から) 92 SI-62(南から) 92 SI-26(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-142(南から) 92 SI-45(東から) 92 SI-45(東から) 92 SI-45(東から) 92	図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ S A 1 (西から) S A 1 (西から) S I 9 (北から) S I 9 (北から) S I 5 (北から)	·· 118 ·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121 ·· 123 ·· 124 ·· 125 ·· 127 ·· 130 ·· 130 ·· 130 ·· 130
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 78 検出状況(南上から) 79 SI-72(北から) 92 SI-26(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-45(東から) 92 SI-45(東から) 92 SI-1(西から) 92 SI-1(所から) 92 SI-1(所から) 92	図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ SA-1検出(東から) SA-1(西から) SI-9(北から) SI-9(北から) SI-10(北から) SC-1(西から) SC-1(西西から) SC-1(西西から) SC-1(西西から)	·· 118 ·· 119 ·· 119 ·· 120 ·· 121 ·· 123 ·· 124 ·· 125 ·· 127 ·· 130 ·· 130 ·· 130 ·· 130 ·· 130
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器③ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 78 検出状況(南上的ら) 79 断面確認状況(南から) 79 SI-72(北から) 92 SI-26(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-42(南から) 92 SI-45(東から) 92 SI-1(西から) 92 SI-58(西から) 92	図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ SA-1検出(東から) SA-1 (西から) SI-9 (北から) SI-9 (北から) SC-1 (西から) SC-1 (西西から) SC-2 半截(西から)	118119119120121123124125127130130130130130130
図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	SI-73 49 E 区旧石器時代包含層出土石器① 71 E 区旧石器時代包含層出土石器② 72 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 73 E 区旧石器時代包含層出土石器④ 74 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 75 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 76 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 77 E 区旧石器時代包含層出土石器⑥ 78 検出状況(南上から) 79 SI-72(北から) 92 SI-26(南から) 92 SI-17(南から) 92 SI-45(東から) 92 SI-45(東から) 92 SI-1(西から) 92 SI-1(所から) 92 SI-1(所から) 92	図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	E 区縄文時代早期包含層出土土器② E 区縄文時代早期包含層出土土器③ E 区縄文時代早期包含層出土土器④ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土土器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器① E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器② E 区縄文時代早期包含層出土石器④ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ E 区縄文時代早期包含層出土石器⑥ SA-1検出(東から) SA-1(西から) SI-9(北から) SI-9(北から) SI-10(北から) SC-1(西から) SC-1(西西から) SC-1(西西から) SC-1(西西から)	··118 ··119 ··119 ··120 ··121 ··122 ··123 ··124 ··125 ··127 ··130 ··130 ··130 ··130 ··130 ··130 ··130

第 I 章 はじめに

第1節 調査の経過

1. 調査に至る経緯

平成7年度より実施されている県営農地保全整備事業(船引工区)に伴い、事業区に坂元遺跡の一部が含まれることが明らかになった。遺跡の取り扱いについて、宮崎県教育委員会、宮崎県中部農林振興局、船引地区土地改良区、清武町教育委員会等関係各局で協議したところ、やむを得ず削平などにより遺跡の現状保存が困難な事業区について、宮崎県中部農林振興局の委託を受け、清武町教育委員会が発掘調査を実施することとなった。調査期間は、平成12年4月25日から平成12年12月18日で、調査面積は約9,000㎡である。

2. 調査組織

調査主体 清武町教育委員会

調 査(平成12年度)

事 務 局

教	育		長	湯	地	敏	郎
教	育	次	長	田	宮	防 太	郎
社	会 教	育 課	長	谷		紘	_
社会	会教育課	文化係	長	Ш	越		健
社:	会 教 育	課主	查	伊	東		但

調査員

社会教育課主事 井 田 篤

社会教育課嘱託 松 原 - 哉 (~ 00.10) 社会教育課嘱託 安 楽 哲 $\dot{\Sigma}$ $(00.12 \sim)$

整理作業(平成16年度)

事 務 局

教	首	ī	長	湯	地	敏	郎	(~ 04.5)
				神	JII	孝	志	$(04.8 \sim)$
教	育	次	長	北	岡	義	朗	(~ 04.7)
				鐙		和	俊	$(04.7 \sim)$
社	会 教	育 課	長	松	元		夫	
社会	会教育	課長剤	甫佐	平	松	三	郎	(~ 04.7)
社会	会教育部	東文化	系長	伊	東		但	

調査員

社会教育課主任 井 篤 H 社会教育課主事 秋 成 雅 博 社会教育課嘱託 若 杉 知 和 社会教育課嘱託 草 野 美 香

第2節 遺跡の環境

1. 地理的環境

清武町は、県内最大の宮崎平野の南端に位置し、県都宮崎市の南西に隣接している。

町内ほぼ中央には清武川が東流し、河川周辺には沖積地や河岸段丘がみられ、その上位には台地が発達 している。

坂元遺跡は、町内西方の標高 75 mから 85 mの台地上に位置している。この台地は、大淀川南岸丘陵とよばれる四万十層群からなる標高 200 m~400 m丘陵が、高岡方面から東に向かってしだいに低くなり平坦な台地地形へと変化したもので、地質は宮崎平野の基盤である宮崎層群の上位にシラスや火山灰等が堆積して形成されている。尚、このシラス台地上及び崖面には湧水点が数多く点在しており、遺跡が立地するうえでの好条件の一つであった考えられる。

2. 歴史的環境

坂元遺跡は、清武町内船引地区に所在する。船引(船曳)地区は、清武川を挟んだ幾つかの集落で構成されており、当地区の現代以前の水運事情においては、渡し船(曳き船)がとても重要なものであったと推測される。その渡し船(曳き船)が船引の語源となり、船引の名が定着したと考えられるが、船引の名が歴史上に登場しはじめるのは古代末から中世にかけてである。建久8(1197)年鎌倉幕府が各国の現地役人に命じて作成させた『建久の図田帳』には、「船曳五十町、右宮崎郡内 弁済使法印、不知實名、」とあることから、平安末には宇佐八幡宮と強い結びつきをもった荘園がこの地に存在したことが明らかである。

日向の覇権をかけて島津氏と伊東氏がしのぎを削った室町・戦国期においては、この地は主に伊東氏の所領であったが、豊臣秀吉の九州征伐後高橋元種の所領となり、江戸時代初期には幕府領(天領)となっている。加納・木原・今泉といった他の清武町内の地区は、秀吉により伊東祐兵に与えられ、江戸時代を通して飫肥藩領であったため、現在の清武町においては船引地区だけが異なる支配体制のもと近世という時を刻んだこととなる。

明治維新後は、船引村として清武郡治所の管轄下となり、明治 24 (1891) 年には清武村、昭和 25 (1950) 年には清武町の一地区として、現在も発展を続けている。

又、江戸時代の中期には定着していた "船引神楽"は、主に稲作豊穣と子孫繁栄を祈願して春(春分の日)に奉納される作祈祷神楽であるが、数多くの番数が今も尚伝承されていることから、県の無形民俗文化財に指定されている。

3. 周辺遺跡

坂元遺跡が立地する台地上では、平成3年頃から県営農地保全整備事業(時屋工区)、東九州自動車 建設、県営農地保全整備事業(船引工区)などの大型公共工事が相次いでいる。それに伴い発掘調査が



1. 上ノ原第1遺跡 2. 上ノ原第2遺跡 3. 上ノ原第3遺跡 4. 上ノ原第4遺跡 5. 白ヶ野第3遺跡

6. 白ヶ野第2遺跡 7. 白ヶ野第4遺跡 8. 白ヶ野第1遺跡 9. 滑川第1遺跡 10. 滑川第2遺跡

11. 滑川第3遺跡 12. 山田第1遺跡

13. 山田第2遺跡

14. 坂元遺跡

15. 坂元第2遺跡

16. 上猪ノ原遺跡 17. 札立第2遺跡 18. 札立第1遺跡

19. 下猪ノ原遺跡

20. 園田遺跡

21. 権現原遺跡

22. 杉木原遺跡 23. 竹ノ内遺跡

24. 清武白跡

第1図 遺跡位置図 (S = 1/25000)

実施された遺跡は20遺跡を数え(平成16年度現在)、旧石器から近世まで貴重な資料が多数確認されている。特に、台地上という地形からか、狩猟・採集を主な生業としていた縄文時代早期の遺構・遺物がすべての遺跡で確認されていて、全国的にみてもこれほどの質・量は他に類を見ないのではないかと思われる。

第3節 調査の方法と経過

1. 調査の方法

- *表土及びアカホヤ火山灰層の剥ぎ取り…重機
- *基準杭及びグリッド杭の設定 前年度のデータを参考にし、光波測量器を用いて調査員が行った。

*検出面での精査

アカホヤ火山灰層上面において縄文時代前期以降の遺構検出作業を行い、次に小林軽石火山灰層上面で縄文時代早期・草創期の遺構検出作業を行った。ただし、縄文時代早期の遺構のなかで、集石遺構などは遺物包含層の掘り下げ作業の最中に検出されるケースもあった。

*遺物包含層の掘り下げ作業

主にジョレン・ねじり鎌で行った。包含層中に存在する遺構の検出作業も兼ねているので、一枚一枚包含層を剥ぐ意識を作業員に徹底させ丁寧に行った。

*遺構実測

ほとんどの遺構は 1/10 で記録したが、竪穴式住居跡のみは 1/20 で記録した。又、集石遺構・炉穴については、一部業者に委託した。

*測量関係

光波測量器及びデータコレクタを使用し、現場でデータを収集した後、清武町文化財管理事務所(現 清武町埋蔵文化財センター)において、AUTOCADを利用してデジタルデータとして管理した。

*写真撮影

 $6 \times 6 \cdot 6 \times 9$ 版モノクロ・リバーサル、35mm モノクロ・リバーサル写真を併用し、空中写真については業者に委託した。

2. 調査の経過

調査区は、耕作及び工事計画の都合により A 区から G 区の 7 区に分割し、又、各区については、20 m ごとにグリッド杭を設定して調査を行った。

A区・C(1~9グリッド)区については、試掘調査で少量の遺物のみが確認されていた状況だったので、旧地形の復元作業実施後は、縄文時代早期遺物包含層の確認のためのトレンチ調査のみを行った。

B区・C(10~15 グリッド)区・D区・E区・F区については、縄文時代早期の調査を主に行ったが、D・F区については文化層がかなり削平されており、良好な残存状況ではなかった。又、C(15 グリッド)区・E区については、縄文時代早期・草創期の調査終了後、旧石器文化層の確認のためのトレンチ調査を行ったが、E区については旧石器の文化層が確認されたため、旧石器の調査を一部行い全調査を終了した。ただし、旧石器の調査については、時間的な制限もあり、不十分なものであったことは否めない。

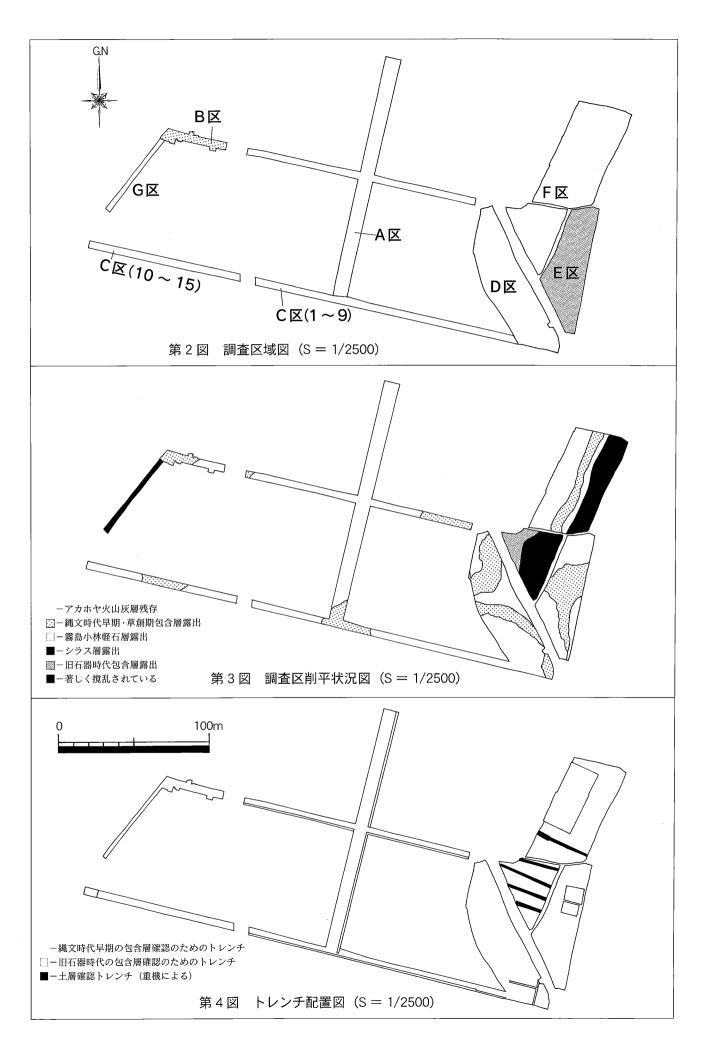
G区については、樹根によってほとんどの文化層が破壊されていたため、重機による確認調査のみで

終了している。

尚、調査区については、整理作業の段階で調査時とは一部変更しているので、平成 12 年度刊行の当 遺跡概要報告書とは異なる記述となっている。

3. 調査日誌抄

- 00.04.25 調査範囲の設定のため、協議開始
- 00.04.28 測量開始(調査範囲、基準杭 など)
- 00.05.24 表土剥ぎ取り開始【A区→B区→C区→D区】
- 00.06.01 表土剥ぎ取りが終了した範囲での、アカホヤ上面精査開始【A区→B区→C区→D区】
- 00.06.06 A・B・C・D区アカホヤ層上面調査終了。その後、アカホヤを除去。
- 00.06.12 A・B・C・D区の縄文時代早期の旧地形復元作業開始。
- 00.06.16 E区の表土剥ぎ取り開始。
- 00.06.21 F区 (1~12) の表土剥ぎ取り開始。
- 00.06.23 F区 (14~20) の表土剥ぎ取り開始。
- 00.06.27 縄文時代早期文化層の確認のためのトレンチ調査開始。 $[A \cdot C (1 \sim 9)]$ 区]
- 00.07.04 旧石器時代文化層の確認のためのトレンチ調査開始。【F区(14~20)】
- 00.07.12 D区縄文時代早期遺物包含層掘り下げ作業開始。
- 00.07.14 F区 (14~20) は調査終了。
- 00.08.07 A・C (1~9) 区は調査終了。
 - C (10~15) 区で縄文時代早期遺物包含層掘り下げ作業開始。
- 00.08.17 E区縄文時代早期遺物包含層掘り下げ作業開始。
- 00.08.21 B区縄文時代早期遺物包含層掘り下げ作業開始。
- 00.08.22 D区は調査終了。
- 00.08.24 E区で集石遺構が検出され始める。
- 00.09.05 F (1~12) 区縄文時代早期遺物包含層掘り下げ作業開始。
- 00.09.06 B・C区で集石遺構及び炉穴が検出され始める。
- 00.09.20 G区の確認調査。*樹根による撹乱が著しく、1日で終了。
- 00.11.08 F (1~12) 区で落し穴2基検出される。
- 00.11.10 C (10~15) 区で旧石器時代遺物包含層確認のためのトレンチ調査開始。
- 00.11.22 E区で炉穴 2 基検出。又、旧石器時代遺物包含層確認のためのトレンチ調査開始。 F $(1\sim12)$ 区は調査終了。
- 00.12.08 E区調査終了。
- 00.12.18 B·C (10~15) 区の調査終了。





第5図 坂元遺跡周辺地形図(S=1/2000)

第4節 基本土層

1. 各区の地形

全8区(C区を $1\sim9$ グリッドと $10\sim15$ グリッドの2 つに分けて考察する)の調査区は3 つの地形に分かれる。

B区・C区($10\sim15$ グリッド)・G区とE区・F区は、その谷を挟んで位置するが、両方の地形は異なる様相を呈している。B区・C区($10\sim15$ グリッド)・G区については、清武川を眼下に見下ろす当台地縁辺部にあたり、縁辺部にかけてやや上っている地形となっている。E区・F区は、標高の高い丘陵部から次第に下って台地上平坦部へとつながる緩やかな傾斜地であるため、丘陵と平坦部の両特徴を併せ持った出土傾向となっている。

2. 基本土層

当遺跡は、先述のとおり3つの地形に大別されるが、土層の堆積状況についてはほぼ同じ状況である。 ただし、地形により厚み・土質に若干の違いが見られるため、谷部と台地端部の2箇所の基本土層を記録した。(本報告書で使用されている層位については、第6図基本土層①参照)

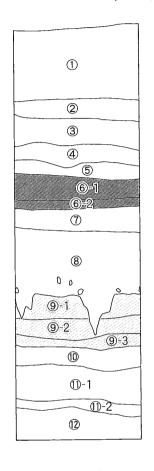


図版 1 坂元遺跡基本土層①(谷部)



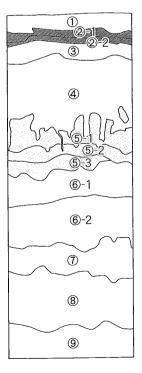
図版 2 坂元遺跡基本土層②(台地端部)

第6図 基本土層図①【谷部】 (S=1/30)



- ①- 現代耕作土
- ②- 黒褐色シルト質ローム (10YR3/1) 細粒を多く含むため、ジャリッとした質感がある。
- ③- 黒色シルト質ローム (2.5Y2/1)
- ④- 暗灰黄色シルト質ローム (2.5Y4/2)
- ⑤- 2次アカホヤ層(7.5YR5/6)
- ⑥-1 アカホヤ火山灰層 (10YR5/8)
 - -2 アカホヤ降下軽石層(10YR6/8)
- (7)- 黒褐色シルト質ローム(10YR3/2)
- ®- にぶい黄褐色シルト質ローム (10YR4/3)
- ⑨-1 霧島・小林火山灰層が風化し(10YR3/4)、⑧層がクラックに 入り込んでいる。
 - -2 霧島·小林火山灰層 (10YR4/2) かなり硬質。
 - -3 ⑨-2と似ているが、含まれるパミスが全体的に少ない。
- ⑩- 暗褐色シルト質ローム(10YR3/3)やや硬質。
- ⑪-1 褐色シルト質ローム (10YR4/6)
 - -2 ⑪-1 にシラスがわずかに混入している。
- (12) シラス

第7図 基本土層図②【台地端部】 (S=1/30)





- ①- 現代耕作土
- ②-1 アカホヤ火山灰層 (7.5YR5/6)
 - -2 アカホヤ降下軽石層
- ③- 黒褐色シルト質ローム
- ④- 褐色シルト質ローム (10YR4/6)
- ⑤-1 霧島・小林火山灰層が風化し(10YR3/4)、④層がクラックに 入り込んでいる。
 - -2 霧島・小林火山灰層 (10YR4.5/3.5) かなり硬質。
 - -3 ⑤-2と似ているが、含まれるパミスが全体的に少ない。
- ⑥-1 褐色シルト質ローム (10YR4/5)

 $1 \sim 3 \text{cm}$ 程の水泡状のにぶい黄褐色土(10 YR4/3)が全体的に混ざりこんでいる。

- -2 ⑥-1と似ているが、水泡状の黄褐色土が少ない。
- ⑦ 暗褐色シルト質ローム (10YR3/4)
- ⑧ 褐色シルト質ローム(10YR4/6)1.5cm ~ 2.5cm ほどの水泡状の褐色土(10YR4.5/6)が全体的に混ざり込んでいる。
- ⑨ 黄褐色シルト質ローム (2.5Y5.5/5)

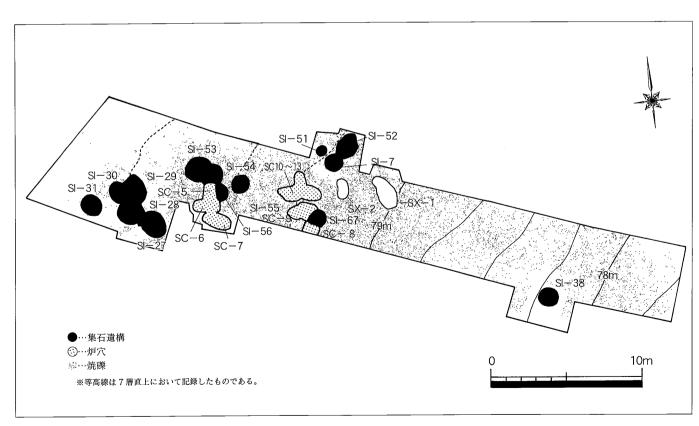
第Ⅱ章 B区における調査(縄文時代早期)

第1節 遺 構

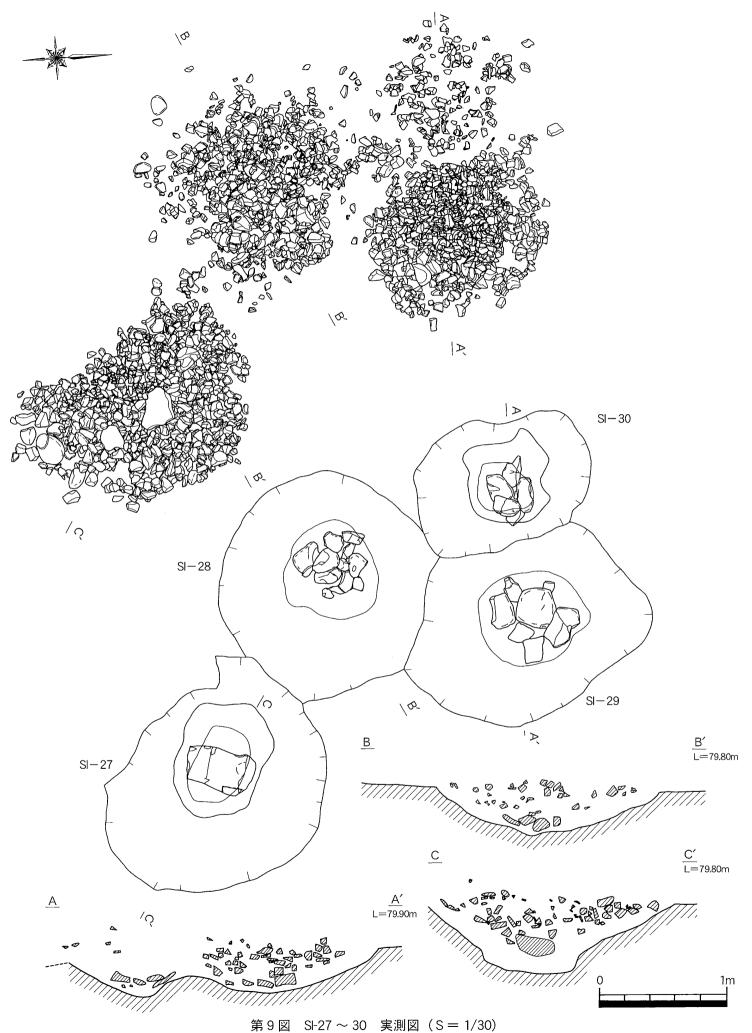
1. 検出状況

調査面積約 250㎡ の B 区においては、まずアカホヤ層上面における精査を実施したが、縄文時代前期以降の遺構・遺物は確認されなかった。そこで、アカホヤ層を重機で剥ぎ取った後、7 層上位より人力にて掘り下げ作業を行ったところ、土器や石器などの遺物とともに焼礫が出土しはじめた。焼礫は 7 層上位から 8 層下位まで約 10,000 点出土したが、最も密度が濃かったのは 7 層下位から 8 層中位 (厚さ 30cm ~ 40 cm) であった。

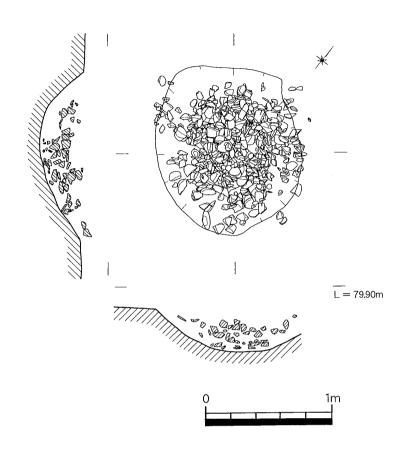
焼礫の出土地点を記録した後取り除いていくと、7層の下位から8層下位において、集石遺構14基と炉穴9基が検出された。集石遺構については、礫の密集状況と掘り込みの埋土から検出が比較的容易であったが、炉穴については、焼礫が流れ込んでいたため集石遺構との違いが不明瞭で、焼礫の記録作業後の調査過程で炉穴と認定できた状況であった。



第8図 B区縄文時代早期遺構配置図及び焼礫分布図(S = 1/250)



5121 50 天原四 (5 1/50)



第 10 図 SI-31 実測図 (S = 1/30)

2. 集石遺構と炉穴

SI-27-28-29-30

この 4 基については、それぞれが繋がる様に切り合った状態で検出されているが (8 層上位~中位)、放射性炭素年代測定の結果 (SI-27 が 8220 ± 40 年 BP、SI-28 が 8310 ± 40 年 BP、SI-29 が 8290 ± 40 年 BP、SI-30 が 8290 ± 40 年 BP)からみて、近い時期に使用された可能性が高いと推測される。

SI-27 については、掘り込みの形状が平面プランは円形で断面は V字形を呈していて、焼礫は当遺跡で最多の250.6kg が使用されていた。又、掘り込みの底面から 10cm程のところに人頭大の扁平な礫が 1 個 (50cm \times 30cm) 配置されていた。

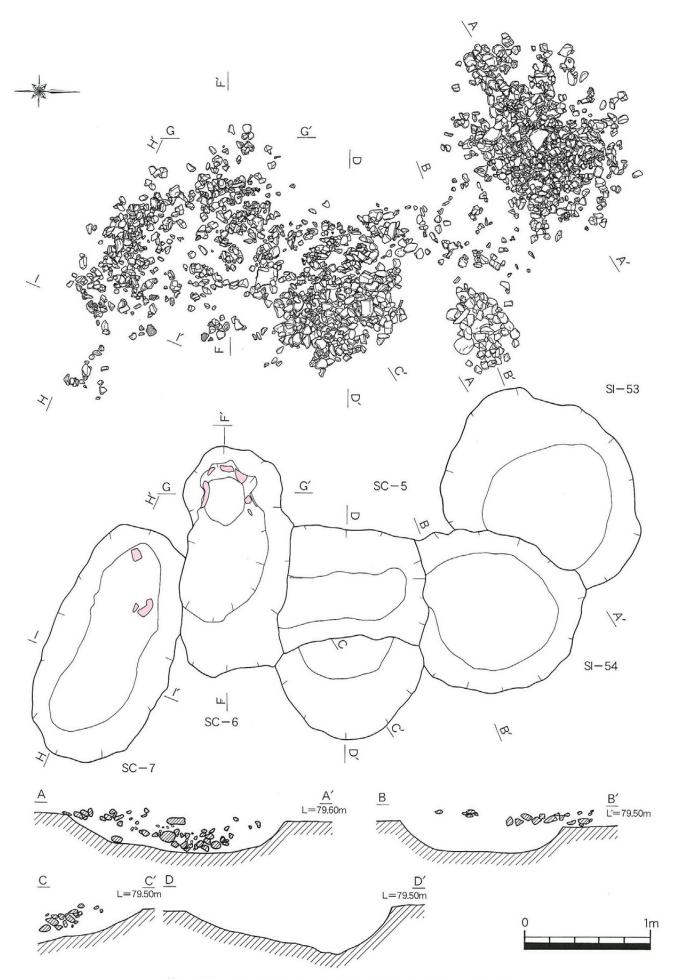
SI-28 については、掘り込みの形状が平面プランは円形で断面はボウル状を呈していて、焼礫は116.3kgが使用されていた。又、掘り込みの底面付近には、掌大の扁平な焼礫が10個程まとまって配置されていた。

SI-29 については、掘り込みの形状が平面プランは円形で断面はボウル状を呈していて、焼礫は171kgが使用されていた。又、掘り込みの底面付近には、掌大から人頭大の扁平な焼礫が7個まとまって配置されていた。SI-30 については、掘り込みの形状が平面プランは円形で断面はボウル状を呈していて、焼礫は71.4kgが使用されていたが、ぎっしりと焼礫がつまっている他の3基と比較するとかなり焼礫が疎らであった。又、掘り込みの底面付近には、掌大から人頭大の扁平な焼礫が5個まとまって配置されていた。

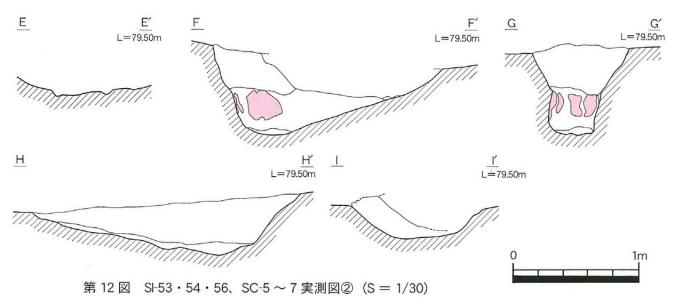
掘り込みの埋土は、炭化物及び炭化粒を含む黒色土で、4基ともほぼ同土質であった。4基の関係については、先述のとおりほぼ似かよった時期に使用されたとは推測されるが、互いの礫を補充しあったような同時性を裏付ける状況は確認できなかった。

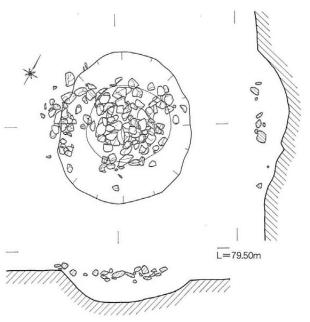
SI-31

SI-31 については、SI27 \sim 30 と隣接していて検出面 (8 層上位~中位)もほぼ同じだったが、掘り込み埋土が 4 基とは異なっており、4 基とは異なる時期の集石遺構として判断していた。その後、放射性炭素年代測定を実施したところ、4 基より 400 年から 300 年ほど古い時期に使用された集石遺構であるという結果 (8690 \pm 40 年 BP) が得られた。掘り込みの形状については、平面プランが円形で断面はボウル状であった。また、礫の充填状況については、105.7kg と多量な焼礫が使用されていたが、先述の4 基で見られたような底面付近での人頭大の礫の配置は見られなかった。



第 11 図 SI-53·54·56、SC-5~7 実測図① (S = 1/30)





第 13 図 SI-55 (S = 1/30)

SI-53.54.56, SC-5.6.7

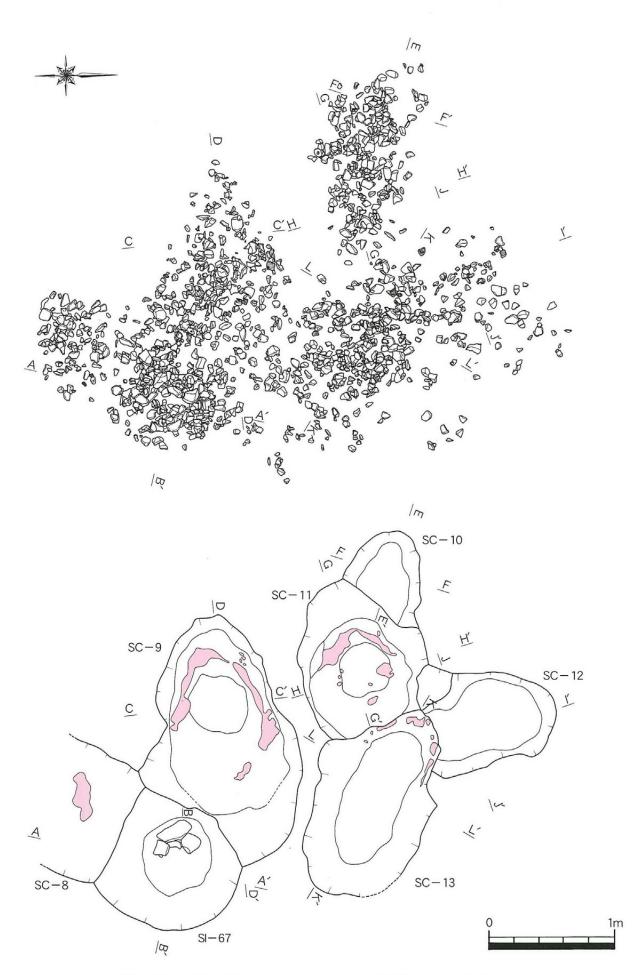
SI-53・54・56、SC-5・6・7 については、8 層上位から中位にかけて検出されたが、検出当初は SI-53・54・56 以外に何基の遺構が切り合っているのかが不明瞭な状況であった。そのため、まず SI-53・54・56 の記録作業を進めるとともに、不明瞭である範囲の焼礫を記録し取り除いていったところ、炉穴 3 基が確認された。

SI-53 については、掘り込みの形状が平面プランは円形で断面はボウル状を呈していて、礫の充填状況はやや密であった。尚、SI-54 と切り合っていたが、新旧関係は不明である。SI-54 については、掘り込みの形状が平面プランは円形で断面はボウル状を呈していて、使用されている焼礫は

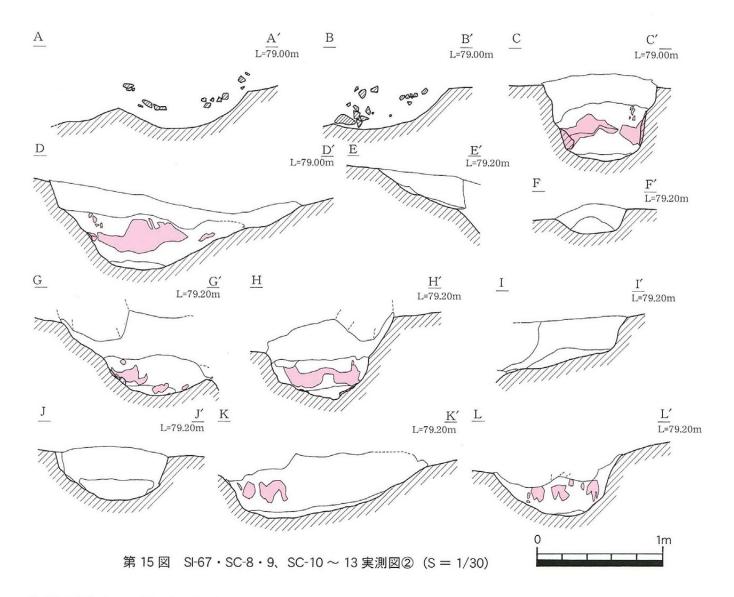
16kg のみとかなり疎らな状況であった。尚、SI-53・SC-5 と切り合っていたが、いずれとの新旧関係も不明である。SI-56 は SC-5 により半分近くが壊されている状況であったが、推測される掘り込みの形状は平面プランが円形で断面がボウル状であり、礫の充填状況はやや密であった。SC-5 については、平面プランが長方形の土坑であるが、埋土に炭化粒と焼土の小粒が多く確認され、SC-6・7 の埋土と似ていたため炉穴の端部ではないかと推測される。SC-6・7 については、掘り込み内に残存する焼土や埋土の特徴からみて炉穴だと推測される。SC-6 は平面プランが長楕円形でブリッジは残っていないが、ブッリジがあったであろう部分にはくびれがみられた。SC-7 は平面プランが舟形でブリッジは残っていない。又、足場から燃焼部にかけてはいずれも緩やかに傾斜している。両炉穴の関係については、いずれかが使用不能となったための拡張とは考えにくい。尚、放射性炭素年代測定では8550±40年BPという結果を得ている。

SI-55

SI-55 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈していて、使用されている焼礫は 28kg でやや疎らな状況であった。近隣の SI-53・54 との関係は不明である。



第 14 図 SI-67·SC-8·9、SC-10 ~ 13 実測図① (S = 1/30)



SI-67, SC-8.9 SC-10.11.12.13

SI-67 と SC-8・9・10・11・12・13 については、SI-53・54・56、SC-5・6・7 同様、8 層上位から中位にかけて検出されたが、検出当初は SI-67 以外に何基の遺構が切り合っているのかが不明瞭な状況であった。そこで、不明瞭である範囲の焼礫を記録し取り除いていったところ、1 基の集石遺構と 2 基の炉穴の切り合いと、4 基の炉穴の切り合いが確認された。

SI-67 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈していて、焼礫は 60.5kg 使用されていてやや密であった。又、掘り込みの底面付近には人頭大の扁平な礫が1個配置されていた。SC-8 については、炉穴の足場だと推測されるが、遺構のほとんどが調査区外であったため遺構の全体を調査できず、遺構の性格については不明である。SC-9 については、掘り込み内に残存する焼土や埋土の特徴からみて炉穴であろう。平面プランは舟形であるが、崩落してしまったブリッジがあったであろう範囲にくびれが確認でき、また、足場から燃焼部にかけて傾斜している。3 基の新旧関係については、放射性炭素年代測定により SC-9(8290 ± 40 年 BP)、SI-67(8240 ± 40 年 BP)、SC-8(8190 ± 40 年 BP) という結果を得ている。

SC-11・13 については、掘り込み内に残存する焼土や埋土の特徴からみて炉穴であろう。SC-11・13 いずれもブリッジは残存しておらず、また 2 基とも SC-6・7・9 同様足場から燃焼部にかけて傾斜している。平面プランは残存状況から明言はできないが、SC-9 と似た形状ではないかと思われる。尚、使用時期については、SC-13 がブリッジの崩落等により使用不可となった後 SC-10 を拡張して使用した可能性

が高いと推測されるが、放射性炭素年代測定では、SC-13 が 8330 ± 40 年 BP で SC-11 が 8300 ± 40 年 BP という結果を得ている。SC-10・12 については、埋土は SC-11・13 に似ているものの焼土が確認できず、形状も炉穴の一部とは断定できないが、今回は炉穴として取り扱っている。

SI-7

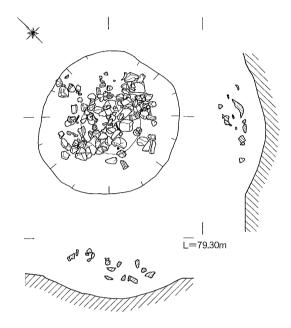
SI-7 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈していて、使用されている焼礫は 23kg で疎らであった。

SI-51

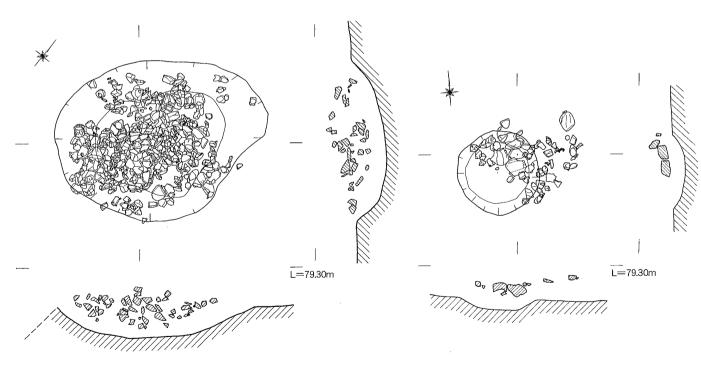
SI-51 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈していて、使用されている焼礫は 12kg でかなり疎らであった。

SI-52

SI-52 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈していて、使用されている焼礫は84.5kgと密であった。また、使用時期については、放射性炭素年代測定により8400±40年BPという結果を得ている。

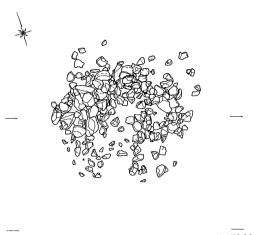


第 16 図 SI-7 実測図 (S = 1/30)



第 18 図 SI-52 実測図 (S = 1/30) 第 17 図 SI-51 実測図 (S = 1/30)



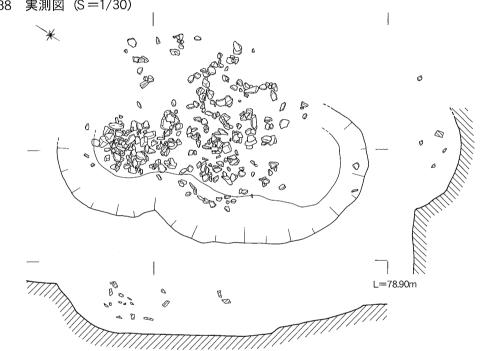


L=79.20m 第 19 図 SI-38 実測図 (S=1/30)

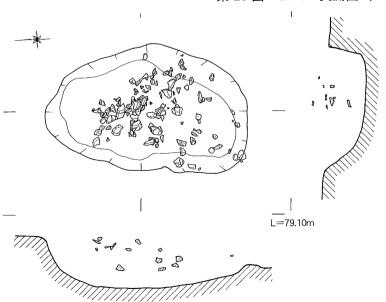
SI-38

SI-38 については、7 層の下位で検出され、Z、放射性炭素年代測定により 7840 ± 40 年 BP という結果を得ていることから、B 区のなかでは最も新しい集石遺構といえる。

焼礫 236 個 (35.2kg) が半径約 1.2m の範囲に円形に密集していて、焼礫の堆積の厚みは約 15cm であった。掘り込みについては、トレンチによる確認調査を行なったが確認できなかった。



第20図 SX-1 実測図 (S=1/30)



第21図 SX-2 実測図 (S=1/30)



SX-1-2

SX-1・2 については、集石遺構・土坑などのなんらかの遺構であろうが、遺構の性格を決定づけるまでの条件を調査で確認できなかったので、ここでは不明遺構として取り扱っている。

				第1	表 B区	集石道	遺構及	び炉穴	観察	長			
佳 て 忠 排		礫範囲	総	総	礫1個	掘込				放射性	11. 61/		
集石遺構 No	検出面	の直径 (m)	礫数 (個)	重量 (kg)	平均重量 (kg)	有無	直径 (m)	深さ (m)	底石	炭化物	炭素年代 測定値	共伴 遺物	備考
SI-27	Ⅷ層上位~中位	1.70	1165	250.60	0.22	0	1.85	0.50	0	0	8220 ± 40	0	SI-28 と切りあう
SI-28	Ⅷ層上位~中位	1.50	787	116.30	0.15	0	1.70	0.38	0	0	8310 ± 40	0	SI-27・29・30 と切りあう
SI-29	Ⅷ層上位~中位	1.45	1029	171.00	0.17	0	1.80	0.35	0	0	8290 ± 40	0	SI-28・30 と切りあう
SI-30	Ⅷ層上位~中位	1.04	651	71.40	0.11	0	1.04	0.33	0	0	8290 ± 40	0	SI-28・29 と切りあう
SI-31	Ⅷ層上位~中位	1.24	946	105.70	0.11	0	1.36	0.45	×	0	8690 ± 40	0	
SI-53	Ⅷ層上位~中位	1.82	_	_	_	0	1.52	0.30	×	0		0	SI-54 と切りあう
SI-54	Ⅷ層上位~中位	1.20	96	16.00	0.17	0	1.40	0.35	×	Δ		0	SI-53·56、SC-5 と切りあう
SI-56	Ⅷ層上位~中位	1.10	-	_	_	0	1.20	0.26	×	Δ		×	SC-5 に切られる
SI-55	Ⅷ層上位~中位	1.16	178	28.00	0.16	0	1.22	0.25	×	0	8630 ± 40	0	
SI-67	Ⅷ層上位~中位	1.10	430	60.50	0.14	0	1.24	0.25	0	0	8240 ± 40	0	SC-8・9 と切りあう
SI-7	Ⅷ層上位~中位	0.80	156	23.00	0.15	0	1.12	0.20	×	Δ		×	
SI-51	Ⅷ層上位~中位	0.80	86	12.00	0.14	0	0.70	0.20	×	Δ		0	
SI-52	Ⅷ層上位~中位	1.30	592	84.50	0.14	0	1.60	0.26	×	0	8400 ± 40	0	
SI-38	VII層下位	1.14	236	35.20	0.15	×	_	-	×	Δ	7840 ± 40	0	

炉穴 No	検出面	サ イ ズ(m)	ブリッジ	焼土の 位置	炭化物	放射性 炭素年代 測定値	共伴遺物	備考
SC-5	Ⅷ層上位~中位	$1.20 \times 0.86 \times 0.40$	×	_	Δ	0		SI-56 を切り、SC-6 と切りあう
SC-6	Ⅷ層上位~中位	$1.60 \times 0.87 \times 0.70$	×	端部	Δ	0		SC-5・7 と切りあう
SC-7	Ⅷ層上位~中位	$1.96 \times 1.03 \times 0.45$	X	端部	0	8550 ± 40	0	SC-6 と切りあう
SC-8	Ⅷ層上位~中位	\times 1.00 \times	×	_	0	8190 ± 40	0	SI-67 と切りあう
SC-9	Ⅷ層上位~中位	$2.02 \times 1.32 \times 0.68$	×	端部	0	8290 ± 40	0	SI-67 と切りあう
SC-10 (△)	Ⅷ層上位~中位	$0.65 \times 0.70 \times 0.33$	X	_	Δ	0		SC-11 と切りあう
SC-11	Ⅷ層上位~中位	$1.20 \times 1.03 \times 0.63$	×	端部	0	8300 ± 40	0	SC-10·13 と切りあう
SC-12 (△)	Ⅷ層上位~中位	$1.00 \times 0.70 \times 0.35$	×	_	Δ	0		SC-13 と切りあう
SC-13	Ⅷ層上位~中位	$1.65 \times 1.05 \times 0.53$	×	端部	0	8330 ± 40	0	SC-11·12 と切りあう

- *炭化物の欄の△のマークは、炭化粒のみが検出されたケース。 *放射性炭素年代測定値については、加速器質量分析法による補正™C年代を掲載。



図版3 SI-27~31検出(北から)



図版 4 SI-27~31配石(北西から)



図版 5 SI-27~31掘り込み完掘(北から)



図版 6 SI-53·54·56、SC-5·6·7 検出(北西から)



図版7 SI-53 (北西から)



図版 8 SI-54 (北から)



図版 9 SI-56·SC-5(東から)



図版 10 SC-6(東から)



図版 11 SC-7(東から)



図版 12 SI-55(南東から)



図版 13 SI-67·SC-8~ 13 検出(南東から)



図版 14 SI-67·SC-8·9(南東から)



図版 15 SI-67 配石(東から)



図版 16 SC-9(東から)



図版 17 SC-10·11(東から)



図版 18 SC-13(東から)



図版 19 SC-7·51·52(南西から)



図版 20 SI-38(北から)



図版 21 SX-1(南西から)



図版 22 SX-2(東から)

3. 遺構内遺物

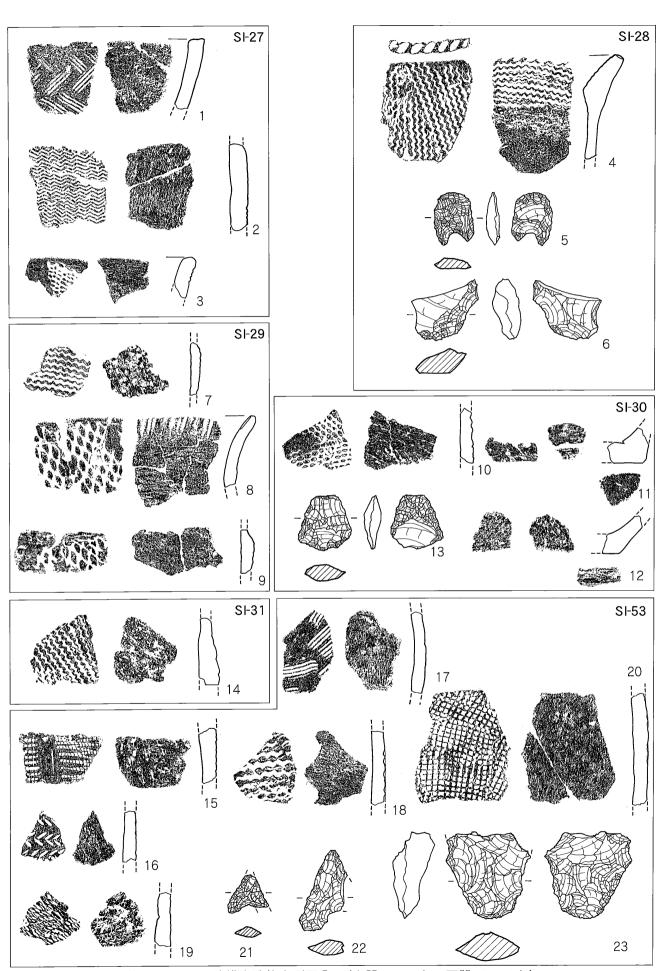
集石遺構と炉穴から約300点の遺物が出土した。

土器については、約200点のうち9割以上は押型文土器であったが、山形文・楕円文がその大部分を占めていて、その他には格子目文(20)などがみられた。山形文と楕円文については、ほとんどの遺構で似かよった出土状況であったが、SC-6・7(炉穴)からは山形文のみが大量に出土した。尚、先述のとおりSC-7では放射性炭素年代測定により8550±40年BPという結果を得ているので、ほぼ押型文のみの出土状況とあわせて考えると非常に興味深い状況といえる。

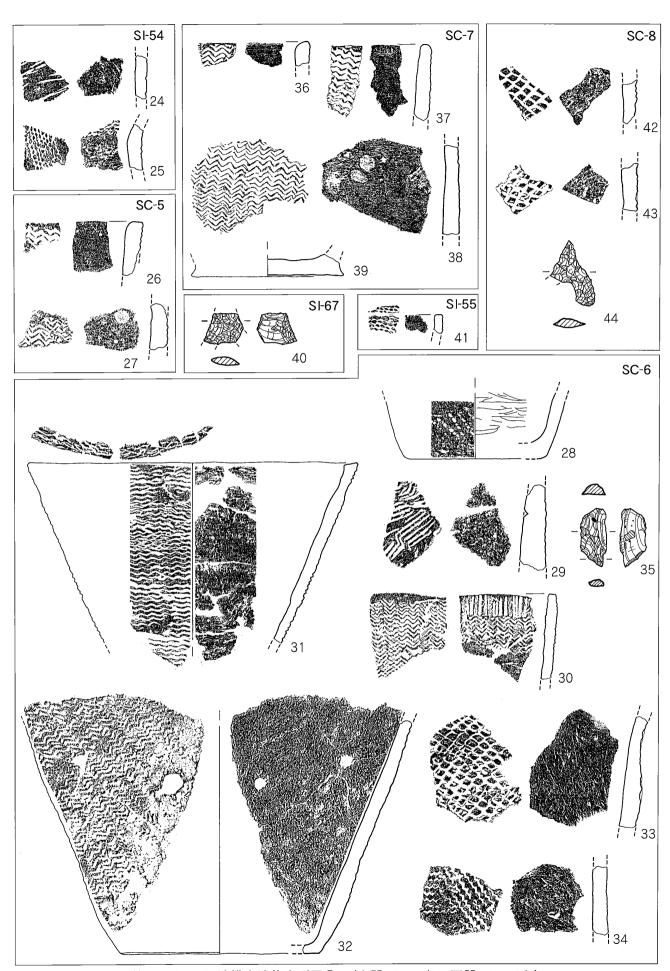
その他には下剥峯式土器 (15·28·45·59) や桑ノ丸式土器 (17·29) といった貝殻文系の土器が少量 出土しているが、縄文時代早期後葉の土器はほとんど出土していない。

石器について述べると、5は桑ノ木津留産黒曜石製の異形石器である。先端部を丸く脚部を尖らせて 整形している。摩滅する部位は観察されない。6は2次加工ある剥片であろうか。周縁に剥離面が観察 されており、石核の可能性もある。13 は打製石鏃の未製品であろうか。先端部を尖らせず直線的に仕 上げているので異形石器の可能性もある。21・22は打製石鏃である。両者ともチャート製で抉りを深 く作り、脚部は丸く整形している。23は石核の可能性もあるが、下端部に細かい調整が見られ丸みを帯 びるように作り出している様子が見られることから尖頭器かその未製品とも考えられる。35 は桑ノ木 津留産黒曜石の石錐であろうか。横長剥片を素材として錐部と素材の打面部分に調整を施し、平面形を 不整長楕円形に作りあげる。41 はチャート製の打製石鏃である。先端部・脚部を欠損する。44 は打製 石鏃である。抉りは深く先端部と脚部の境目に屈曲が見られる。47は打製石鏃で、先端部・抉りの部分 にのみ調整を加え剥片の形状を多く残している。58は打製石鏃である。抉りが深く長い脚部を作り出 している。61 はチャート製の石核である。作業面を展開させながら打面調整を行わず剥片剥離を行う。 65 は打製石鏃である。抉りが深く長い脚部を作り出している。66 は石錐である。前面に調整を行い, 形状を作り出す。67は針尾産黒曜石の石核である。61と同様作業面を展開させながら打面調整を行わ ず剥片剥離を行う。一部に自然面を残す。71 は打製石鏃である。SI-52·53 出土のもの(22·65)と 平面形が類似する。石器については、チャートを石材としたものが多く、剥片やチップをはじめ石鏃(未 製品も含む)や石核が出土している。その他にも黒曜石製の石鏃や頁岩製の石核などが出土している。

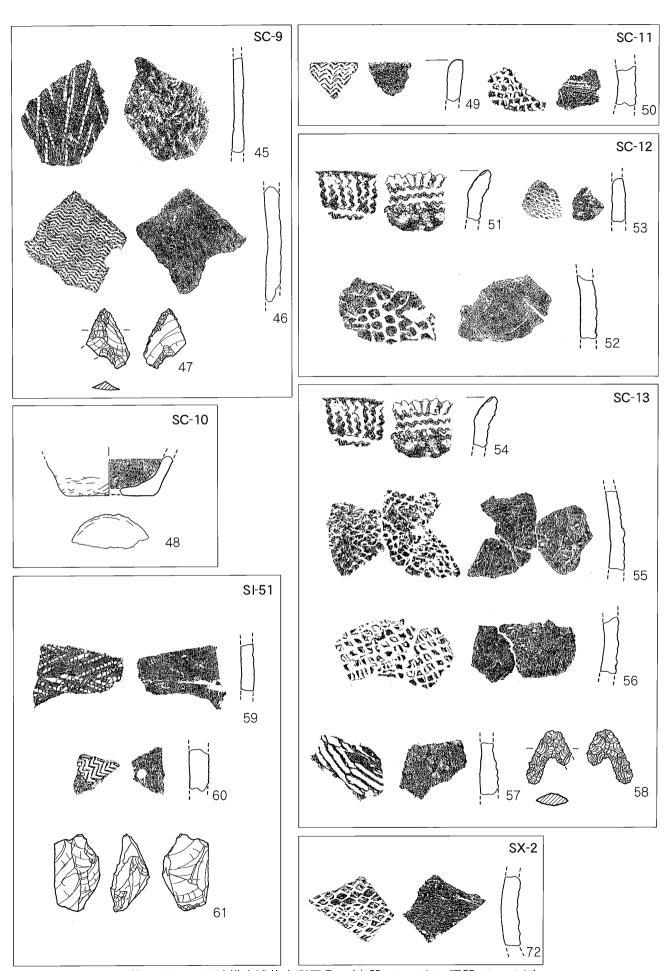
	第2表 B区遺構内遺物	一覧表			
遺構		遺物]番号	放射性	/-H: -tv
番号	出土遺物 *()内は出土点数	土器	石器	炭素年代	備考
SI-27	・押型文土器《楕円(4), 山形(4)》 ・チャート剥片(1)・黒曜石チップ(1)	1.2.3	_	8220 ± 40	
SI-28	・押型文土器《楕円(3), 山形(1)》 ・異形石器(1)・チャート《剥片(3), チップ(2)》・流紋岩剥片(1)	4	5 • 6	8310 ± 40	
SI-29	・押型文土器《楕円(4), 山形(5)》・不明土器(数点) ・頁岩剥片(1)・チャート剥片(1)	7.8.9	_	8290 ± 40	SI-32 と接合 (山形押型 文)
SI-30	・押型文土器《楕円(7),山形(6)》・不明土器(10数点うち2点は底部) ・チャート《石鏃未製品(1),剥片(1)》	10 ~ 12	13	8290 ± 40	
SI-31	·押型文土器《山形押型文(1)》·不明土器(2)	14	_	8690 ± 40	
SI-53	・貝殻文系土器《貝殻条痕文(1), 桑の丸(2), 下剥峰(1), 辻(1)》 ・押型文土器《山形(4), 楕円(2), ネガティブ楕円(2), 格子目(1)》 ・チャート《石鏃(2), 石鏃未製品(1), チップ(8), 剥片(9)》・頁岩剥片(1) ・ホルンフェルス剥片(1)・安山岩《剥片(6), チップ(4)	15 ~ 20	21 ~ 23		
SI-54	・貝殻文系土器《下剥峰(1)》・押型文土器《楕円(3), 山形(2)》・不明土器(1)	24.25	_		
SC-5	・貝殻文系土器《下剥峰(1)》・押型文土器《楕円(1), 山形(2)》	26•27	_		
SC-6	・貝殻文系土器《下剥峰(1), 桑の丸(1)》・押型文土器《楕円(3), 山形(40 \sim 50)》 ・チャート剥片(1)・黒曜石 2 次加工のある剥片(1)	$28 \sim 34$	35		山形押型文の口縁部が SI-29 と接合
SC-7	・押型文土器《山形押型文(20~30)》・不明土器(数点) ・チャート剥片(1)	36 ∼ 39	_	8550 ± 40	
SI-55	・押型文土器《楕円(1)》	40	_	8630 ± 40	
SI-67	・チャートチップ(6)・黒曜石チップ(2)・頁岩剥片(1)・チャート石鏃(1)	_	41		
SC-8	・押型文土器《楕円(4)》・不明(1) ・チャート石鏃(1)	42.43	44	8190 ± 40	SC-13 と接合
SC-9	・貝殻文系土器《貝殻条痕文(1),下剥峰(2)》・押型文土器《楕円(1),山 形(4)》・不明土器(4) ・チャート《石鏃(1)・剥片(1)・砕片(1)》	45•46	47	8290 ± 40	
SC-10	・押型文土器《楕円(1)》・不明土器(1) ・チャート剥片(1)	48	_		
SC-11	・押型文土器《楕円(1), 山形(4)》	49.50		8300 ± 40	
SC-12	・貝殻文系土器《下剥峰(2)》・押型文土器《楕円(1), 山形(2)》・不明土器(1) ・黒曜石《石鏃(1), チップ(3), 剥片(2)》・チャートチップ(1)	51 ~ 53	_		黒曜石チップに姫島産 有り
SC-13	・押型文土器《楕円(4), 山形(2)》・不明土器(6) ・黒曜石石鏃(1)・チャート剥片(1)	54 ~ 57	58	8330 ± 40	
SI-51	・貝殻文系土器《下剥峰(2)》・押型文土器《山形(1)》・不明土器(1) ・チャート石核(1)	59•60	61		
SI-52	・押型文土器《山形(1)》 ・チャート石鏃(2)・頁岩《石核(1), 剥片(1)》・黒曜石チップ(1)	62 ~ 64	65 ~ 67	8400 ± 40	・SI-7 と切り合い ・黒曜石チップは針尾産
SI-38	・不明土器(2) ・流紋岩チップ(1)	_	_	7840 ± 40	
SX-1	・貝殻文系土器《桑の丸(4),下剥峰(1)》・押型文土器《楕円(2),山形(4)》 ・塞ノ神式土器(1)	68 ~ 70	71		
SX-2	・押型文土器《楕円(1)》 ・チャート微細剥離ある剥片(1)	72	_		



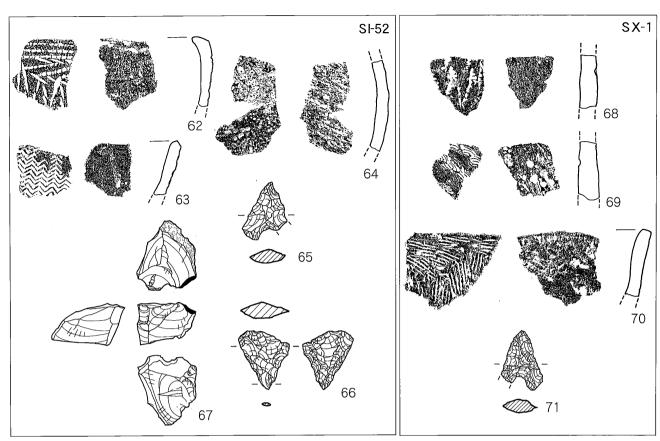
第 22 図 B 区遺構内遺物実測図① (土器: S=1/3 石器: S=2/3)



第 23 図 B 区遺構内遺物実測図② (土器: S = 1/3 石器: S = 2/3)



第 24 図 B 区遺構内遺物実測図③ (土器: S = 1/3 石器: S = 2/3)

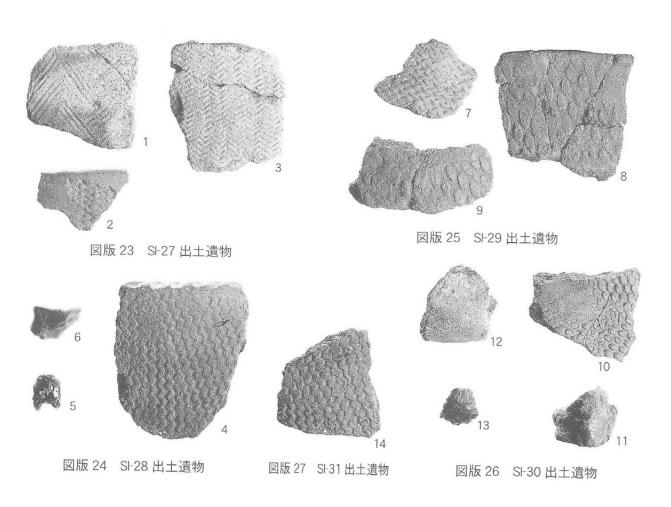


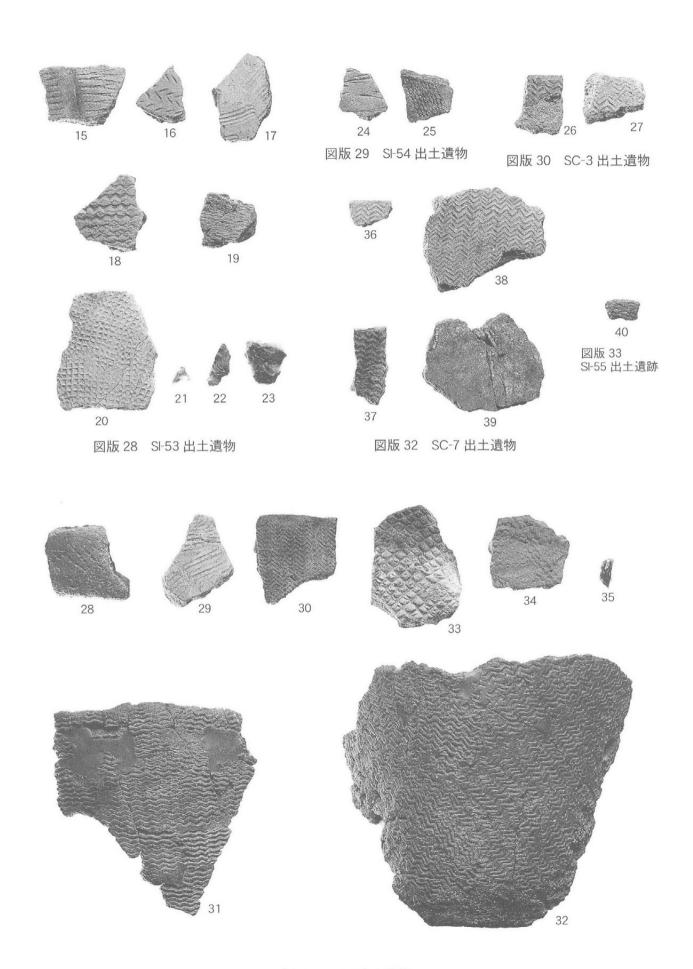
第 25 図 B 区遺構内遺物実測図④ (土器: S=1/3 石器: S=2/3)

					第3表	B 区遺構	力土岩	岩観 絮	表表		•		
遺構	遺物	部位	文様及び	調整	色	調		胎			土	備考	遺物 整理
No	No	11년 12년	外面	内面	外面	内面	石英	長石	キンウンモ	クロウンモ		VIII -	No
	1	口縁	貝殼条痕文	ナデ	2.5Y6/3 にぶい橙	2.5Y4/1 赤灰	0	0			O 2mm 以下		13
SI-27	2	胴部	山形押型文	ナデ	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	0	0		0	O 4mm 以下		182
	3	口縁	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0			0	O 2mm 以下		185
SI-28	4	口縁	山形押型文	山形押型文 ナデ	10YR5/2 灰黄褐	10YR5/2 灰黄褐		0	0		O 2mm 以下	口唇部に連続キザミ目	14
	7	胴部	山形押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			O 2mm 以下		134
SI-29	8	口縁	楕円押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0	0		O 4mm 以下	口唇部内面に連続キザミ目	188
	9	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR4/3 にぶい赤褐	10YR4/2 灰黄褐	0				O 4mm 以下	SI-30 出土の土器片と接合	146
	10	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR4/3 褐	7.5YR4/2 灰褐	0		0		O 2mm 以下		172
SI-30	11	底部	ナデ	ナデ	7.5YR5/2 灰褐	7.5YR5/3 にぶい褐	0	0		0	O 2mm 以下		187
	12	底部	ナデ	ナデ	10YR5/2 灰黄褐	2.5Y4/1 黄灰	0	0		0	O 2mm 以下		189
SI-31	14	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0				O 3mm 以下		20
	15	胴部	貝殼腹縁刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			〇 1mm 以下		131
	16	胴部	短沈線文	ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR4/2 灰黄褐	0		0	_	O 3mm 以下		138
SI-53	17	胴部	貝殻腹縁による 押し引き	ナデ	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR4/2 灰黄褐	0	0	_		O 3mm 以下		135
31-93	18	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR5/4 に <u>ぶい赤褐</u>	2.5Y4/1 黄灰	0	0	0		O 2mm 以下		141
	19	胴部	楕円押型文 (ネガ)	ナデ (剥離著しい)	7.5YR5/3 に ぶい褐	7.5YR4/2 灰褐	0	0			O 2mm 以下		143
	20	胴部	格子目押型文	ナデ	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			O 5mm 以下		151

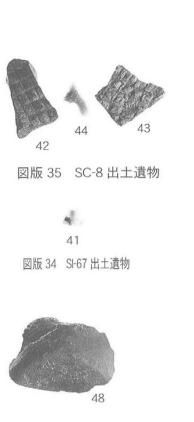
遺構	遺物	÷7.44.		 び調整	色	調	胎				<u>+</u>	(# 1 /.	遺物 整理
No	No	部位	外面	 内面	外面	内面	石英	長石	キンウンモ	クロウンモ	砂粒	. 備 考	整理 No
~	24	胴部	短沈線文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR3/1 黒褐	0	0	0		O 2mm 以下		147
SI-54	25	胴部	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	10YR4/2 灰黄褐	7.5YR4/2 灰褐	0	0	0		O 1mm 以下		154
	26	口縁	山形押型文	ナデ	2.5YR4/2 暗灰黄	2.5Y5/2 暗灰黄	0	0	0		O 2mm 以下		16
SC-5	27	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0			O 4mm 以下		158
	28	底部	貝殻腹縁による 刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			O 3mm 以下		23
	29	胴部	貝殻腹縁による 押し引き文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR4/2 灰褐	0				O 3mm 以下		160
	30	口縁	山形押型文	山形押型文 ナデ	5YR4/2 灰褐	5YR4/2 灰褐	0	0			O 5mm 以下	SI-29 出土の土器片と接合	15
SC-6	31	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR4/3 褐	10YR4/2 灰黄褐	0	0			O 2mm 以下	口径 26cm	183
	32	底部~ 胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR4/3 褐	10YR4/2 灰黄褐			0		O 3mm 以下		25
	33	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	7.5YR5/3 にぶい褐	0	0			O 3mm 以下		155
	34	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR4/3 褐	10YR4/2 灰黄褐	0			0	O 5mm 以下		190
	36	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0			O 5mm 以下		156
	37	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR3/1 黒褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0			O 6mm 以下		192
SC-7	38	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0		0	O 1cm 以下		162
	39	底部	ナデ	ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR4/2 灰黄褐	0	0	0		O 4mm 以下		136
SI-55	40	口縁	楕円押型文	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	7.5YR5/2 灰褐		0	0		O 2mm 以下		152
	42	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR3/1 黒褐	5YR4/2 灰褐	0	0			O 4mm 以下		159
SC-8	43	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	7.5YR3/2 黒褐	0	0		0	O 2mm 以下		157
	45	胴部	貝殻腹縁による 刺突文	ナデ	5YR5/4 にぶい赤褐	10YR4/3	0	0	0	0	O 3mm 以下		24
SC-9	46	胴部	山形押型文	ナデ	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4	0	0		0	O 5mm 以下		164
SC-10	48	底部	ナデ	ナデ	5YR5/3 にぶい赤褐	7.5YR4/2 灰褐	0	0		0	O 3mm 以下		186
	49	口縁	山形押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0		0	O 4mm 以下		18
SC-11	50	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐		0		0	O 5mm 以下		153
	51	口縁	山形押型文 ナデ	山形押型文	10YR3/2 黒褐	7.5YR4/2 灰褐	0	0		0	O 2mm 以下		22
SC-12	52	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	2.5Y4/1 黄灰	0	0		0	O 3mm 以下		163
	53	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR4/3 褐	7.5YR4/2 灰褐			0		O 2mm 以下		161
	54	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR3/1 黒褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 2mm 以下		19
00.10	55	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙		0		0	O 5mm 以下	SC-8 出土の土器片と接合	170
SC-13	56	胴部	楕円押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR4/2 灰黄褐	0	0			O 5mm 以下		176
	57	胴部	沈線文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR5/2 灰黄褐	0	0		0	O 4mm 以下		173
07.51	59	胴部	貝殻腹縁による 刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR3/1 黒褐		0	0		O 3mm 以下		142
SI-51	60	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/3 にぶい黄橙		0		0	O 3mm 以下		139
	62	口縁	貝殻腹縁による 刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR4/2 灰黄褐		0	0		O 3mm 以下		21
SI-52	63	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0		0	O 5mm 以下		132
	64	胴部	山形押型文 (剥離著しい)	ナデ	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR3/1 黒褐	0	0	0		O 3mm 以下		165
	68	胴部	貝殻腹縁による 刺突文	ナデ	5YR6/6 橙	10YR4/1 褐灰	0	0			O 1mm 以下		149
SX-1	69	胴部	貝殻腹縁による 押し引き文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR4/2 灰黄褐		0			O 4mm 以下		145
	70	胴部	貝殻腹縁による 押し引き文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3		0	0		O 6mm 以下		148
SX-2	72	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	10YR4/2 灰黄褐	0	0			2mm 以下		150

				第4表 B区遺構	内石器	計測	分類表	Ę.	
遺物 No	整理 No	器 種	遺構 No	石 材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
5	482	異形石器	SI-28	黒曜石 (桑ノ木津留)	2.1	1.6	0.5	1.6	
6	475	二次加工ある剥片	SI-28	チャート	2.4	2.7	1.15	5.1	石核の可能性有り
13	483	石鏃未製品	SI-30	チャート	2.2	2.2	0.65	2.5	
21	485	打製石鏃	SI-53	チャート	1.5	1.6	0.45	0.7	先端部、脚部を欠損
22	477	打製石鏃	SI-53	流紋岩	3.25	1.95	0.6	2.6	
23	474	尖頭器?	SI-53	チャート	3.5	3.45	1.7	15.8	
41	491	打製石鏃	SI-67	チャート	1.25	1.6	0.4	0.7	
44	486	打製石鏃	SC-8	チャート	2.5	1.5	0.39	1.1	
35	488	石錐	SC-6	黒曜石 (桑ノ木津留)	2.3	1	0.4	0.8	
47	484	打製石鏃	SC-9	チャート	2.35	1.5	0.35	0.9	脚部欠損
58	476	打製石鏃	SC-13	黒曜石 (腰岳)	2.25	1.7	0.5	1	脚部欠損、先端部欠損後再加工痕跡有
61	487	石核	SI-51	チャート	3.1	1.8	1.5	6.6	
65	489	打製石鏃	SI-52	チャート	2.3	1.75	0.55	1.4	脚部欠損
66	490	石錐	SI-52	チャート	2.3	2	0.6	2.4	
67	504	石核	SI-52	黒曜石 (針尾)	2.75	2.85	1.7	8.6	
71	478	打製石鏃	SX-1	チャート	2.35	1.7	0.5	1.4	脚部欠損

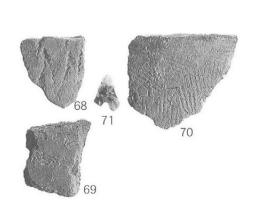




図版 31 SC-6 出土遺物

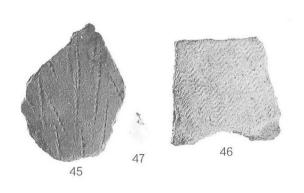




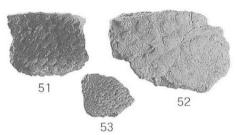


図版 40 SC-13 出土遺物

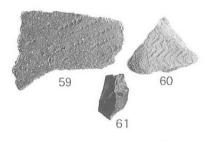
図版 43 SX-1 出土遺物



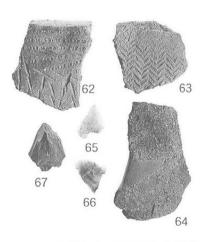
図版 36 SC-8 出土遺物



図版 39 SC-12 出土遺物



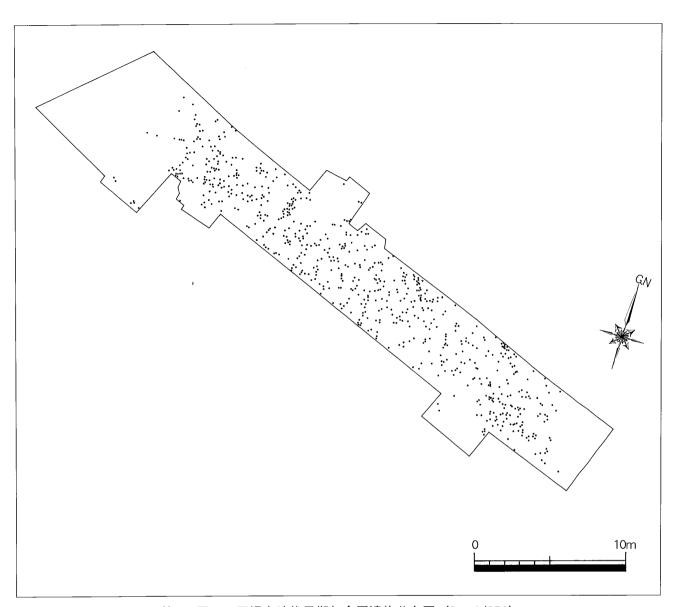
図版 41 SI-51 出土遺物



図版 42 SI-52 出土遺物



図版 44 SX-2 出土遺物



第26図 B区縄文時代早期包含層遺物分布図(S=1/250)

第2節 包含層出土遺物

今回の調査では7層中位から8層下位にかけて約700点の遺物が出土した。これらの遺物はそのほとんどが縄文時代早期中葉から早期後葉のもので、土器や土製品及び石器に分かれる。

1. 土 器

土器については、下剥峯式土器や桑ノ丸式土器などの貝殻文系土器と押型文土器及び塞ノ神式土器の3土器群に大別できる。貝殻文系土器と判断した土器は88点で、そのうち19点を今回資料化している。押型文土器と判断した土器は本調査区で最も多い210点で、今回はそのうち32点を資料化している。又、塞ノ神式土器と判断した土器については、100点のうち14点を資料化している。

貝殼文系土器

 $1\sim19$ は貝殻文系土器である。1 はやや外反する口縁部で2 は胴部であるが、ともに斜位の貝殻条痕

文が施されている。ただし、器形的特徴は不明である。3は口縁部付近に横位の貝殻刺突文を施し、胴部には縦位の同文様を施している。4は貝殻押引文と貝殻刺突文が施されている。 $5\sim8$ は貝殻刺突文が施されているが、5には口縁部付近に穿孔がみられる。 $9\cdot10$ は $5\sim8$ 同様貝殻刺突文が施されているが、それに加え八の字状の短沈線文が施されている。11 から 14 は短沈線文が施されているが、施文パターンは $5\sim8$ のものとよく似ている。 $15\sim19$ は貝殻条痕文が施されており、施文パターンは流水文や羽状文などがみられる。尚、19 については、放射性炭素年代測定により 8400 ± 40 年 BP という結果が得られている。

押型文土器

 $20\sim51$ は押型文土器である。山形押型文、楕円押型文、格子目押型文の 3 種に分けられる。 $20\sim34$ は山形押型文土器である。 $20\sim28$ は口縁部で、いずれもほとんど外反せずに直行している。 施文方向については、 $20\sim27$ はいずれも横位で口唇部から胴部にかけて施文されているが、 27 は口唇部から 2cm 程のところから施文されている。 又、 28 は外面が縦位に内面が横位に施文されている。 $29\sim33$ は胴部で、 $29\sim31$ は横位に施文されているが、 32 は斜位に施文されている。 又、 33 は内外面に横位に施文されている。 34 は平底の底部であり、若干残存している胴部に横位の施文がみられる。

 $35 \sim 46$ は楕円押型文土器である。 $35 \sim 40$ については、 $35 \sim 39$ が横位で 40 が縦横位混在で施文されており、いずれも 3mm 程度の小粒の楕円である。41 については、 $35 \sim 40$ と比較するとやや大きめの楕円が斜位に施文されている。又、 $42 \sim 44$ については、ソロバン珠状の文様が斜位に施文されており、口縁部である $42\cdot 43$ の内面には平たい棒状工具による沈線もみられる。 $45\cdot 46$ についてはいずれも明瞭な楕円文ではないが、今回は両土器片とも楕円押型文として取り扱っている。

 $47\sim51$ は格子目押型文土器である。47 は口縁部で、口唇部から $3\mathrm{cm}$ 程のところから施文されている。 $48\sim51$ はいずれも胴部で、文様は47 も含めてよく似ている。

塞ノ神式土器

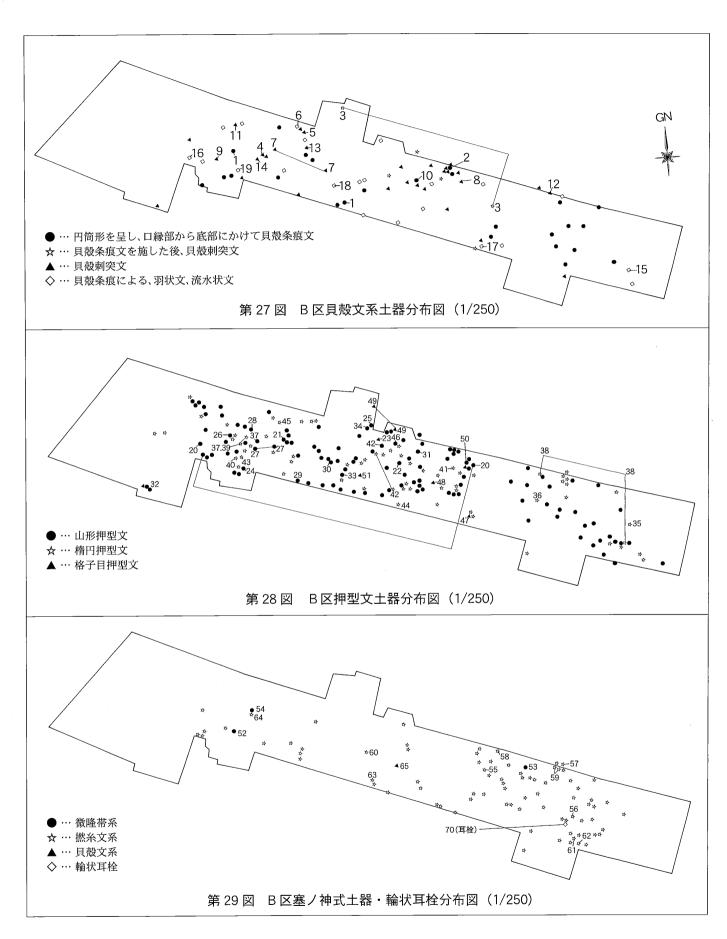
 $52\sim65$ は塞ノ神式土器である。 $53\cdot54$ は、細かい刻みを施した微隆帯を貼り付けた胴部であるが器形は不明である。55 については、細い棒状工具による沈線が施されており壺の胴部だと推測される。 $55\sim60$ については、円筒形の胴部に付くラッパ状に開く口縁部で、施文的特徴については棒状工具による沈線文が施されている。又、 $55\sim59$ については、いずれも口唇部に刻み目が施されている。 $61\cdot62$ は胴部から口縁部への屈曲部であり、61 には沈線文が 62 には沈線文と撚糸文が施されている。又 $63\cdot64$ は胴部であり、63 には沈線文と撚糸文が 64 には沈線文が施されている。65 については、文様がやや不明瞭な状況ではあるが、貝殻による刺突文が施されているのではないかと推測される。

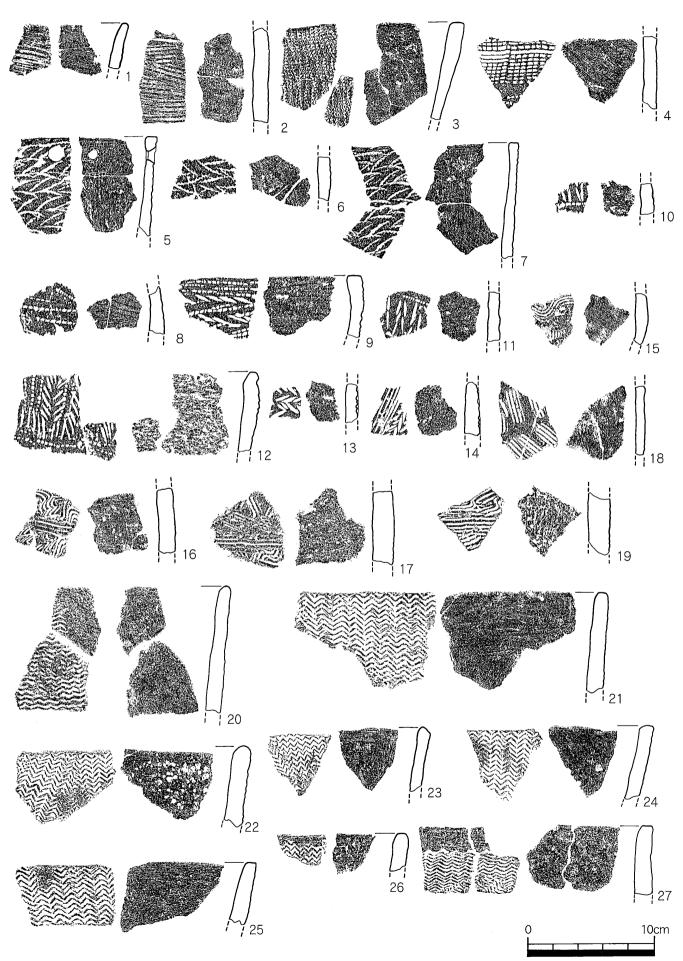
その他

今回は分類が困難な土器片を4点資料化している。そのなかでも69については、網代の痕跡がみられる底部で、白色の付着物も確認できる。

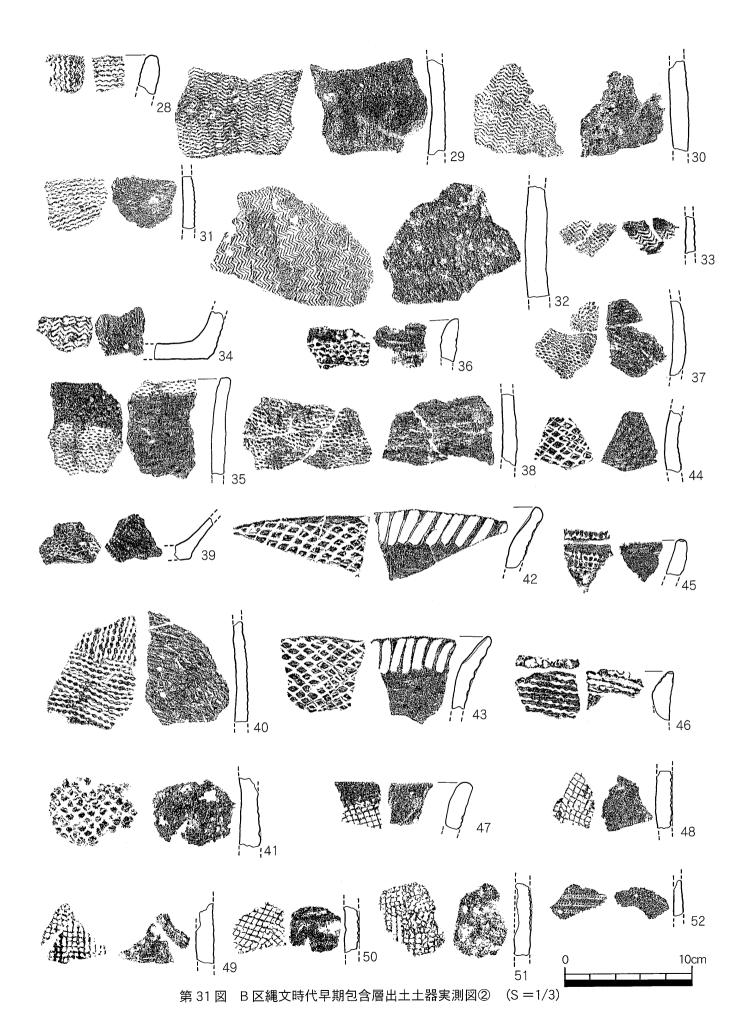
2. 土製品

土製品については、輪状耳栓の一部が1点のみ出土している(70)。サイズは上部径が5.4cm(残存状態から下部径、高さは不明)で、又、内外面には丹と思われる赤色顔料が塗られている。

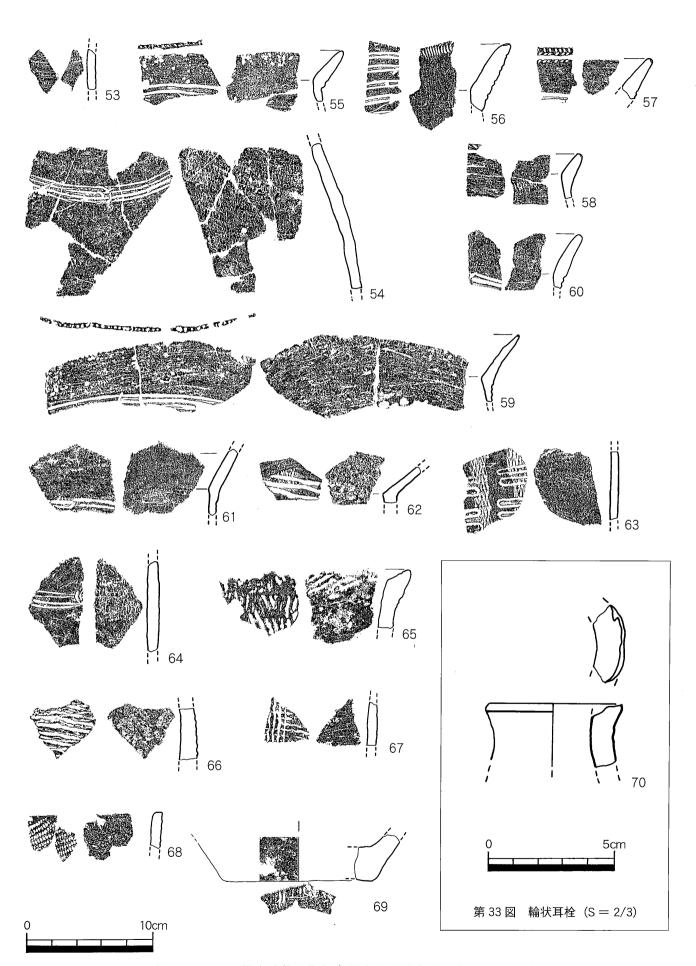




第 30 図 B 区縄文時代早期包含層出土土器実測図① (S =1/3)



-37-



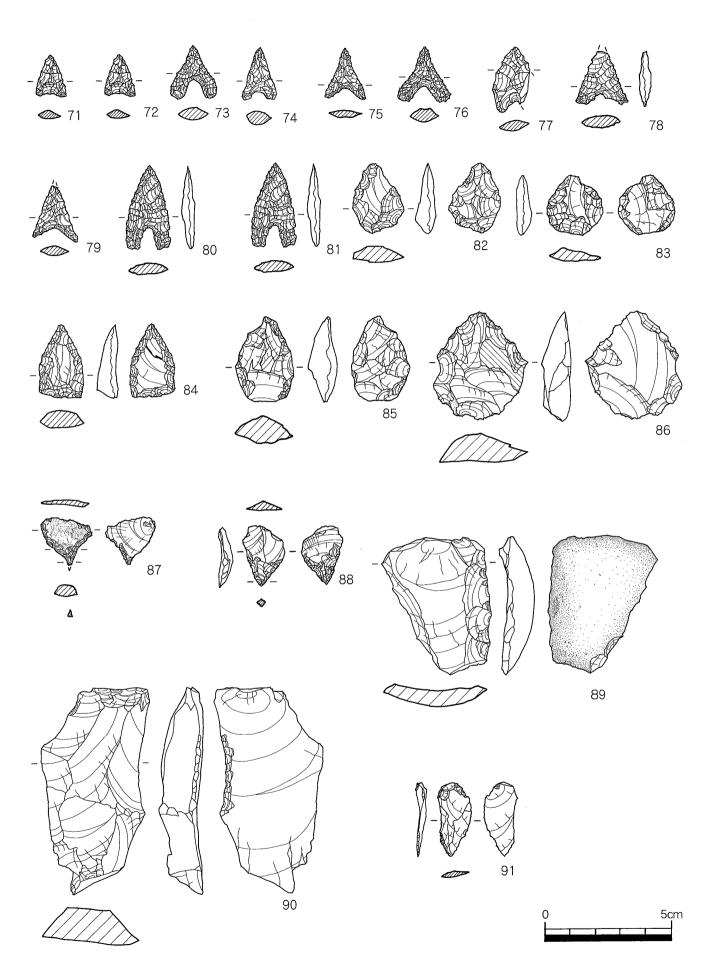
第32図 B区縄文時代早期包含層出土土器実測図③ (S=1/3)

	_	_			第5表	B 区包含層	出土土	器観察	終表				
遺物	出土	部位	文様及	び調整	色	調		胎			Ŀ.	備考	遺物 整理
No	層位	пи пт	外面	内面	外面 7.5YR6/4	内面 7.5YR5/4	石英	長石	キンウンモ	クロウンモ	砂粒		No
1	VIII層	口縁	貝殼条痕文	ナデ 	にぶい橙	にぶい褐					2mm 以下		435
2	VII層	胴部	貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0		0	O 2mm 以下		259
3	Ⅷ層	口縁	貝殻刺突文	ナデ	10YR6/4 にぶい黄橙	2.5Y5/2 にぶい褐	0	0			O 3mm 以下		265
4	VII層	胴部	貝殼刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0	0		O 4mm 以下		282
5	VII層	口縁	貝殼刺突文	ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	2.5Y4/1 黄灰	0	0	0		O 1mm 以下	穿孔あり	31
6	VⅢ層	胴部	貝殼刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	2.5Y4/2 暗灰黄	0	0		0	O 2mm 以下		290
7	VII層	口縁	貝殼刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/2 灰黄褐	0	0		0	O 2mm 以下		284
8	VII層	胴部	貝殼刺突文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/2 灰黄褐	0	0	0		O 3mm 以下		286
9	Ⅷ層	口縁	貝殼刺突文 沈線文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	2.5Y5/2 にぶい褐		0	0		O 3mm 以下		281
10	VII層	胴部	貝殻刺突文 沈線文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0	0		O 4mm 以下	-	289
11	VⅢ層	- 胴部	貝殻刺突文 沈線文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0	0		3mm 以下		283
12	VII層	口縁	貝殼刺突文	ナデ	10YR5/2 灰黄褐	2.5Y4/2 暗灰黄		0	0		3mm 以下	C15 グリッドの土器片と接合	294
13	VII層	胴部	沈線文 沈線文	ナデ	10YR5/2	 10YR5/3 にぶい黄褐	0	0	0		0 2mm 以下		292
14	VII層	胴部	沈線文	ナデ	灰黄褐 7.5YR5/4	10YR5/3	0	0	0		0		291
15	VII層	胴部	貝殼条痕文	ナデ	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄褐 10YR5/2	0	0			3mm 以下 0 2		295
16	VII層	胴部	貝殻腹縁による押し引き 貝殻条痕文	ナデ	にぶい褐 7.5YR5/4	灰黄褐 7.5YR5/4	0	0			2mm 以下 0		296
17	Ⅷ層	胴部	貝殻条痕文	 ナデ	にぶい褐 7.5YR6/4	にぶい褐 10YR5/4	0	0			3mm 以下 〇		298
18	VII.M	胴部	貝殻条痕文	ナデ	にぶい褐 10YR5/3	<u>にぶい黄褐</u> 10YR5/3	0	0			2mm 以下 〇		299
	VIII/B	- 胴部 	貝殻条痕文	ナデ	にぶい黄褐 7.5YR5/4	にぶい黄褐 10YR3/1		0			6mm 以下 〇	放射性炭素年代測定	471
19					にぶい褐 2.5Y4/1			0			2mm 以下 O	8400 ± 40 年 BP	
20	Ⅷ層	口縁	山形押型文	ナデ	黄灰 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR6/3	0	_		0	4mm 以下 〇		339
21	VII.層	口縁	山形押型文	ナデ	にぶい黄橙 7.5YR5/4 に	にぶい黄橙 7.5YR5/4	0	0		0	4mm 以下 〇		340
22	Ⅷ層	口縁	山形押型文	ナデ	ぶい褐 10YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	0	0		0	7mm 以下 〇		342
23	VII.層	口縁_	山形押型文	ナデ	にぶい黄褐	にぶい褐	0	0		0	8mm 以下		343
24	VII層	口縁	山形押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	5YR5/4 にぶい赤褐	0	0		0	O 6mm 以下		344
25	VII層	口縁	山形押型文	ナデ	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 4mm 以下		345
26	VII層	口縁	山形押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	7.5YR3/1 黒褐	0	0		0	O 2mm 以下		360
27	Ⅷ層	口縁	山形押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0	0		O 3mm 以下		346
28	VII.層·	口縁	山形押型文	山形押型文	7.5YR4/3 褐	7.5YR4/6 褐	0	0			O 3mm 以下		361
29	VII層	胴部	山形押型文	ナデ	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/3 にぶい黄橙	0	0		0	O 6mm 以下		341
30	VII層	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR6/3 にぶい黄橙	0	0		0	O 7mm 以下		371
31	VII層	胴部	山形押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR4/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 3mm 以下		372
32	WI層	胴部	山形押型文	ナデ	5YR5/4 にぶい赤褐	5YR5/4 にぶい赤褐	0	0			O 6mm 以下		366
33	VII P	胴部	山形押型文	山形押型文	7.5YR4/3 褐	7.5YR4/2 灰褐	0	0			O 2mm 以下		358
34	VII層	底部	山形押型文	ナデ	2.5Y5/2 暗灰黄	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 5mm 以下		363
35	VII層	口縁		楕円押型文 ナデ	_{間灰質} 10YR6/3 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 4mm 以下		30
36	VII層	口縁	格円押型文 精円押型文	ナデ	10YR4/2	10YR4/2	0	0		0	O 5mm 以下		355
37	VII層	胴部	楕円押型文	ナデ	灰黄褐 7.5YR5/3 にどい縄	灰黄褐 7.5YR4/2 応視	0	0	0		O 3mm 以下		353
38	VII層	胴部	精円押型文	ナデ	にぶい褐 10YR6/4	灰褐 7.5YR4/2 灰褐	0	0		0	0		349
39	VII層	底部	精円押型文	ナデ	にぶい黄橙 7.5YR4/3	灰褐 10YR4/2	0	0			4mm 以下 O		362
40	vii/a	胴部	精円押型文	ナデ	7.5YR6/4	<u></u> 灰黄褐 10YR5/3		0		0	3mm 以下 〇		348
41	VII.層	胴部	楕円押型文	ナデ	にぶい橙 10YR5/3	にぶい黄褐 7.5YR5/3	0	0		0	4mm 以下 0		350
41	Y皿間	에디디	1月737年至人	7 7	にぶい黄褐	にぶい褐		<u> </u>			7mm 以下		000

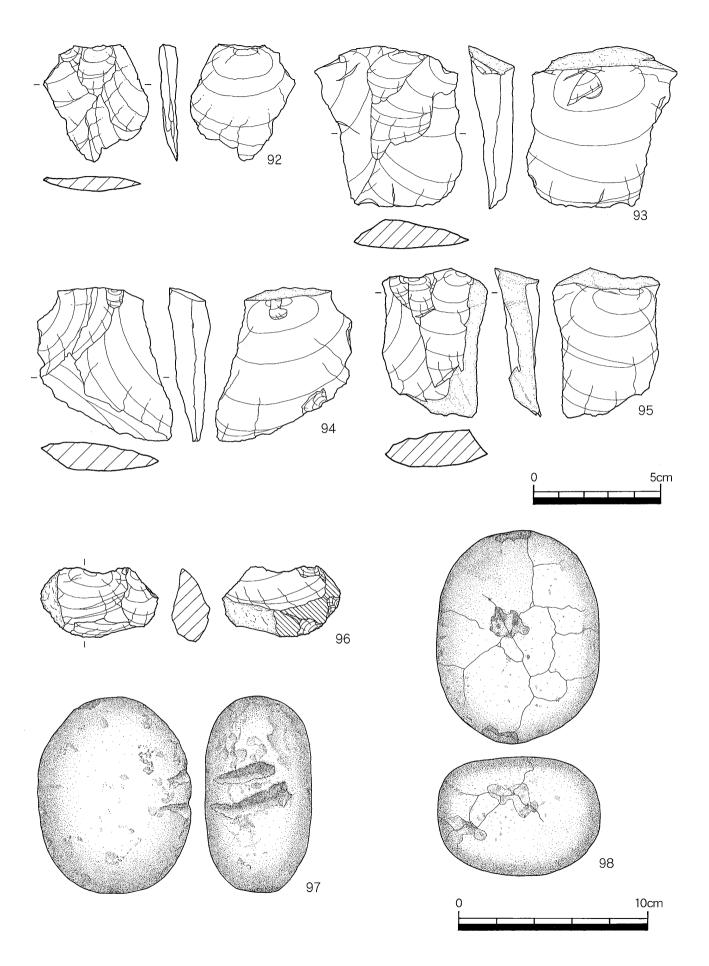
遺物	出土	文様及び調整		色 調			胎	ì	£		- 備 考	遺物 整理	
No	層位	部位	外面	内面	外面	内面	石英	長石	キンウンモ	クロウンモ	砂粒	νπ * 7	No
42	Ⅷ層	口縁	楕円押型文	沈線文ナデ	10YR5/2 灰黄褐	7.5YR4/2 	0	0			O 3mm 以下		338
43	Ⅷ層	口縁	楕円押型文	沈線文ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙	0	0			〇 2mm 以下		351
44	VII層	胴部	楕円押型文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙	0	0			O 3mm 以下		354
45	Ⅷ層	口縁	楕円押型文	 ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0	0		O 4mm 以下	口唇部に刺突文	429
46	WII層	口縁	楕円押型文	楕円押型文	10YR4/2 灰黄褐	10YR4/2 灰黄褐	0	0		0	O 5mm <u>以下</u>	口唇部に連続キザミ目	357
47	WII層	口縁	格子目押型文	ナデ	10YR6/4 にぶい黄橙	10YR6/4 にぶい黄橙	0	0		0	O 5mm 以下		352
48	VII層	胴部	格子目押型文	ナデ	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			O 5mm 以下		364
49	VIII層	胴部	格子目押型文	ナデ	10YR5/4 にぶい黄褐	2.5Y5/2 暗灰黄	0	0			O 3mm 以下		365
50	WII層	胴部	格子目押型文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR3/2 	0	0			O 3mm 以下		367
51	VII層	胴部	格子目押型文	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			〇 6mm 以下	·	368
52	VII層	胴部	微隆带	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			O 3mm 以下		312
53	VII層	胴部	微隆带	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 2mm 以下		317
54	垭層	胴部 (壺)	沈線文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0			〇 2mm 以下		310
55	Ⅷ層	口縁	沈線文	ナデ	5YR6/4 にぶい橙	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	〇 1mm 以下	口唇部に刻み目	324
56	四層	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0			O 1mm 以下	口唇部に刻み目	333
57	WII層	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0	0		O 3mm 以下	口唇部に刻み目	331
58	WI層	口縁	ナデ	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	2.5Y5/2 にぶい褐	0	0			〇 1mm 以下	口唇部に刻み目	335
59	Ⅷ層	口縁	沈線文	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	5YR5/3 にぶい赤褐	0	0		0	O 2mm 以下	口唇部に刻み目	336
60	Ⅷ層	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			O 2mm 以下	黒変有り	334
61	Ⅷ層	頸部	沈線文	ナデ	7.5YR4/3 褐	5YR5/4 にぶい赤褐		0		0	O 2mm 以下		311
62	Ⅷ層	頸部	沈線文 撚糸文	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	7.5YR4/2 	0	0			〇 4mm 以下		316
63	WII層	胴部	沈線文 撚糸文	ナデ	7.5YR4/2 灰褐	7.5YR4/2 灰褐_	0				O 3㎜以下		32
64	Ⅷ層	胴部	沈線文	ナデ	5YR6/6 橙	7.5YR5/4 にぶい褐		0			O 1mm 以下		307
65	Ⅷ層	口縁	貝殼刺突	ナデ	5YR4/3 にぶい赤褐	10YR4/2 灰黄褐	0	0			O 3mm 以下		320
66	VIII層	胴部	沈線文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR4/2 灰褐	0	0		0	O 5㎜ <u>以下</u>		423
67	VII層	胴部	沈線文	ナデ	7.5YR4/3 褐	10YR4/2 灰黄褐		0	0	0	O 2mm 以下		421
68	Ⅷ層	口縁	縄文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/3 にぶい黄橙	0	0		0	O 8mm 以下		425
69	Ⅷ層	底部	ナデ網代	ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR4/2 灰褐	0		0		〇 2mm 以下		428

3. 石 器

 $71 \sim 81$ は打製石鏃で、 $82 \sim 85$ はその未製品である。 B区においては未製品・欠損品を含め総数 41 点の打製石鏃が出土している。石材はチャート・黒曜石がほとんどを占める。長さは 2 cm を超え、抉りがはっきりとしているものがほとんどである。 $73\cdot76$ はいわゆる鍬形鏃である。86 は尖頭状石器の未製品である。頁岩製の不定形な横長剥片を使用する。 $87\cdot88$ は石錐である。87 は背面に自然面を多く残す。いずれとも黒曜石製で剥片の形状を多く残し、一部に加工を施すことにより、錐部を作り出している。89 は石核を転用したスクレイパーである。背面の右側縁に刃部を作り出し、裏面に自然面を残す。 $90\cdot91$ は 2 次加工ある剥片である。90 は腹面の右側縁中央部に細かい加工を施す。91 は剥片の下端部に加工を施して、下端部を尖らせている。 $92\sim95$ は剥片である。92 は尾鈴山酸性岩、93 は頁岩、 $94\cdot95$ は砂岩を使用する。 $93\sim95$ は打面部に自然面を残す。大型の剥片は砂岩製のものが多い。96 はチャート製の石核である。 $97\cdot98$ は砂岩製の敲石である。97 は右側面に二条の溝状の痕跡が確認される。98 は中央部及び端部に使用痕が確認される。

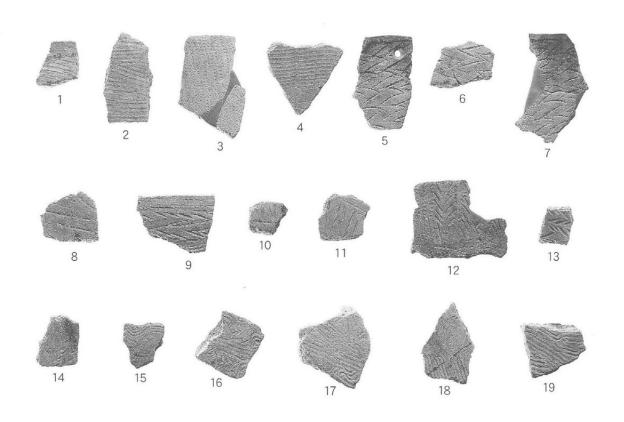


第 34 図 B 区縄文時代早期包含層出土石器実測図① (S = 2/3)

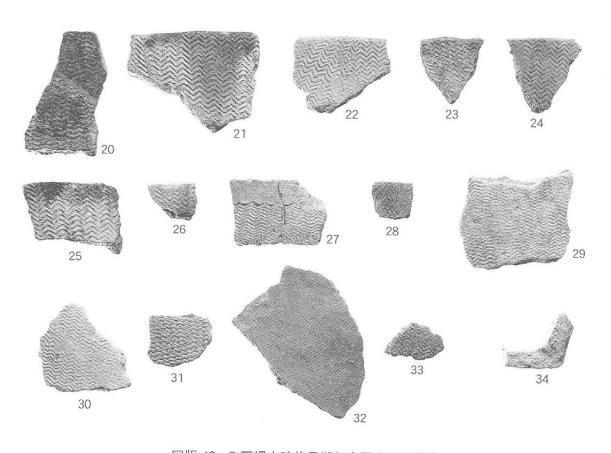


第 35 図 B 区縄文時代早期包含層出土石器実測図② (S = 1/2·S = 2/3)

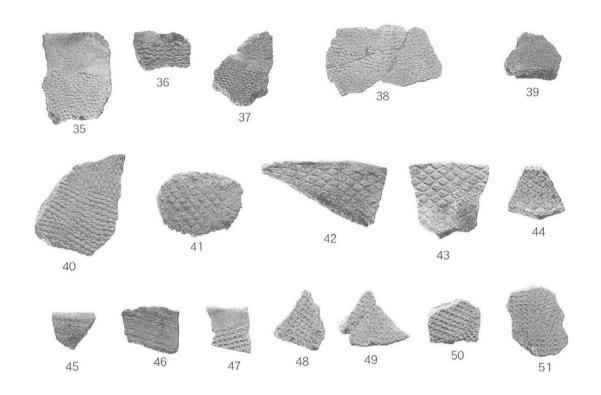
	第6表 B区縄文時代早期包含層出土石器計測分類表												
遺物 No	整理 No	器 種	出土が水	層位	石 材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考			
71	237	打製石鏃	B10	VIII	砂岩	1.7	1.2	0.35	0.5				
72	436	打製石鏃	打製石鏃 B10 WⅢ		チャート	2.1	1.4	0.35	0.7				
73	400	打製石鏃	B10	VIII	黒曜石(腰岳)	2.15	1.8	0.5	0.8				
74	439	打製石鏃	B10	VIII	チャート	2.15	1.4	0.6	1.0				
75	386	打製石鏃	В6	VIII	サヌカイト	2.1	1.65	0.3	0.5				
76	416	打製石鏃	В	VIII	チャート	2.2	2.15	0.55	1.3				
77	228	打製石鏃	B12	VIII	チャート	2.6	1.5	0.45	1.6	脚部欠損			
78	42	打製石鏃	B10	VIII	黒曜石(姫島)	2.1	2.1	0.5	1.3				
79	418	打製石鏃	В 9	VIII	黒曜石(姫島)	2.25	1.8	0.4	0.7				
80	10	打製石鏃	B10	VIII	黒曜石(針尾)	2.85	2.55	0.5	2.3				
81	46	打製石鏃	B10	VIII	黒曜石(針尾)	3.35	1.7	0.5	1.9				
82	210	打製石鏃未製品	B10	VIII	頁岩	2.8	2	0.8	3.7				
83	222	打製石鏃未製品	B10	VIII	流紋岩	2.4	2.1	0.5	2.6				
84	204	打製石鏃未製品	B10	VIII	流紋岩	2.9	1.8	0.8	3.6				
85	225	打製石鏃未製品	B11	VIII	流紋岩	3.4	2.3	1.1	7.1				
86	223	尖頭状石器未製品	В	VIII	頁岩	4.3	3.8	1.2	17.8				
87	444	石錐	B11	VIII	黒曜石(腰岳)	1.9	2.1	0.5	1.2				
88	208	石錐	В2	VIII	黒曜石(桑ノ木津留)	2.4	1.7	0.55	1.2				
89	191	スクレイパー	B12	VIII	頁岩	5.45	4.35	1.3	26.3	石核の転用品			
90	128	2次加工ある剥片	B10	VIII	頁岩	8.3	4.35	1.8	49.1				
91	201	2次加工ある剥片	B10	VIII	チャート	2.45	1.25	3.5	0.9				
92	193	剥片	B10	VIII	尾鈴山酸性岩	4.7	4.2	0.8	11.0				
93	127	剥片	B10	VIII	頁岩	6.45	6	1.1	56.6				
94	199	剥片	B10	VIII	砂岩	6.1	5.5	1.65	39.1				
95	196	剥片	B10	VIII	砂岩	5.95	4.25	1.9	39.2				
96	445	石核	B10	VIII	チャート	2.8	4.7	1.5	18.9				
97	454	敲石	B11	VIII	砂岩	10.4	8.1	5.6	659.6	側面部に2条の溝がある			
98	456	敲石(凹み石)	B11	VIII	砂岩	11.3	8.6	6.3	813.1				



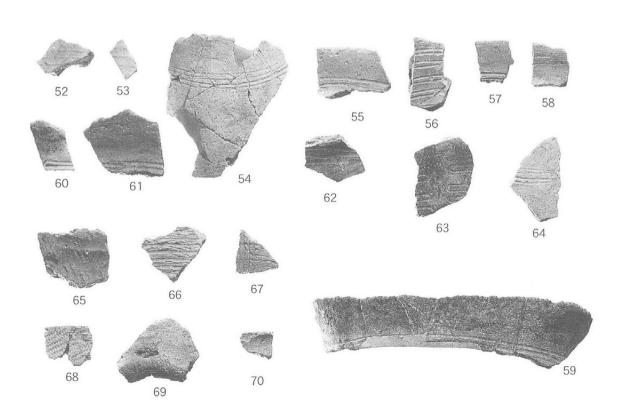
図版 45 B 区縄文時代早期包含層出土土器①



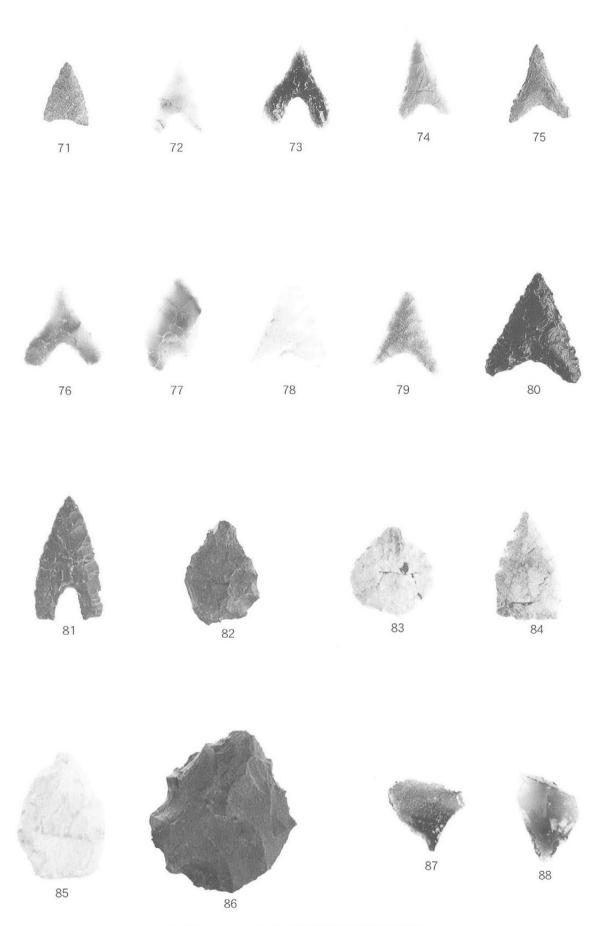
図版 46 B 区縄文時代早期包含層出土土器②



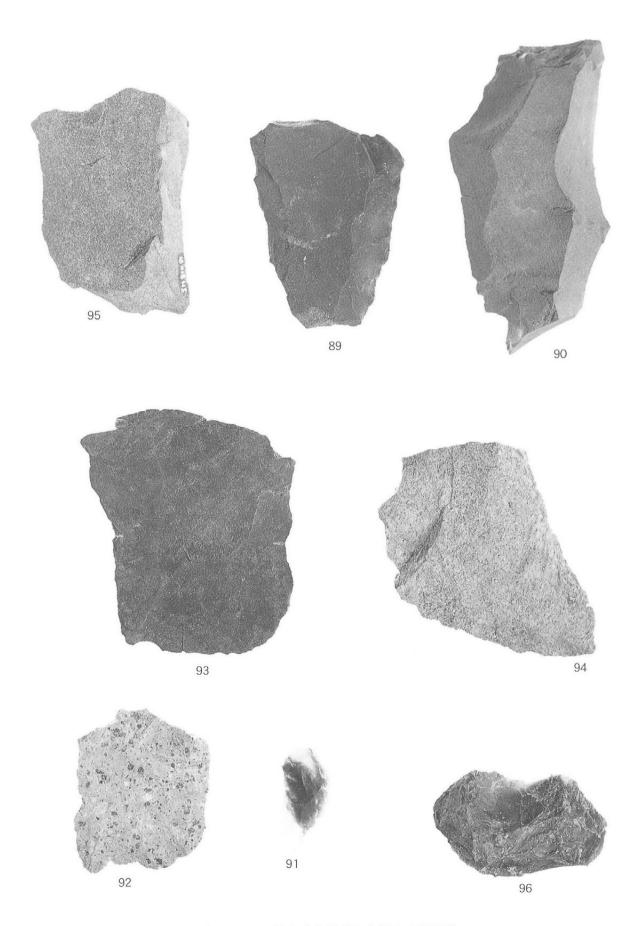
図版 45 B 区縄文時代早期包含層出土土器①



図版 48 B 区縄文時代早期包含層出土土器④



図版 49 B 区縄文時代早期包含層出土石器①



図版 50 B 区縄文時代早期包含層出土石器②



図版 51 B 区縄文時代早期包含層出土石器③

第Ⅲ章 E区における調査

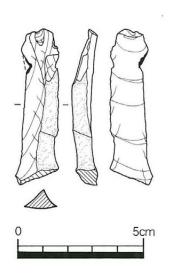
第1節 旧石器時代

1. 旧石器時代遺物包含層の概要

E区における旧石器時代の調査は平坦面に 約 $12 \text{ m} \times$ 約 10.5 m のトレンチと約 $11 \text{ m} \times$ 約 7.5 m のトレンチを設定し掘り下げを行ったところ(調査面積約 210 m)、 $10 \text{ M} \sim 11$ 層にかけて $658 \text{ 点の遺物(石器 } 517 \text{ 点・礫 } 141 \text{ 点:礫群の礫は除く)が検出された。$

平面分布を観察すると二つの石器の集中域 (Aブロック・Bブロック) が認められる。 両ブロックともに接合資料が多数検出された。 どの接合資料も1つのブロック内での接合に とどまり、この二つのブロックを結びつける 資料は認められなかった。

旧石器時代の遺物包含層の厚みは約90cmを測る。10層の遺物と11層の遺物が接合するという状況も確認されており、また垂直分布の様相からも各層位ごとに出土遺物を分別できる根拠に乏しいであろう。二つのブロックはほぼ同じレベルから検出されており、これらの間に時期差を感じ取ることは難しいと考えられる。



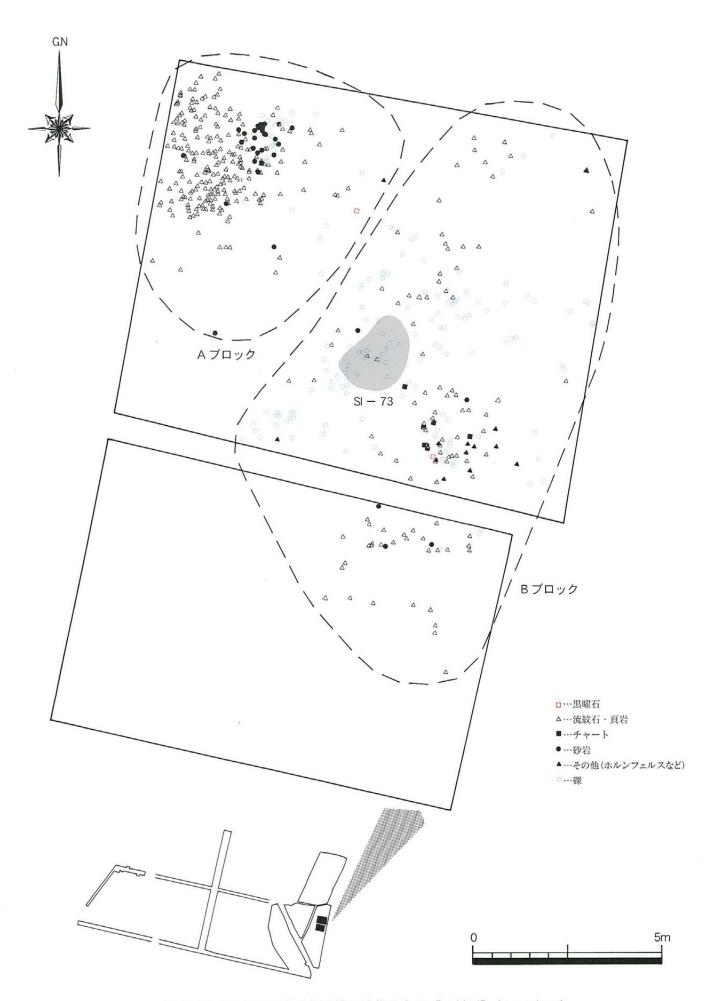
第 36 図 SI-73 出土遺物 (S = 2/3)



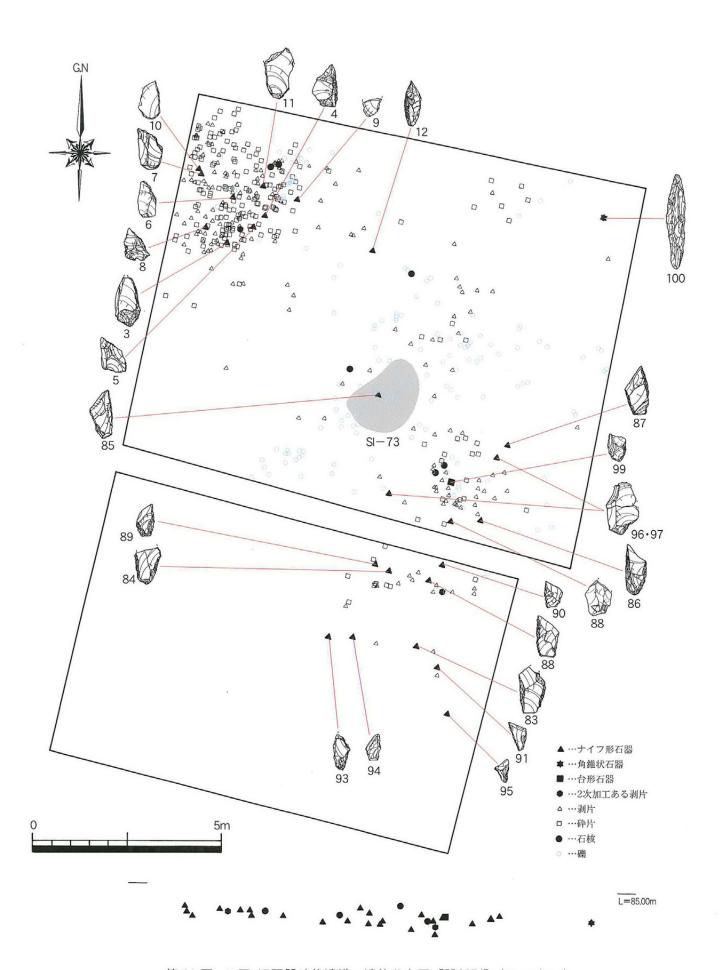
図版 SI-73



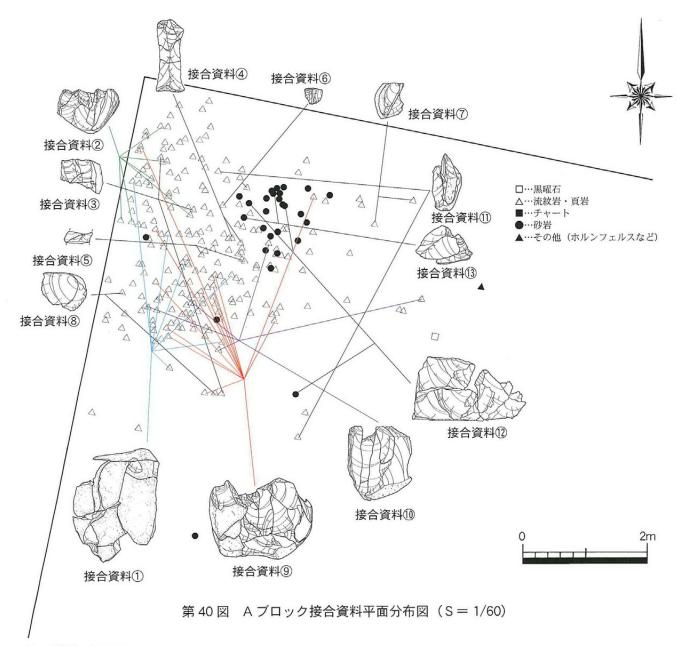
第37図 SI-73 実測図 (S = 1/30)



第38図 E区 旧石器時代遺構・遺物分布図【石材別】(S=1/100)



第39図 E区 旧石器時代遺構・遺物分布図【器種別】(S=1/100)



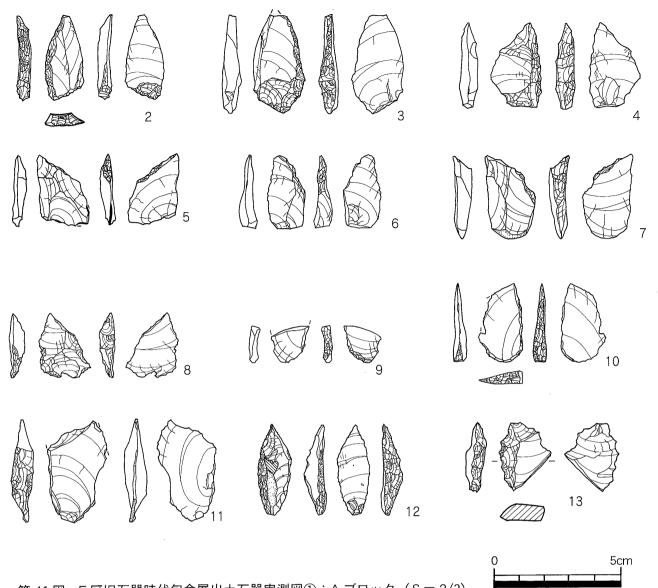
2. 礫群 (SI-73)

設定された旧石器時代の調査区のほぼ中央部より検出された。平面分布を観察するとBブロックの中に位置している。検出された層は 10 層下位から 11 層上部にかけてであり、約 2.5 m× 1.5 mの範囲で 218 個の焼礫の密集が確認された。礫の厚みは約 15 c mであり、礫の総重量は約 52.9kg を量る。

3. Aブロックの様相

Aブロックからは石器 273 点が出土している。主要な遺物としてはナイフ形石器 11 点、スクレイパー1点、接合資料 13 組が挙げられる。Aブロックにおいては石器の出土点数に比べ、礫の出土点数はかなり少なく、ブロックの北側に小規模な集中が見られる。使用石材としては流紋岩・頁岩が最も多くAブロックの全域に分布が見られ、接合資料も 11 組確認されている。砂岩はブロックの東部付近に集中しており、2 組の接合資料が確認されている。他には黒曜石・ホルンフェルスなどが少量使用されている。

ナイフ形石器 $(2 \sim 11)$ には頁岩・流紋岩・黒曜石が使用されている。二側縁加工、先断型の部分加工などの資料が見られる。詳細はBブロックの資料と共に、まとめの章で後述するため、ここでは主に



第 41 図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図①:A ブロック (S = 2/3)

接合資料について述べる。各々の資料については計測表を参照していただきたい。

13 は流紋岩製の縦長剥片を素材とするスクレイパーである。背面の左側縁に腹面側からの加撃により刃部を作り出す。接合資料①と同じ母岩であると考えられる。

接合資料① $(14 \sim 23)$ は流紋岩製で剥片 7 点が接合した。全て自然面を残す剥片の接合資料であり、 礫面を除去するための初期段階の剥片剥離工程を示すものであろうか。

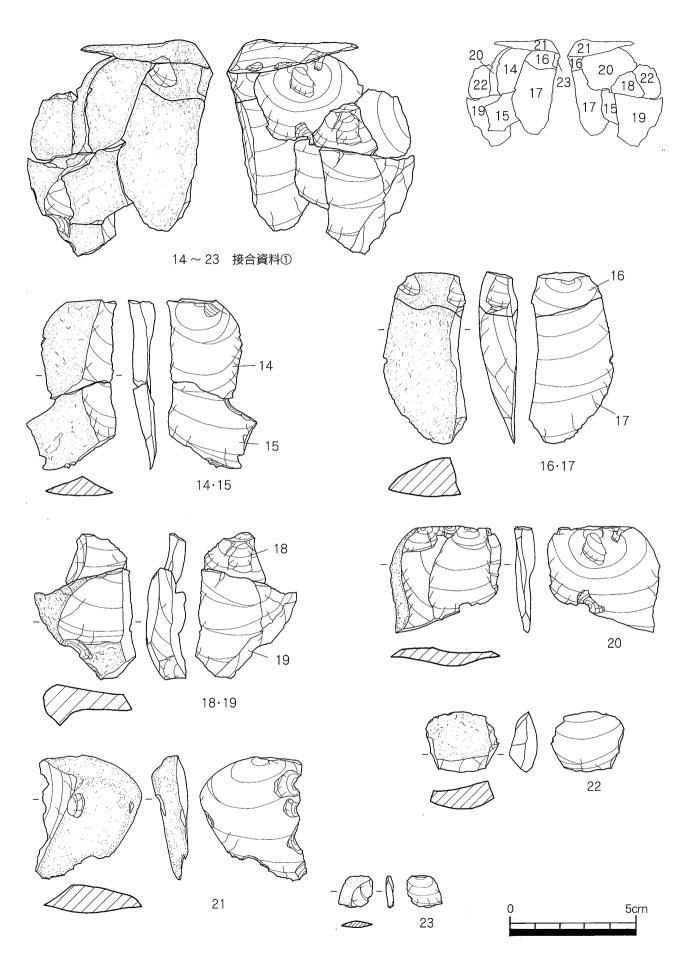
接合資料② $(24 \sim 29)$ は流紋岩製で剥片 6 点が接合した。小型の不定形な縦長剥片を作出するもので、29 は作業面再生剥片であろう。29 を作出後さらに 1 枚の剥片(26)を作出している。

接合資料③(30~32)は流紋岩製で小型の不定形な縦長剥片3点が接合した。

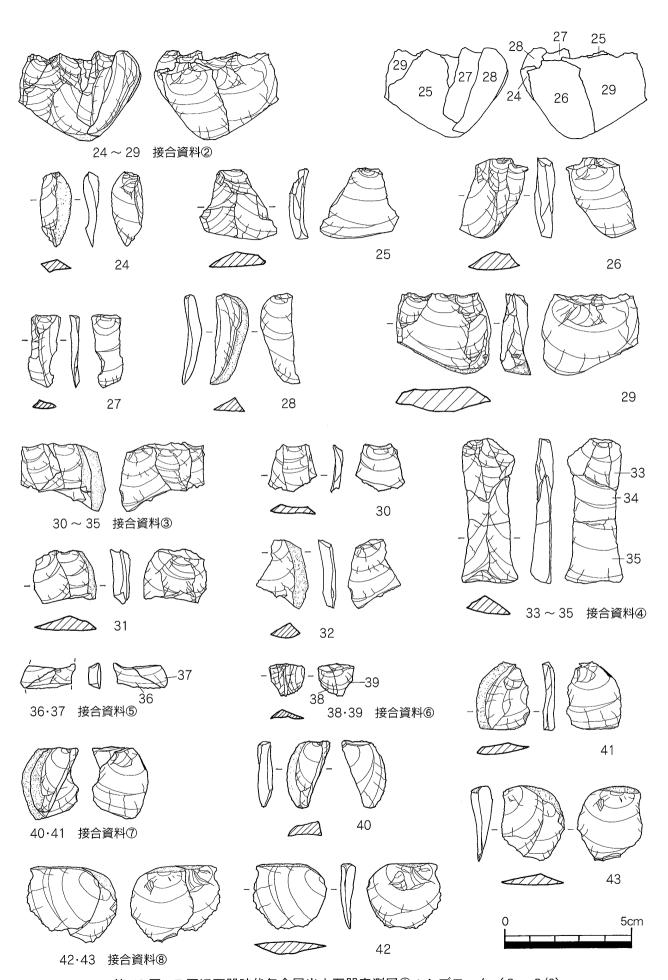
接合資料④ $(33 \sim 35)$ ・⑤ $(36 \cdot 37)$ ・⑥ $(38 \cdot 39)$ は接合資料①と同じ母岩であると考えられる。いずれも一枚の剥片又は剥片の一部の折れ面同士が接合したものである。

接合資料⑦(40・41)・⑧(42・43)は頁岩製で剥片2点が接合した。接合資料⑧については分厚い一枚の剥片を石核としてその石核とした剥片の腹面側から剥片剥離行った資料である。

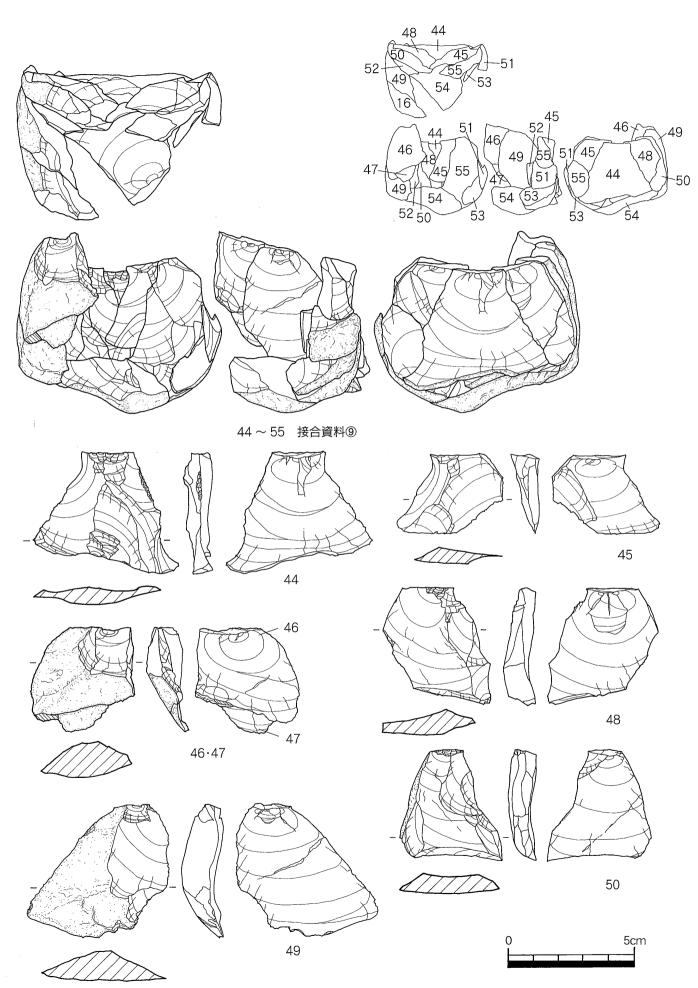
接合資料⑨ (44 \sim 55) は頁岩製で剥片 11 点が接合した。良好な接合資料で以下に示すような剥片



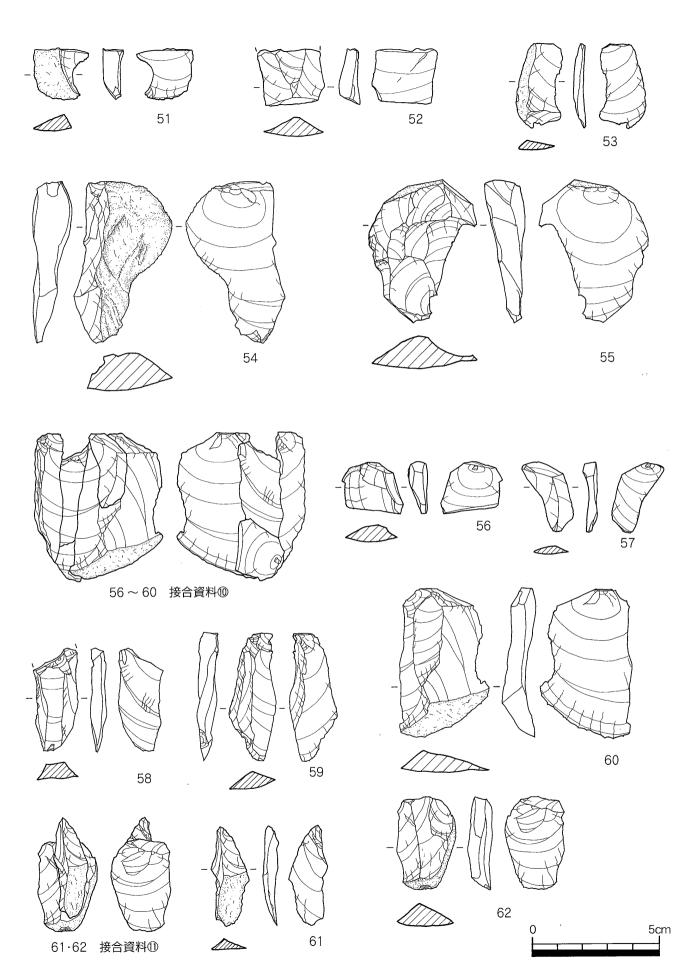
第 42 図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図②:A ブロック (S = 2/3)



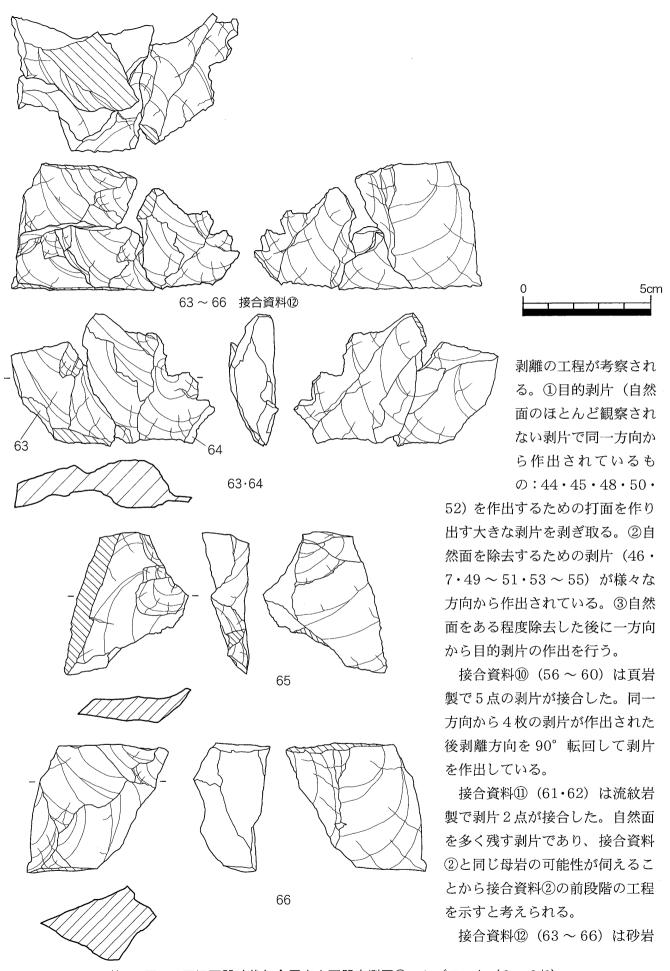
第43図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図③:Aブロック(S=2/3)



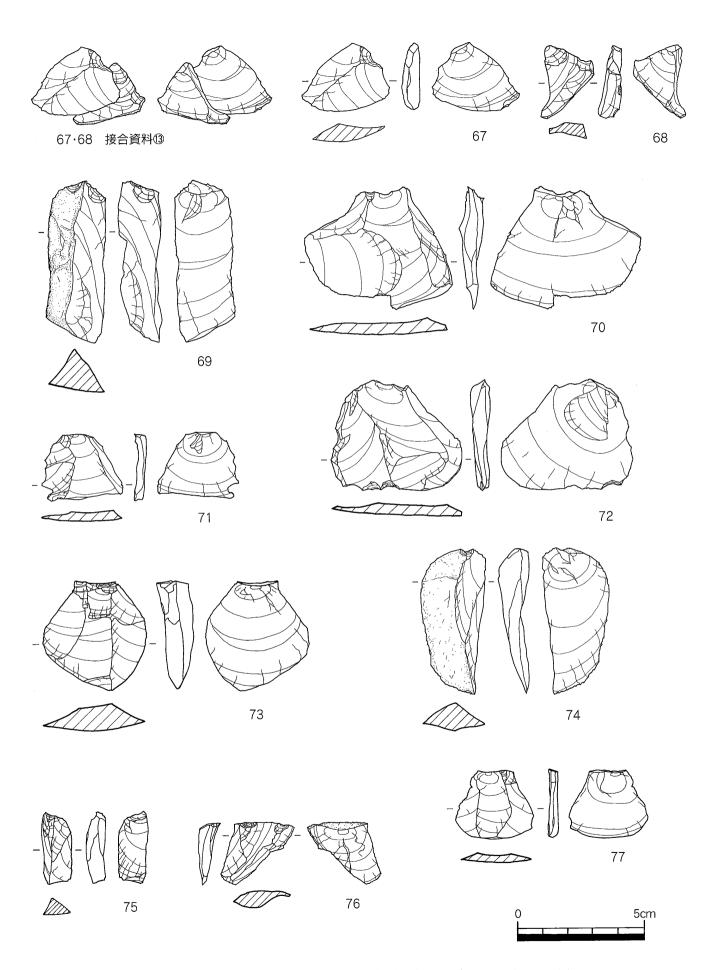
第 44 図 E 区旧石器時代包含層出土石器実測図④:A ブロック (S = 2/3)



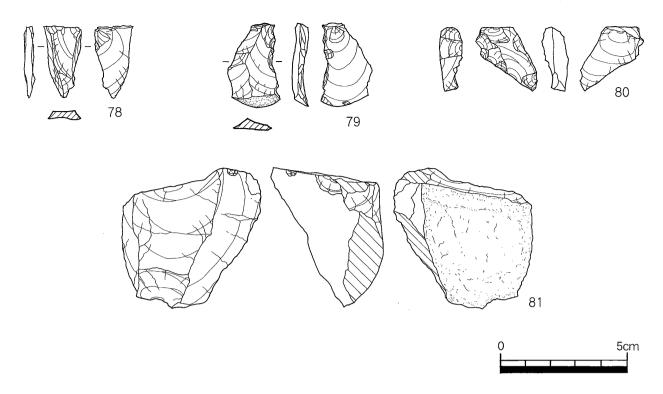
第 45 図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑤:A ブロック (S = 2/3)



第46図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑥:Aブロック(S=2/3)



第 47 図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑦:A ブロック (S = 2/3)



第48図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑧:Aブロック(S=2/3)

製で剥片3枚が接合した。いずれも大ぶりで分厚い不定形な剥片の接合資料である。節理面を打面とする。接合資料(3)(67・68)も砂岩製で小型の不定形な剥片2点が接合した。

4. Bブロックの様相

Bブロックからは 126 点の石器が検出されている。主な遺物としてはナイフ形石器 15 点、三稜尖頭器 1点、台形様石器 1点、接合資料 10 組が挙げられる。Aブロックと比べると礫群が検出されているためか礫の出土点数が多く、ブロックの全体にその分布が広がる。前述した SI-73 はブロックの中央付近よりやや北西部で検出されている。使用石材には流紋岩・頁岩が最も多く使用され、黒曜石・ホルンフェルスなどが少量使用されていることはAブロックと同様である。しかし砂岩がほとんど見られず、Aブロックでは使用されなかったチャートがブロックの中央部に集中して検出され、接合資料も1組確認されていることが相違点として挙げられる。

ナイフ形石器 (82 ~ 97) は頁岩・流紋岩製のもので切り出し型の二側縁加工のものが主体を占める。 前述のとおりまとめの章で考察を行う。Aブロックと同様ここでは主に接合資料について述べることと する。各々の資料については計測表を参照していただきたい。

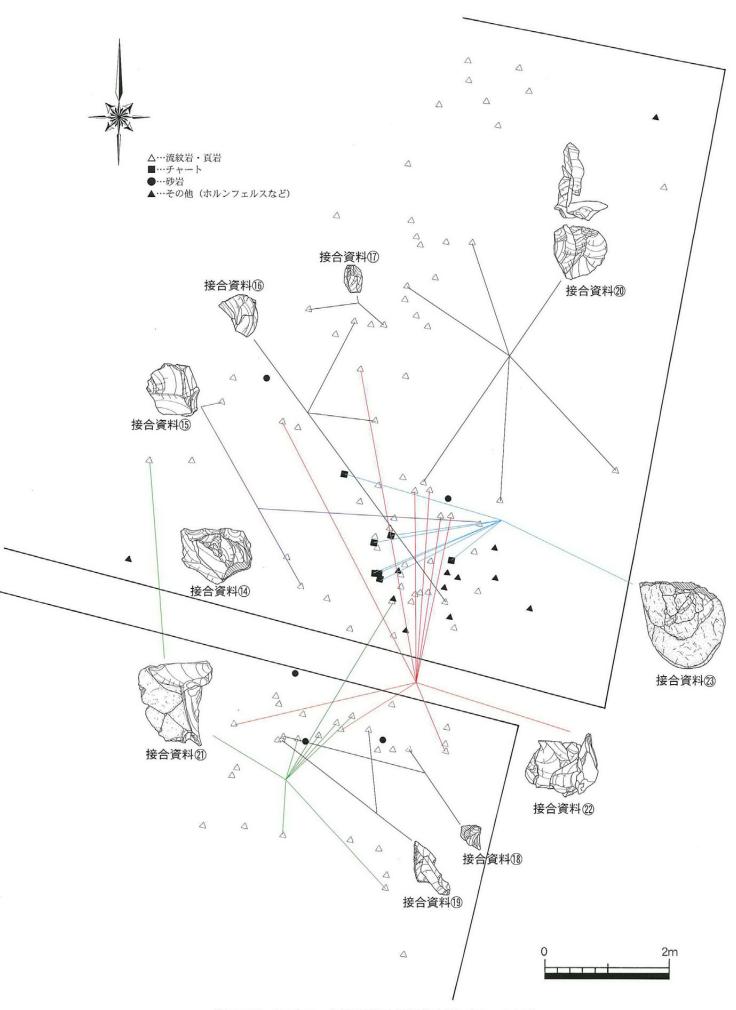
98 は台形様石器である。流紋岩の不定形な剥片を使用する。99 はホルンフェルス製の三稜尖頭器である。細身の三面加工のもので、Bブロックの北東部にて石器の集中部から離れて出土している。

接合資料⑭(100・101)は流紋岩製で分厚い不定形な2次加工ある剥片1点と石核1点の接合資料である。石核は同一方向からの剥片剥離を行うもので、自然面の平坦な部分を打面とするものである。

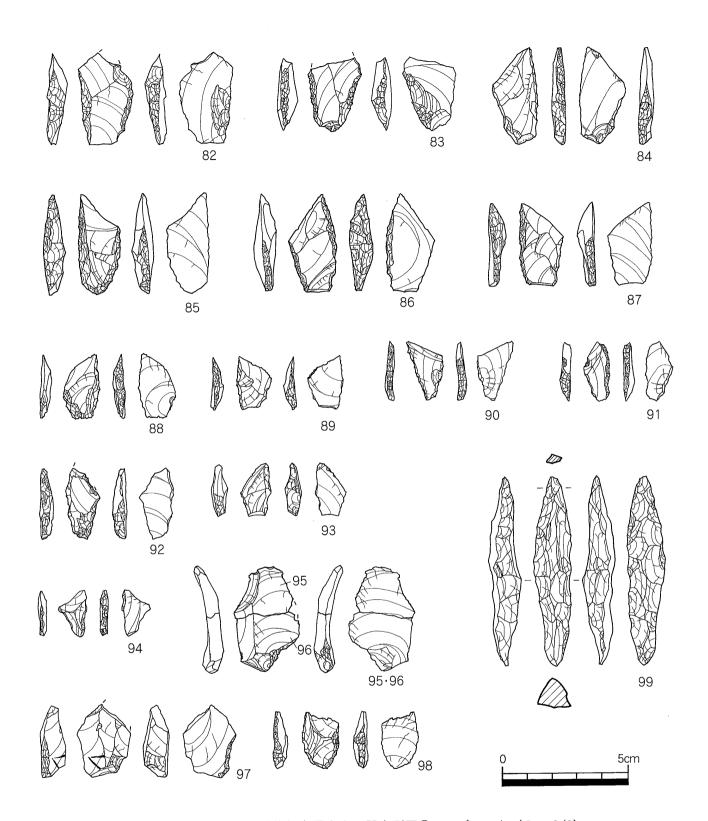
接合資料(5)(95・96・102)は流紋岩製でナイフ形石器1点と剥片1点の接合資料である。

接合資料(6) (103~105)・(8) (108・109) は流紋岩製の不定形な剥片2点の接合資料である。

接合資料(⑦(106・107)は流紋岩製で小型の剥片の折れ面同士が接合したものである。



第49図 Bブロック接合資料平面分布図 (S=1/60)

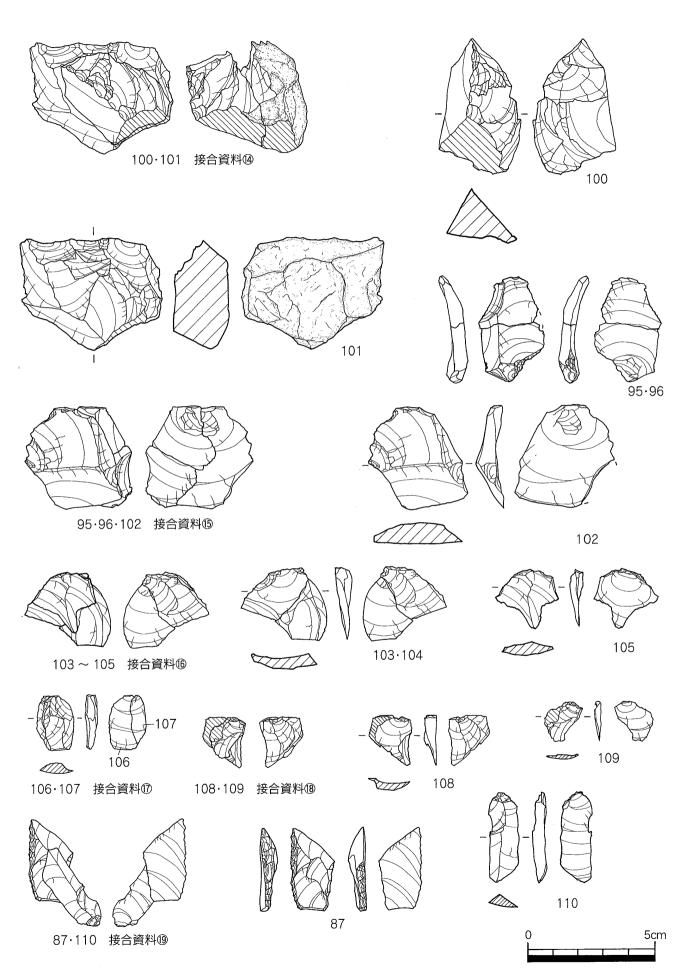


第50図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑨:Bブロック (S=2/3)

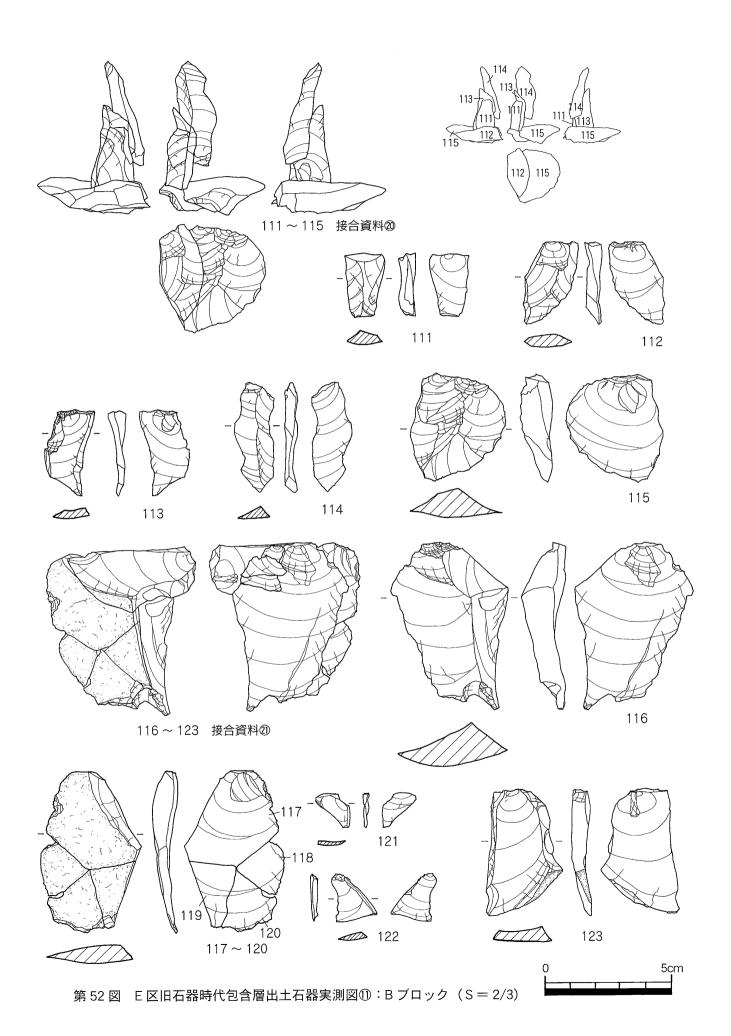
接合資料(9) (87・110) は頁岩製でナイフ形石器1点と剥片1点の接合資料である。

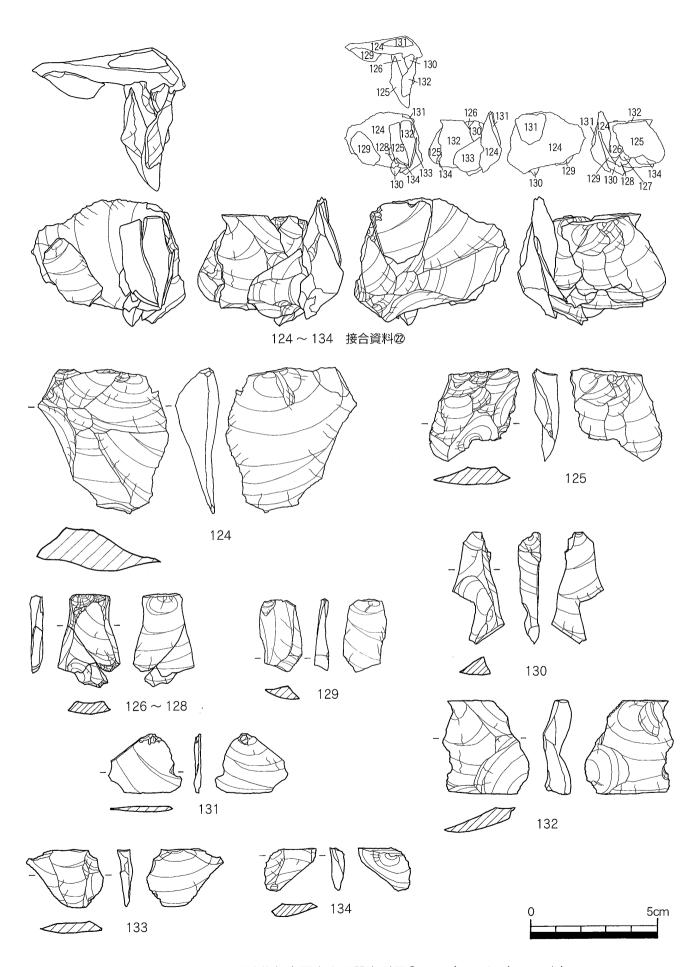
接合資料②(111 \sim 114)は流紋岩製で剥片 5 点の接合資料である。剥片(112・115)を作出した後、その剥離面を打面として剥片(111・113・114)を作出している。

接合資料② $(116\sim123)$ は頁岩製で剥片 5 点の接合資料である。剥片 (123) を作出後、剥片剥離 方向を 90° 入れ替えて剥片 $(116\sim122)$ を作出している。自然面を多く残すものであり、目的剥片を剥

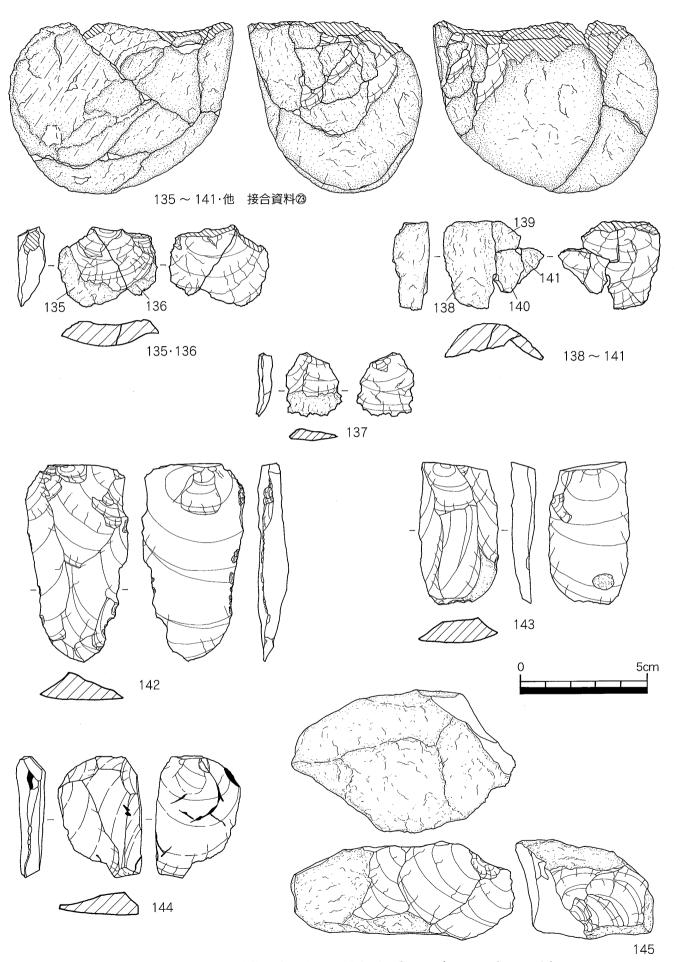


第51図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑩:Bブロック(S=2/3)

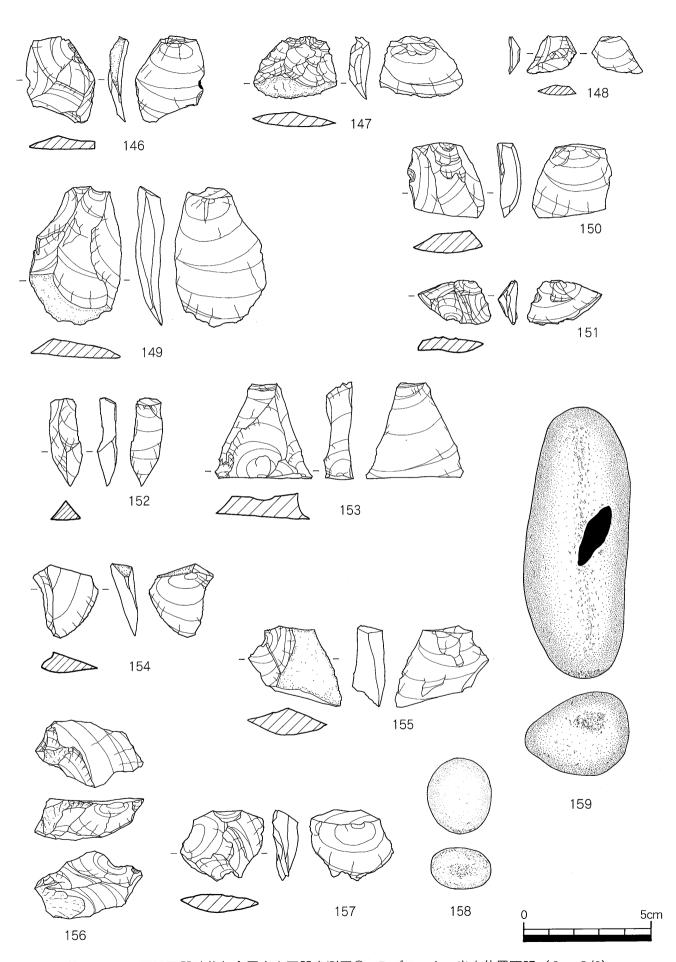




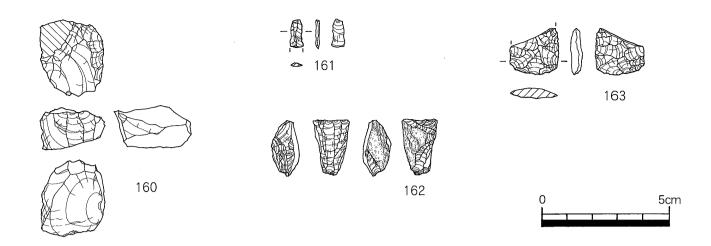
第53図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑫:Bブロック (S=2/3)



第54図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑬:Bブロック (S=2/3)



第 55 図 E 区旧石器時代包含層出土石器実測図 Θ :B ブロック・出土位置不明(S=2/3)



第 56 図 E区旧石器時代包含層出土石器実測図⑮:出土位置不明(S=2/3)

ぎ取る準備段階の資料の可能性がある。

接合資料②($124 \sim 134$)は流紋岩製で剥片 9 点が接合した。まず剥片($131 \cdot 124$)が作出され、次に(133)が作出される。その後は同一方向からの加撃によって残りの剥片が作出されている。

接合資料②はチャート製で剥片3点と石核1点の接合資料である。節理面により割れた平坦面を打面とし、やや突出した端部から剥片を作出しているが数枚剥片を剥いだところで止めている。あまり良質の石材ではなかったので作出された剥片も細かく割れているし、石核のほうも節理によって4つに分割されて出土している。

142 は大型の縦長剥片である。腹面右側縁に2次加工が見られる。145 は流紋岩製の石核である。自然面の平坦面を打面とし、不定形な剥片を作出している。作業面は2ヶ所確認される。156 は剥片素材の石核である。厚手の剥片の主要剥離面を打面とし、側縁側に作業面を設けて剥片を生産するもので瀬戸内技法の影響を受ける資料であると考えられる。

5. 旧石器時代終末期の資料について

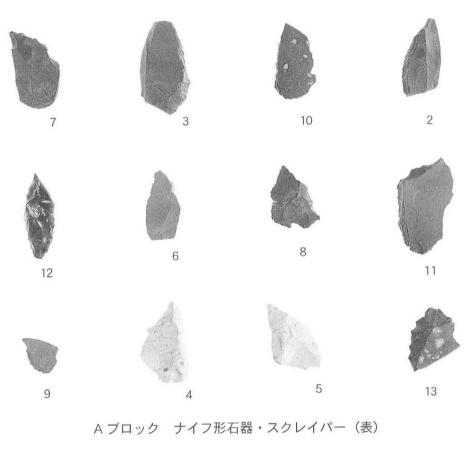
160 から 163 については旧石器時代の終末期に該当する資料である。 $160 \cdot 163$ は旧石器時代の包含層である 10 層から出土し、 $161 \cdot 162$ は縄文時代早期の包含層である 8 層から出土した。

船引地区遺跡群においてはナイフ形石器文化期の資料は多く検出されているが、細石器文化期の資料はあまり検出されていない。これまで出土した細石器文化期の遺物の多くが縄文早期の遺物包含層中から発見されるという状況である。本遺跡の資料についても同様の検出状況であった。

160は細石刃核の打面再生剥片であろうか。頁岩製で打面調整を行わずに数枚の細石刃を剥離した痕跡が窺える。作業面の右側に加撃し、細石刃核からこの剥片を作出したものと考えられる。161は黒曜石製の細石刃である。下端部は折断されている。162は黒曜石製の細石刃核である。打面調整を行わず細石刃を生産するものである。作業面を何度か転回しており複数の作業面が残されている。163は有舌尖頭器の基部の破片である。チャート製で薄く作り上げられており、断面形はきれいなレンズ状を呈する。この資料は破片のため不明な点が多いが、出土層位が小林軽石層の下位であることや近年高鍋町北牛牧第5遺跡や高城町雀ヶ野第3遺跡でも有舌尖頭器の発見例が見られている。これまでは有舌尖頭器の分布の南限は高千穂町セベット遺跡だったが、これらの新しい発見例によって分布はさらに南に拡がっていくことが考えられる。不明な点が多いながらもこのような条件から本資料も有舌尖頭器であると考えられる。

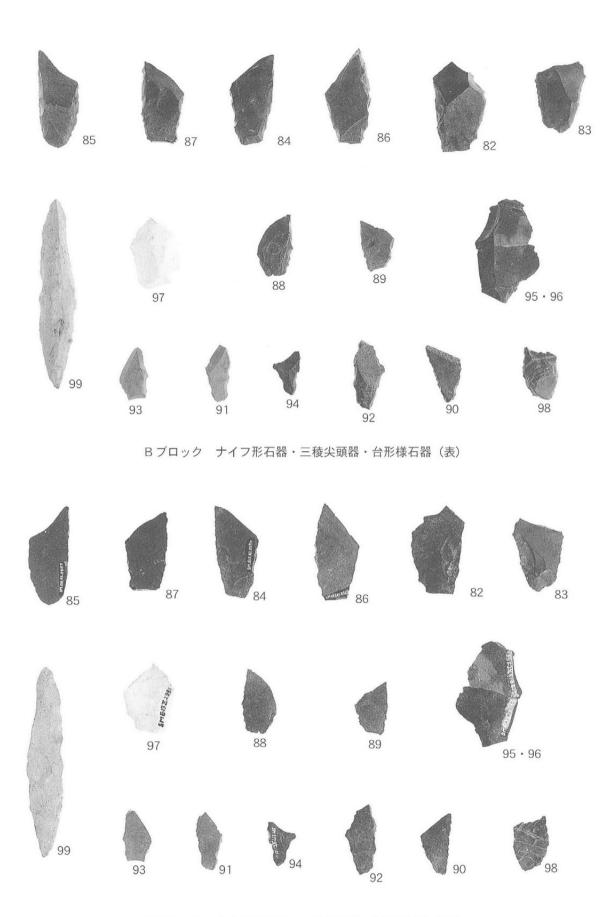
			第 7	表 坂元	遺跡旧石器時代包	含層出	土遺物	計測分類	頁表		
遺物	整理		出土	ブロック	石 材	長	幅	厚	重	接合	備考
No	No		層位			(cm) 6.2	(cm)	(cm)	(g)	資料№.	SI-73 出土
2	501 73	剥片 ナイフ形石器	10	A		3.4	2.05	0.5	3		21.19 田工
3	49	ナイフ形石器	10	A		3.9	2.1	0.7	5.8		先端部を欠損
4	7	ナイフ形石器	11	A	流紋岩	3.4	2	7.5	3.8		
5	11	ナイフ形石器	10	A	流紋岩	2.8	2.1	0.6	2		
6	66	ナイフ形石器	10	A	流紋岩	2.9	1.5	0.7	2		
7	48	ナイフ形石器	10	<u>A</u>	頁岩 頁岩	3.3	2.1	0.8 6.5	2.1		
8	69 53	ナイフ形石器 ナイフ形石器	11 11	A		2.55 1.45	1.5	0.5	0.7		
10	51	ナイフ形石器	10	$\frac{A}{A}$		3.1	1.8	0.5	2		刃部を欠損
11	47	ナイフ形石器	10	A	<u> </u>	4.05	2.35	0.95	5.2		先端部、刃部を欠損
12	12	ナイフ形石器	10	A	黒曜石	3.6	1.35	0.9	2.9		桑ノ木津留産
13	129	スクレイパー	10	A	流紋岩	2.7	2.1	0.9	3		
14 • 15	565	剥片	10 • 11	A	流紋岩	6.8	3.55	1.1	17.4	1	
16 • 17	563	剥片 剥片	10	A	流紋岩 流紋岩	5.85 5.8	3.3	1.5	31.4	1	
18 · 19 20	566 103		10	A		4.2	4.4	0.55	11.4	1	
$\frac{20}{21}$	119	2次加工ある剥片	10	A	流紋岩	4.9	4.2	1.4	18.8	1	
22	562	剥片	10	A	流紋岩	2.4	2.9	1.1	7.5	1	
23	564	剥片	10	A	流紋岩	1.25	1.4	0.3	0.5	1	
24	105	剥片	10	A	流紋岩	3	1.25	0.6_	1.7	2	
25	551	剥片	11	A	流紋岩	2.8	3.1	0.8	4.8	2	
26 27	80 552	剥片 剥片	11 11	A	流紋岩 流紋岩	3.2	2.8	0.8	5.6 1	2 2	
28	88		10	A		3.6	1.3	0.55	2.4	2	
29	99		10	A	流紋岩	3.25	3.8	1	16.7	2	
30	494	剥片	10	A	流紋岩	1.9	1.95	0.5	1.1	3	
31	493	剥片	10	A	流紋岩	2.15	2.5	0.8	3.7	3	
32	492	剥片	11	A	頁岩	2.75	2.1	0.7	2.4	3	
33 ~ 35	502	剥片	10 • 11	A	流紋岩	5.7	2.25	7	8.4 0.8	4	剥片の折れ面同士の接合資料
$36 \cdot 37$ $38 \cdot 39$	541 497	剥片 剥片	11 11	A A	流紋岩 頁岩	1.3	2.1	0.5	0.8	5 6	剥片の折れ面同士の接合資料 剥片の折れ面同士の接合資料
40	92		10	A –		2.65	1.35	0.4	1.8	7	初月の初れ田門工の接口資料
41	91		10	A	頁岩	2.7	2.1	0.5	2.9	7	
42	499	剥片	10	A	頁岩	2.6	2.9	0.6	4	8	
43	98	剥片	10	A	頁岩	3	2.5	0.9	4.8	8	
44	62	微細剥離ある剥片	11_	A	頁岩	4.85	5.75	1.2	19.3	9	
$\frac{45}{46 \cdot 47}$	86 108	剥片 剥片	10	A A		3.2 4.2	4.2	1.1	10.2 19.4	9	
48	93		10	A		4.7	4.13	1.3	18.7	9	
49	101		10	- A	頁岩	5.3	5.65	1.6	30.5	9	
50	100	剥片	10	A	頁岩	4.4	4.1	1.1	17.7	9	
51	561	剥片	11	A	頁岩	2.1	2.2	0.8	2.5	9	打面部を欠損
52	560	剥片	11	A		2.3	2.6	0.85	4.7	9	打面部を欠損
53	559		11	A	頁岩 頁岩	3.4 6.4	1.8 3.9	0.5 1.5	2.3 27.8	9	打面部を欠損
54 55	102 112	剥片 剥片	10	A	<u>貝石</u> 頁岩	5.7	4.3	1.5	25.3	9	
56	571		10	A		2.1	2.5	0.75	3.5	10	
57	570	剥片	10	A	頁岩	2.8	2.05	0.5	1.6	10	
58	9	剥片	11	A	頁岩	4.1	1.3	0.6	4.4	10	
59	115	剥片	10	A	頁岩	5.1	1.85	1.7	5.7	10	
60	96		10	A	<u>頁岩</u> 頁岩	5.9 4	3.6	1.3 0.6	18.9 2.1	10 11	
61	518 74	剥片 剥片 剥片	11 11	A A		3.7	2.3	0.6	7.9	11	
$63 \cdot 64$	569		10	A	砂岩	5.25	8.1	1.85	55.4	12	
65	568		10	A	砂岩	5.6	4.9	1.9	29.9	12	
66	567	剥片	10	A	砂岩	5.15	5.55	2.95	64.8	12	
67	521	剥片	10	A	砂岩	2.7	3.5	1	6.2	13	
68	520	剥片	10	A	砂岩	2.9	2.1	1.2	2.9	13	
69 70	79 94	剥片 剥片	11	A A		6.4 4.85	2.4 5.9	1.7	24.4 17.6		
70	89		10	A		2.65	3.2	0.5	3.7		
72	95	 剥片	10	A	流紋岩	4.4	5.2	0.8	16.1		
73	97	剥片	10	A	頁岩	4.2	4.1	1.1	18.6		
74	85	剥片	10	A	頁岩	5.8	2.6	1.25	12.5		
75	109	剥片	10	<u>A</u>	頁岩	2.9	1.2	0.75	2.2		
76	107	剥片	10	A	頁岩 頁岩	2.45	2.95	0.9	2.7		
77 78	106 83	剥片 剥片	10	A A	貝岩 頁岩	2.7	3.1 1.5	0.35	3.5 1.5		
78	60		10	A A	具石 頁岩	3.3	2	0.5	3.1		
80	77	作業面再生剥片	10	A		2.5	2.4	0.9	4.3		
UU	_ ' '	11 VCHI 1 T 4.111			- <u>274</u>		,		2.0		

No	整理	器種	出土 層位	ブロック	石 材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	接合 資料No.	備考
81	No 524		10	A	砂岩	5.6	5.5	4.4	101.2	貝/110.	
82	59		11	В	頁岩	3.65	2.2	0.9	5.2		先端部、刃部を欠損
83	56	ナイフ形石器	11	В	頁岩	2.9	2.1	0.8	3.8		先端部を欠損
84	2	ナイフ形石器	11	В	頁岩	2.85	1.8	0.55	3.8		
85	9	ナイフ形石器	11	В	頁岩	4.05	1.7	0.85	4.6		
86	3	ナイフ形石器	11	В	頁岩	3.9	1.85	0.85	5.3	10	
87	5	ナイフ形石器	11	В	頁岩	3.3	1.7	0.7	2.9	19	
88	54	ナイフ形石器	11 11	B B	頁岩 頁岩	2.5	1.5 1.4	0.5	1.3 0.9		
89 90	55 6	ナイフ形石器 ナイフ形石器	11	В	<u>男名</u> 頁岩	2.35	1.45	0.3	3.8		
91	75	ナイフ形石器	11	В		2.4	1.05	0.45	0.8		
92	57	ナイフ形石器	11	В	頁岩	2.8	1.35	0.55	1.9		
93	52	ナイフ形石器	11	В	頁岩	2.1	1.3	0.6	1.3		基部を欠損
94	61	ナイフ形石器	11	В	頁岩	1.85	1.15	0.4	0.5		
95•96	70	<u>ナイフ形石器</u>	11	В	流紋岩	2.4	2.5	0.8	3.6	15	先端部を欠損
97	50	ナイフ形石器	10	В	流紋岩?	2.85	2.1	1	2.2		先端部を欠損
98	58	台形様石器	11 11	B	流紋岩 ホルンフェルス	2.25 7.7	1.5 1.45	0.6	1.7 11.6		刃部をわずかに欠損
99 100	553	三稜尖頭器 剥片	11	В	カルンフェルス 頁岩	5.4	3.3	2.5	26.1	14	
100	554	 石核	11	В	流紋岩	3.95	5.6	2.2	67.9	14	
101	68		11	В	流紋岩	4.1	3.95	1.1	10.5	15	
103.104	514		11	В	頁岩	2.9	3.4	0.7	4.7	16	
105	515	剥片	11	В	頁岩	2.4	2.6	0.5	1.9	16	
106 • 107	517	剥片	11	В	流紋岩	2,2	1.5	0.5	1.5	17	剥片の折れ面同士の接合資料
108	511	剥片	11	В	頁岩	2	1.65	0.5	1.1	18	
109	510	剥片	11	В	頁岩	1.6	1.5	2.5	0.4	18	
110	540	剥片	11	В	頁岩	3.6	1.2	0.55	1.9	19	
111	546	剥片	11	B	流紋岩	3.3	1.1 2.2	0.7	2.6 3.1	20 20	
112 113	78	剥片 剥片	11	В	流紋岩 流紋岩	3.4	2.2	0.05	2	20	
114	111 548		11	B	流紋岩	4.3	1.6	0.5	2.8	20	
115	82		11	В	流紋岩	4.3	3.8	1.3	16	20	
116	84		11	В	頁岩	6.7	4.7	1.75	33.7	21	
117~120	525	剥片	11	В	頁岩	6.45	4	1	17.7	21	剥片の折れ面同士の接合資料
121	538	砕片	11	В	頁岩	1.4	1.4	0.25	0.3	21	
122	539	剥片	11	В	頁岩	1.9	1.85	0.35	0.7_	21	
123	71	剥片	11	В	頁岩	5.5	3	6.5	9.7	21	
124	63	剥片	11	В	流紋岩	5.7 3.7	5.15 3.6	1.75 1.1	31.7 10.3	22 22	
125 $126 \sim 128$	124 76	剥片 2 次加工ある剥片	11	ВВ	流紋岩 流紋岩	3.05	2.05	0.55	2.8	22	剥片の折れ面同士の接合資料
120~128	67	2 <u>み加工のる利力</u> 剥片	11	В	流紋岩	2.85	1.65	0.55	2.0	22	が ジガル は 岡門工 の 放口 食行
130	542		11	В	流紋岩	4.4	1.8	0.9	4.2	22	
131	545		11	В	流紋岩	2.35	2.9	0.3	1.6	22	
132	549	剥片	11	В	流紋岩	3.7	3.4	1.1	9.7	22	
133	544	剥片	11	В	流紋岩	2.3	3	0.5	3.1	22	
134	543	剥片	11	В	流紋岩	2.2	2.1	0.55	1.2	22	
135 • 136			10	В	チャート	3.2	3.9	1.1	13.3	23	剥片の折れ面同士の接合資料
137	557	剥片	11	В	チャート	2.55 3.5	2.3	0.6 1.45	2.7	23 23	剥片の折れ面同士の接合資料
138~141 142	556 130	剥片 2 次加工ある剥片	11	B B	チ <u>ャート</u> 流紋岩	7.9	4.1	1.45	34.2	40	お月 ソカイル川川エツ佐日貝科
143	64	<u> 2 次加工のる利力</u> 剥片	11	В	流紋岩	5.65	3.2	1	20.5		
144	104	剥片	10	В	流紋岩?	4.8	3.3	1.1	11		
145	45	石核	11	В	流紋岩	3.9	8.9	5.7	196		
146	72	剥片	11	В	流紋岩	3.4	2.7	0.8	4.2		
147	90	剥片	11	В	頁岩	2.5	3.3	0.85	6		
148	523	剥片	11	В	頁岩	1.5	2	0.45	0.9		
149	65	剥片	11	В	頁岩	5.6	3.6	0.8	19.5		
150	87	剥片	10	В	流紋岩? 頁岩	3 1.75	2.9	0.8	2.4		
151 152	123 110	剥片 剥片	10	不明	具石 頁岩	3.5	1.2	0.75	2.4		
153	110		10	不明	月 <u>月</u> 夏岩	3.8	3.9	1.15	13.3		
154	117		10	不明	砂岩	2.8	2.3	0.8	4.8		
155	125	剥片	10	不明	砂岩	3.2	3.65	1.3	12.3		
156	530	石核	10	不明	頁岩	1.8	4.3	2.7	13.5		
157	116	剥片	10	不明	砂岩	2.8	3.4	1.05	7.9		
158	531	敲石	10	不明	砂岩	3	2.65	1.6	15.3		
159	532	敲石	11	不明	砂岩	10.8	4	3.3	175.4		
2.00	526	細石核	10	不明	頁岩	1.7	2.5 0.5	3.1 1.5	12.3 0.1		多 / 上海如本 丁初(HC蛇) / 上的 加提
160		-0m →									
160 161 162	528 529		8	不明不明	黒曜石 黒曜石	1.1 2.2	1.5	1.1	2.7		桑ノ木津留産、下部は折断により欠損 桑ノ木津留産

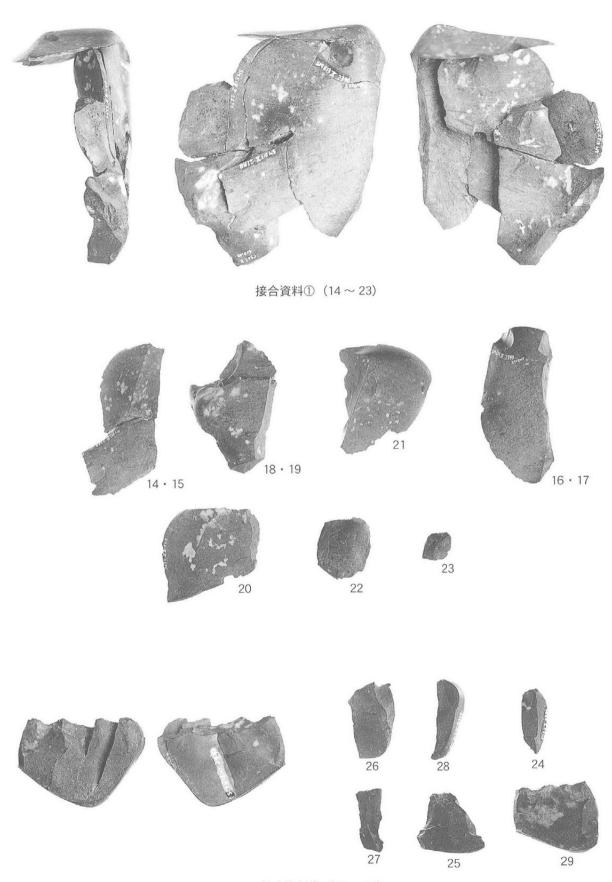


A ブロック ナイフ形石器・スクレイパー(裏)

図版 53 E区旧石器時代包含層出土石器①

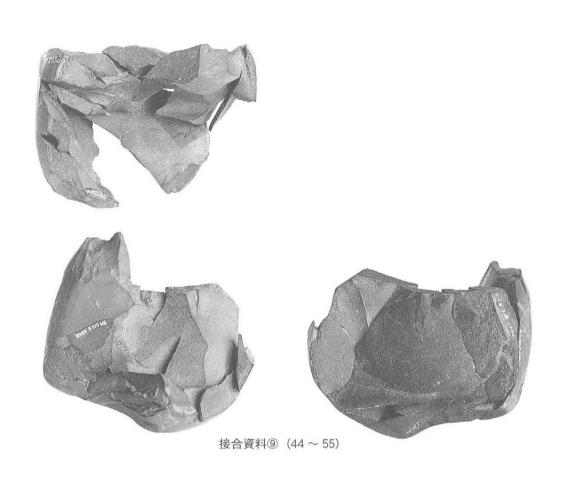


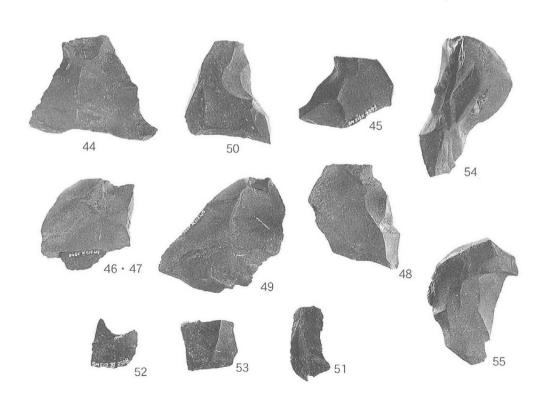
B ブロック ナイフ形石器・三稜尖頭器・台形様石器(裏) 図版 54 E 区旧石器時代包含層出土石器②



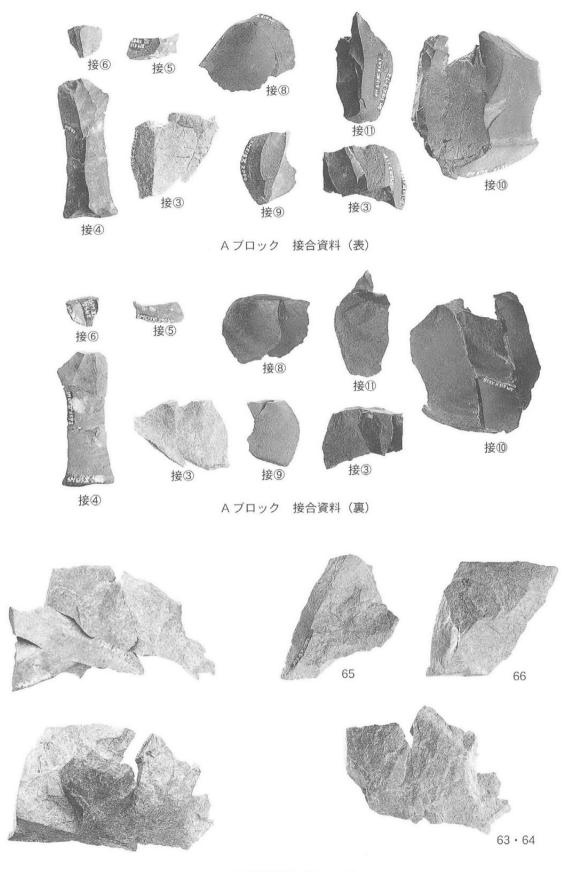
接合資料② (24~29)

図版 55 E区旧石器時代包含層出土石器③



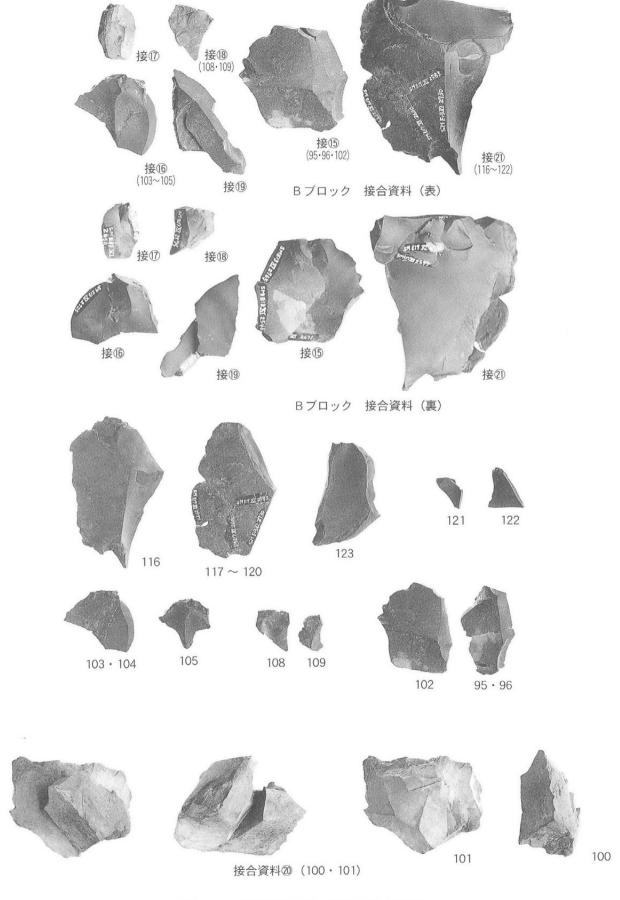


図版 56 E区旧石器時代包含層出土石器④

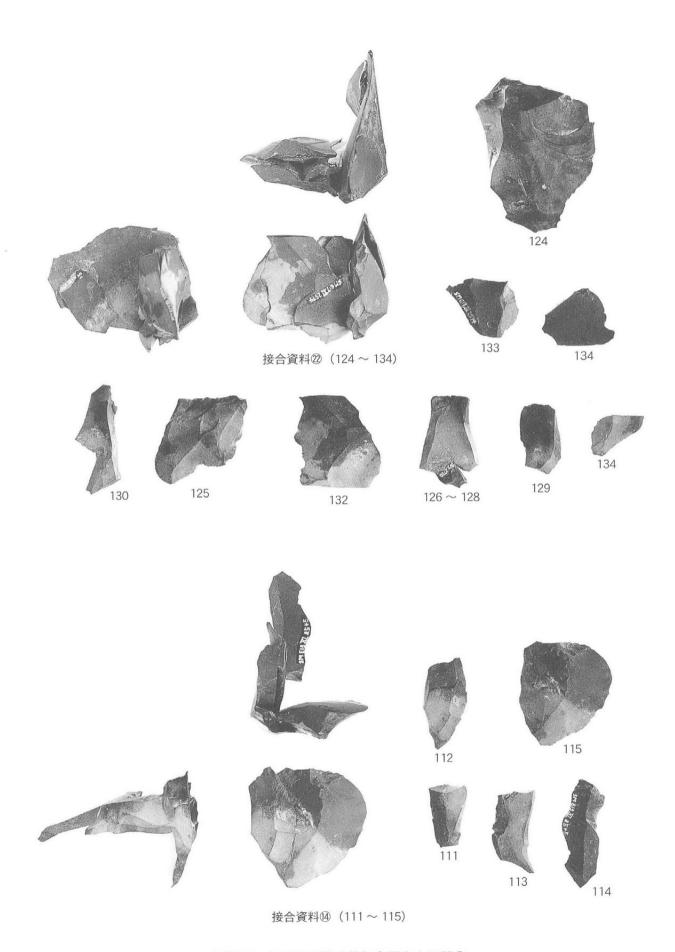


接合資料⑩ (63~66)

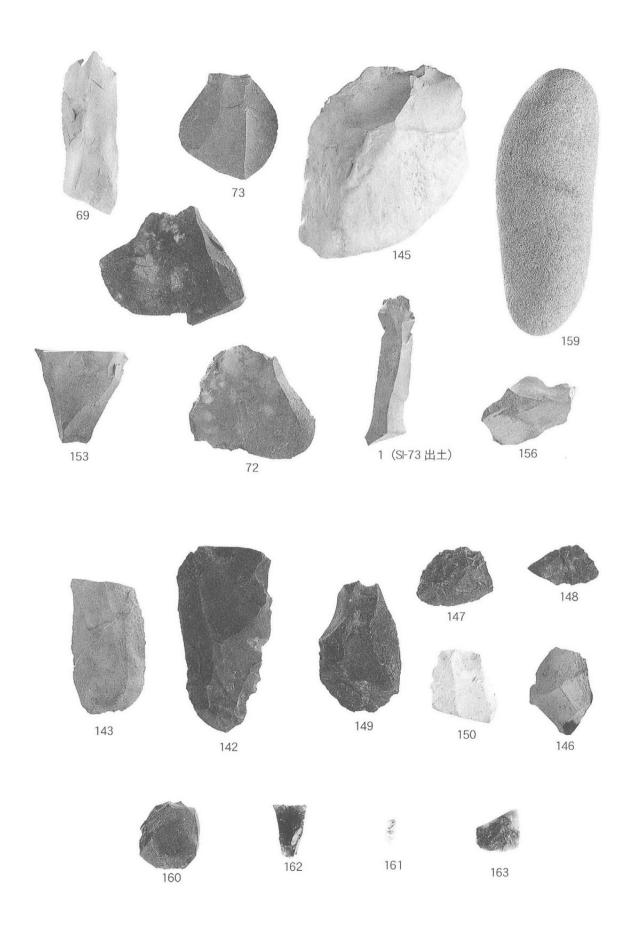
図版 57 E区旧石器時代包含層出土石器⑤



図版 58 E区旧石器時代包含層出土石器⑥



図版 59 E区旧石器時代包含層出土石器⑦



図版 60 E区旧石器時代包含層出土石器®

第2節 縄文時代早期

1. 遺 構

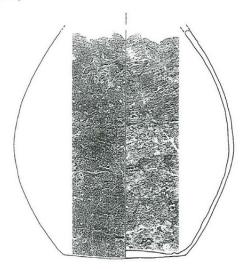
(1) 埋設土器

検出状況

重機による表土剥ぎ取り作業を行っていたところ、既に8層中位まで削平されていた地点で、壺の胴部が一周する状況が確認された。平面精査及び断面確認(トレンチ)を行い、掘り込みの有無もしくは遺構との関連性について調査したが、確信が持てるだけの明瞭な状況は確認できなかった。又、出土地点は集石遺構が集中する範囲の端であった。尚、土器の内部に堆積していた土中の炭化物については、放射性炭素年代測定法により8100 ± 40 年 BP という結果を得ている。

土 器

細かい刻みを施した微隆帯を巡らす塞ノ神式土器の 壺。(胴部最大径 29.1cm、底径 16.2cm、器高は現存長 で 30cm)



第 57 図 埋設土器実測図 (S = 1/5)

(2) 集石遺構

SI-72

SI-72 については、8 層下位で検出された。他の集石遺構の記録が終了し、縄文時代早期の遺物もほとんど出土しなくなったところで検出されたため、縄文時代草創期の集石遺構の可能性が高いと推測される。

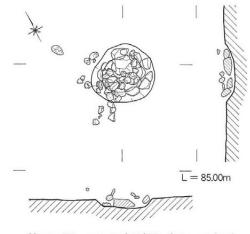
掘り込みについては、"礫を実測後除去すると窪みができた"という状況であり、断面等で確認したが明瞭なプランは確認できなかった。



図版 61 検出状況(南上から)

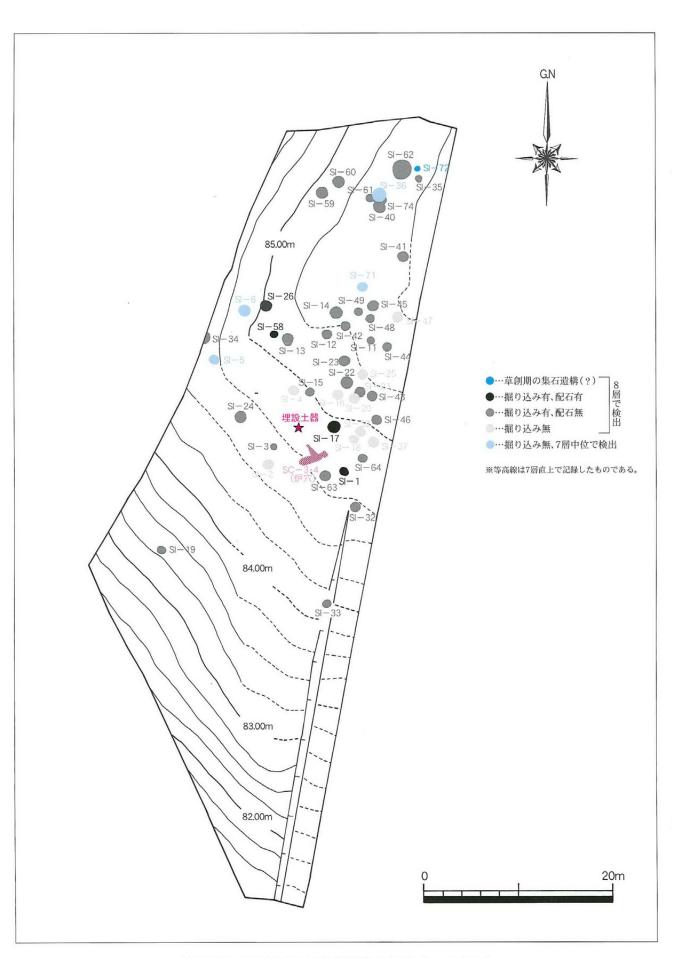


図版 62 断面確認状況(南から)

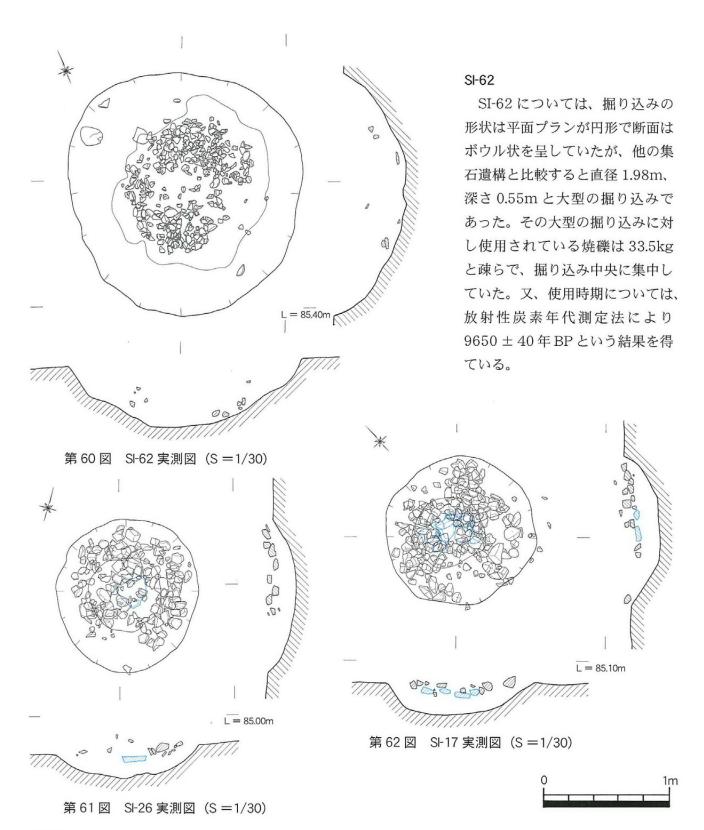


第58図 SI-72 実測図 (S = 1/30)



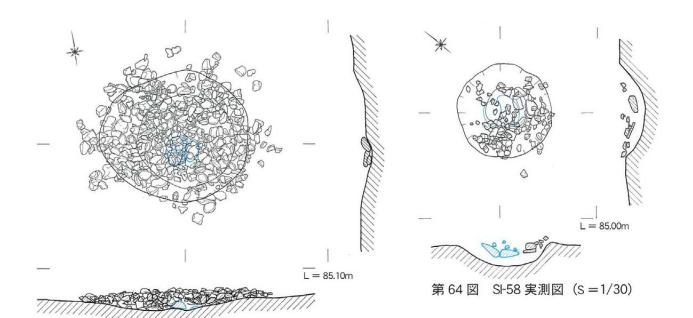


第59図 E区縄文時代早期遺構分布図 (S=1/400)

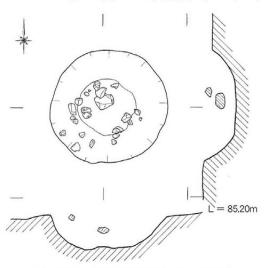


SI-26 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており使用されている焼礫は42.5kgと密であった。又、掘り込みの底面から10cm程上位には約25cmの扁平な礫が1個配置されていた。尚、使用時期については、放射性炭素年代測定法により 9310 ± 40 年BPという結果を得ている。SI-17

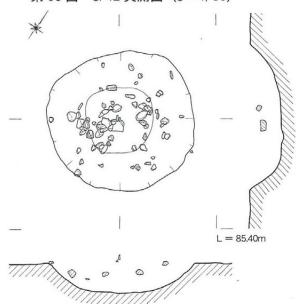
SI-17 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 63 kg と密であった。又、掘り込みの底面から 10 cm 程上位には約 $15 \text{cm} \sim 20 \text{cm}$ の扁平な礫が 10 個程配置されていた。



第63図 SI-1 実測図 (S=1/30)



第65図 SI-42 実測図 (S=1/30)



第 66 図 SI-45 実測図 (S=1/30)

SI-1 については、掘り込みの形状は平面プランが 円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている 焼礫は 81.9kg と密であった。又、掘り込みの底面 には約 20cm の扁平な礫が 3 個程配置されていた。

SI-58

SI-58 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 16kg とやや疎らであった。

又、掘り込みの底面から約5cm程上位には約25cmの扁平な礫が2個程配置されていた。

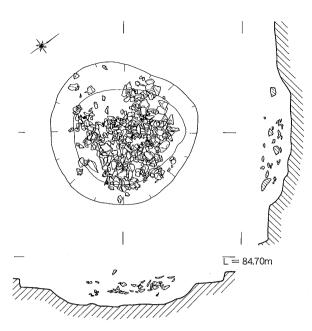
SI-42

SI-42 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈しており、使用されている焼礫は 4.1kg と極めて疎らであった。又、使用時期については、放射性炭素年代測定法により9330 ± 40 年 BP という結果を得ている。

SI-45

SI-45 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈しており、使用されている焼礫は 5.5kg と極めて疎らであった。又、使用時期については、放射性炭素年代測定法により 9300 ± 40 年 BP という結果を得ている。





第 67 図 SI-24 実測図 (S=1/30)

SI-40.74

SI-40・74 については、当初 SI-40 が 1 基 のみ検出されたが、SI-40 の掘り込みを確 認していく際に、SI-74 と切り合っている ことが明らかになった。

SI-40 は、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 76kg と密であった。又、使用時期については、放射性炭素年代測定法により 8890 ± 40 年 BP という結果を得ている、尚、SI-74 は、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている礫はやや疎らであった。SI-32

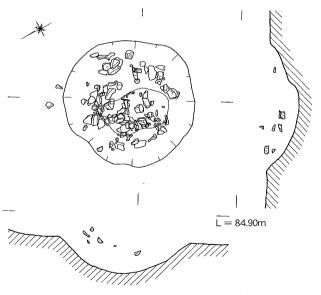
SI-32 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈しており、使用されている焼礫は 7kg とやや疎らであった。ただし、検出された場所が 8層中位から下位が既に露出していた範囲であったために、掘り込みの底面付近のみが残存しており、全体を把握できない状況であった。又、使用時期については、放射性炭素年代測定法により 8890 ± 40 年 BP という結果を得ている。

SI-24

SI-24 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は17.5kg とやや疎らであった。又、使用時期については、放射性炭素年代測定法により9120 ± 40年 BP という結果を得ている。

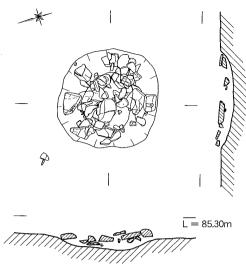


第68図 SI-40・74 実測図 (S=1/30)



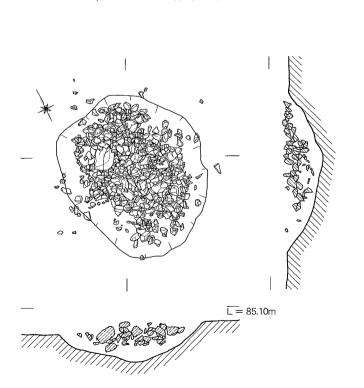
第69図 SI-32実測図(S=1/30)



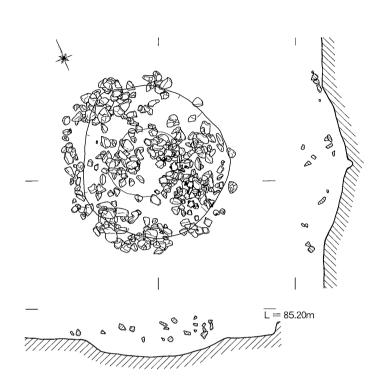


第70図 SI-11実測図 (S=1/30)

SI-11 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 20kg とやや疎らであった。又、掘り込みの埋土については、8層に酷似した茶褐色土であった。尚、使用時期については、放射性炭素年代測定法により8840 ± 40 年 BP という結果を得ている。



第72図 SI-13実測図 (S=1/30)



第71図 SI-22 実測図 (S=1/30)

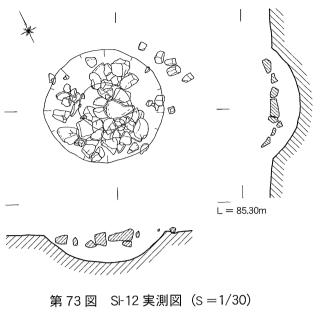
SI-22

SI-22 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は47.5kgとやや密であった。又、使用時期については、放射性炭素年代測定法により8600±40年BPという結果を得ている。

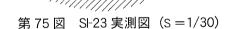
SI-13

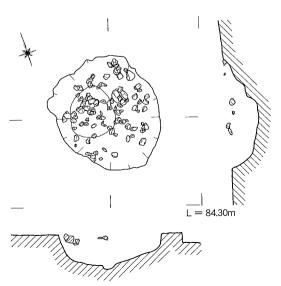
SI-13 については、掘り込みの形状は平面 プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、 使用されている焼礫は 77kg と密であった。



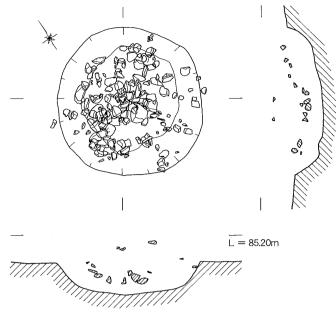


L = 85.30m





第76図 SI-33 実測図 (S=1/30)



第74図 SI-14実測図 (S=1/30)



SI-12 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 40.9kg とやや密であった。 又、掘り込みの埋土については、8 層に酷似した茶褐色土であった。

SI-14

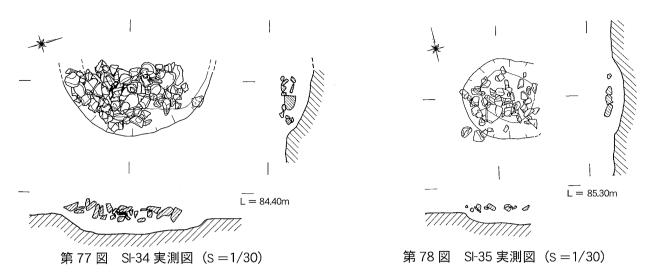
SI-14 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈しており、使用されている焼礫は 24.5kg とやや疎らであった。

SI-23

SI-23 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 21.2kg とやや疎らであった。

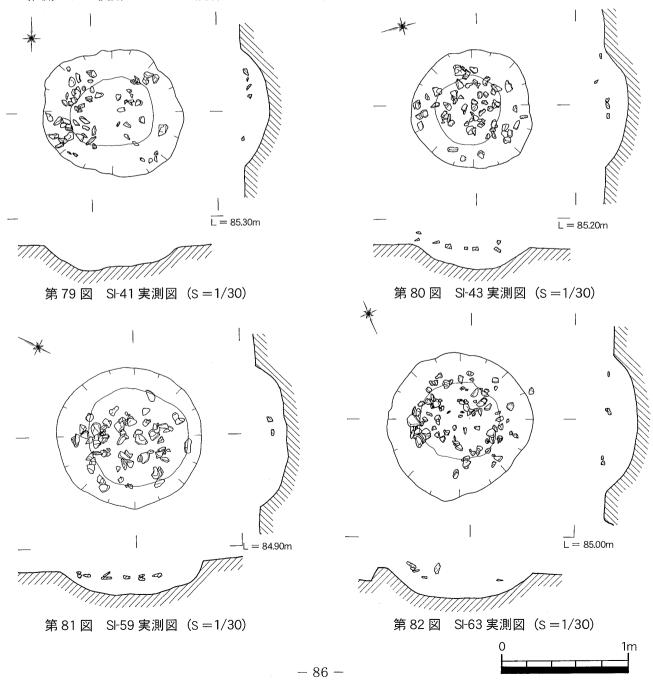
SI-33

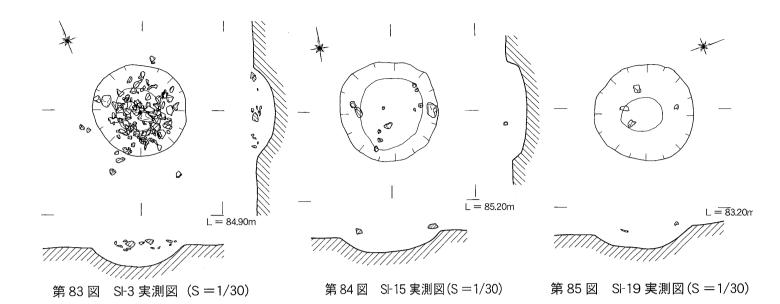
SI-33 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈しており、使用されている焼礫はやや疎らであった。ただし、SI-32 と同様に、検出された場所が8層中位から下位が既に露出していた範囲であったために、掘り込みの底面付近のみが残存しており、全体を把握できない状況であった。

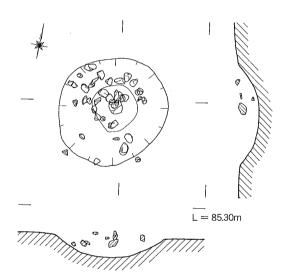


SI-34 SI-35

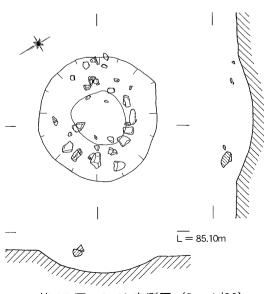
SI-34、35 については、8 層上位から中位にかけて検出された際には、遺構の半分もしくわ 1/5 が破壊されている状況であった。掘り込みの形状はいずれも平面プランが円形で断面は浅皿状を呈していると推測され、使用されている焼礫は SI-34 がやや密で SI-35 がやや疎らであった。







第86図 SI-44 実測図 (S=1/30)



第87図 SI-46 実測図 (S=1/30)

SI-41 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 4kg とかなり疎らであった。

SI-43

SI-43 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 4kg とかなり疎らであった。

SI-59

SI-59 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 6.5kg とかなり疎らであった。

SI-63

SI-63 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 5.9kg とかなり疎らであった。

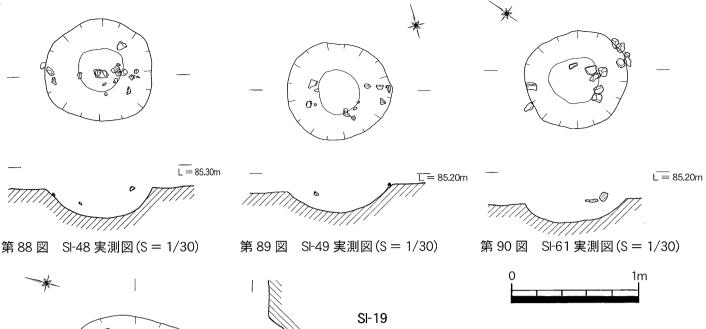
SI-3

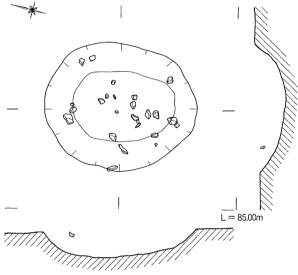
SI-3 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 5.2kg とやや疎らであった。

SI-15

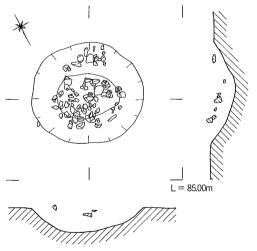
SI-15 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 0.6kg と極めて疎らであった。







第91図 SI-60 実測図 (S = 1/30)



第92図 SI-64 実測図 (S = 1/30)

SI-19 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 0.25kg と極めて疎らであった。

SI-44

SI-44 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 5kg とかなり疎らであった。

SI-46

SI-46 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 6kg とかなり疎らであった。

SI-48

SI-48 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面はボウル状を呈しており、使用されている焼礫は 2kg とかなり疎らであった。

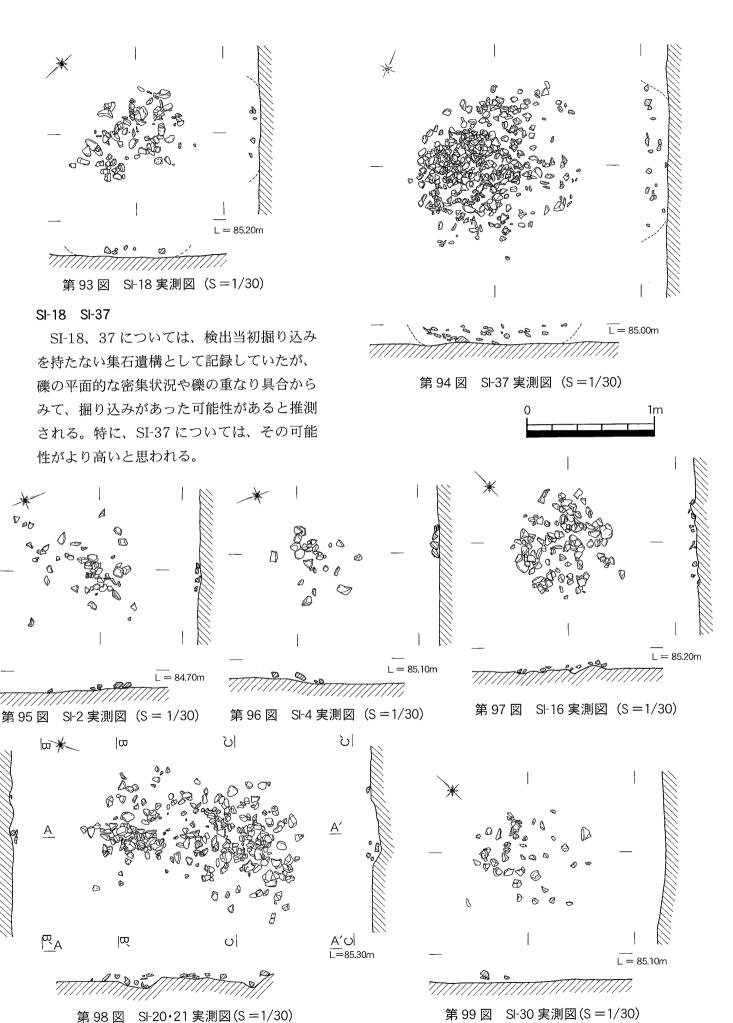
SI-49

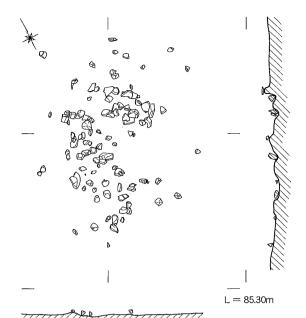
SI-49 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており使用されている焼礫は 0.4kg と極めて疎らであった。

SI-60

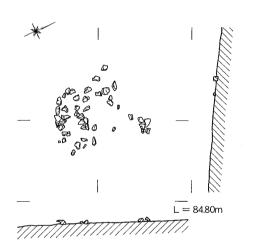
SI-60 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 0.9kg と極めて疎らであった。

- SI-61 SI-61 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 2.4kg と極めて疎らであった。
- SI-64 SI-64 については、掘り込みの形状は平面プランが円形で断面は浅皿状を呈しており、使用されている焼礫は 5kg とかなり疎らであった。

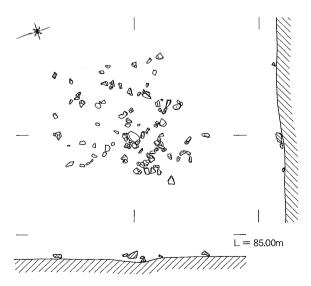




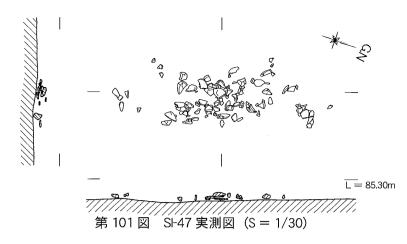
第 100 図 SI-25 実測図 (S = 1/30)



第 102 図 SI-5 実測図 (S = 1/30)

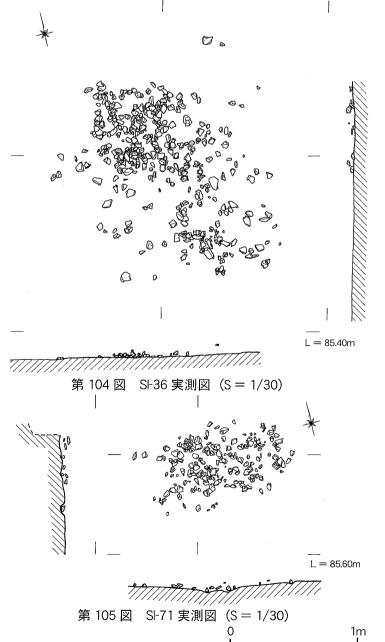


第 103 図 SI-6 実測図 (S = 1/30)



SI-2,4,16,20·21,25,39,47

この8基の集石遺構については、今回掘り込みを持たないタイプの集石遺構として取り扱ったが、集石遺構の周辺に散在する焼礫がやや密集していた範囲である可能性も残されている。



SI-5 SI-6 SI-36 SI-71

SI-5、6、36、71 については、アカホヤ火山灰層下位の7層の上位から中位にかけて検出された。8層で検出された他の集石遺構と比較すると、小型の角礫が多く円礫が少ないという特徴が挙げられる。又、掘り込みは持たず、礫はほとんど高低差なく密集している。尚、SI-71 の使用時期については、放射性炭素年代測定法により 6470 ± 40 年 BP という結果を得ている。

	第8表 E 区集石遺構観察表													
H>-		礫範囲	総	総	礫1個		掘込				放射性	TF VI		
集石遺構 No	検出面	の直径 (m)	礫数 (個)	重量 (kg)	平均重量(kg)	有無	直径	深さ (m)	配石	炭化物		共伴 遺物	備	考
SI-72		0.46	71	12.60	0.18	Δ	(m)	(111)	_	×		0		
SI-62	Ⅷ層上位~中位	1.10	440	33.50	0.18	Ö	1.98	0.55	×	Ô	9650 ± 40	Ö		_
SI-26	Ⅷ層上位~中位	1.00	256	42.50	0.17	ŏ	1.24	0.21	Ô	Ŏ	9310 ± 40	×		
SI-17	Ⅷ層上位~中位	1.20	315	63.00	0.20	ŏ	0.70	0.20		Δ	0010 = 10	Ō	_	_
SI-1	Ⅷ層上位~中位	1.60	578	81.90	0.14	ŏ	1.70	0.15	ŏ	Δ		ŏ		
SI-58	Ⅷ層上位~中位	0.68	120	16.00	0.13	Ŏ	0.76	0.18	ŏ	Δ		×	_	
SI-42	Ⅷ層上位~中位	0.56	23	4.10	0.18	Ŏ	0.96	0.23	X	Ō	9330 ± 40	X		
SI-45	Ⅷ層上位~中位	1.10	70	5.50	0.08	Ŏ	1.20	0.26	X	Ŏ	9300 ± 40		_	
SI-24	VⅢ層上位~中位	0.90	618	17.50	0.03	Ŏ	1.20	0.20	X	Ŏ	9120 ± 40			
SI-40	VⅢ層上位~中位	1.04	240	76.00	0.32	Ŏ	1.20	0.25	X	Ŏ	8890 ± 40			_
SI-74	VⅢ層上位~中位	_	_		_	Ŏ	1.20	0.35	X	Δ		X		
SI-32	Ⅷ層上位~中位	0.80	145	7.00	0.05	Ŏ	1.06	0.25	X	0	8890 ± 40	0		_
SI-11	VⅢ層上位~中位	0.74	150	20.00	0.13	Ŏ	0.80	0.13	X	Ō	8840 ± 40	X		
SI-22	Ⅷ層上位~中位	1.40	354	47.50	0.13	Ŏ	1.40	0.20	X	Ŏ	8600 ± 40	X		
SI-13	VⅢ層上位~中位	1.20	813	77.00	0.09	Ŏ	1.22	0.25	×	Ō		0		
SI-12	VⅢ層上位~中位	0.94	82	40.90	0.50	Ō	0.98	0.32	X	X		X		
SI-14	Ⅷ層上位~中位	1.10	179	24.50	0.14	Ŏ	1.24	0.25	X	0		0		
SI-23	VⅢ層上位~中位	1.00	147	21.20	0.14	0	1.10	0.23	X	Δ		0		-
SI-33	Ⅷ層上位~中位	0.84	_	_	_	0	0.90	0.25	X	Δ		X		
SI-34	Ⅷ層上位~中位	1.00	186	28.50	0.15	0	1.22	0.15	×	Δ		X		
SI-35	Ⅷ層上位~中位	0.60	58	9.00	0.16	0	0.66	0.10	X	Δ		X		
SI-41	Ⅷ層上位~中位	1.00	71	4.00	0.06	0	1.12	0.22	×	Δ		0		-
SI-43	Ⅷ層上位~中位	0.92	71	4.50	0.06	0	1.00	0.20	X	Δ		X		
SI-59	Ⅷ層上位~中位	0.98	81	6.50	0.08	0	1.18	0.25	X	Δ		0	_	
SI-63	Ⅷ層上位~中位	0.90	101	5.90	0.06	0	1.18	0.22	X	\triangleright		0		
SI-3	Ⅷ層上位~中位	0.66	210	5.20	0.02	0	1.20	0.26	X	Δ		X		
SI-15	Ⅷ層上位~中位	0.70	12	0.60	0.05	0	1.12	0.20	X	Δ		X		
SI-19	Ⅷ層上位~中位	0.46	4	0.25	0.06	0	0.78	0.21	×	Δ		X		
SI-44	Ⅷ層上位~中位	0.82	42	5.00	0.12	0	0.88	0.17	X	Δ		X		
SI-46	Ⅷ層上位~中位	0.92	31	6.00	0.19	0	1.00	0.13	X	Δ		×		
SI-48	Ⅷ層上位~中位	0.80	23	2.00	0.09	0	0.86	0.26	X	Δ		×		
SI-49	Ⅷ層上位~中位	0.68	15	0.40_	0.03	0	0.84	0.20	×	Δ		×	_	
SI-60	Ⅷ層上位~中位	0.94	24	0.90	0.04	0	1.24	0.24		Δ		0		_
SI-61	Ⅷ層上位~中位	0.84	13	2.40	0.18	0	0.80	0.15		Δ		X		
SI-64	Ⅷ層上位~中位		113	5.00	0.04	0	1.00	0.20	×	Δ		X		
SI-18	Ⅷ層上位~中位	0.88	82	8.00	0.10	Δ			X	0		X		
SI-37	VⅢ層上位~中位		557	22.50	0.04	Δ		_	X	X		X		
SI-2	Ⅷ層上位~中位	0.96	60	4.00	0.07	X	_		_	X		×		
SI-4	Ⅷ層上位~中位	0.74	27	3.00	0.11	X	<u> </u>	_		X		X		
SI-16	Ⅷ層上位~中位	0.90	131	8.60	0.07	×	_		_	X		0		
SI-20	Ⅷ層上位~中位		80	8.00	0.10	X				X		0		
SI-21	VⅢ層上位~中位	1.00	180	18.00	0.10	X	_	_		X		0	-	
SI-25	Ⅷ層上位~中位	1.34	111	7.80	0.07	X	_		_	X		X		
SI-39	Ⅷ層上位~中位	0.96	48	2.60	0.05	X		-		X		X		
SI-47	Ⅷ層上位~中位	1.30	149	5.00	0.03	X	_		_	X		×		
SI-5	VII層中位	0.78	48	3.00	0.06	X		-		X		0		_
SI-6	VII層中位	1.28	102	3.50	0.03	X		_		X		X		
SI-36	VII 層中位	1.60_	358	14.00	0.04	X		_		X	0.100	X		
SI-71	VII層中位	1.30	172	5.90	0.03	X		_	_	0	6470 ± 40	X		

^{*}炭化物の欄の△のマークは、炭化粒のみが検出されたケース。

^{*}放射性炭素年代測定値については、加速器質量分析法による補正 14 C年代を掲載。



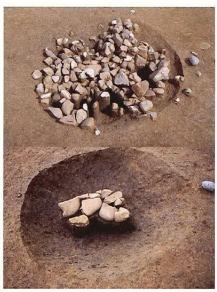
図版 63 SI-72(北から)



図版 64 SI-62(南から)



図版 65 SI-26(南から)



図版 66 SI-17(南から)



図版 67 SI-42(南から)



図版 69 SI-1(西から)*底石は南から



図版 70 SI-58 (西から)





図版 71 SI-24(南から)



図版 72 SI-40·74(南から)



図版 73 SI-32 (南から)



図版 74 SI-11(西から)



図版 75 SI-22(南から)



図版 76 SI-13 (南から)



図版 77 SI-14 (検出)



図版 78 SI-14 (半截)



図版 79 SI-14 (南から)



図版 80 SI-12(北から)



図版 81 SI-23(南から)



図版 82 SI-33(南から)



図版 83 SI-34(東から)



図版 84 SI-35(東から)



図版 85 SI-41(北から)



図版 86 SI-43(北から)



図版 87 SI-59(北西から)



図版 88 SI-63 (西から)





図版 90 SI-15(南から)



図版 91 SI-19(南から)



図版 92 SI-44(西から)



図版 93 SI-46(西から)



図版 94 SI-48 (南から)



図版 95 SI-49 (南から)



図版 96 SI-60 (西から)



図版 97 SI-64(西から)



図版 98 SI-18 (南から)



図版 99 SI-37(南東から)



図版 100 SI-2(西から)



図版 101 SI-4(北西から)



図版 102 SI-16(西から)



図版 103 SI-20・21 (南東から)



図版 104 SI-25(北から)



図版 105 SI-39 (南東から)



図版 106 SI-47 (西から)



図版 107 SI-5(南から)



図版 108 SI-6(西から)



図版 109 SI-36(西から)



図版 110 SI-71(南東から)



図版 111 SC-3・4(南から)



図版 112 SC-3(西から)

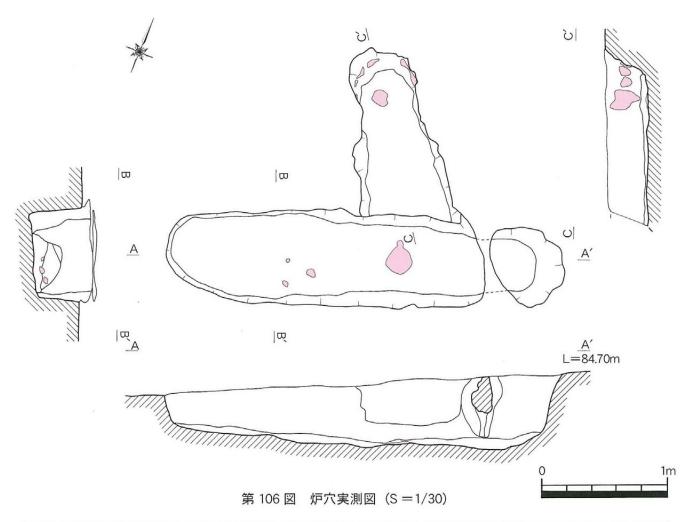
(3) 炉穴

8層中位で2基の炉穴がT字状に切り合った状態で検出された(SC-3・4)。

SC-3 は平面プランが長楕円形でブリッジが残存しており、煙出口については円形を呈している。壁面については、短軸側はほぼ垂直に立ち上がり、長軸側(煙道壁面)については短軸側よりやや緩やかに立ち上がっている。又、トンネル部分の断面についてはドーム状を呈している。焼土については焚き口や煙道付近では確認されずに、SC-4 と切り合っている遺構の中央付近で確認された。

SC-4 は平面プランが長楕円形でブリッジは残存していないが、ブリッジがあったであろう部分にはくびれが確認できる。壁面については、SC-3 同様短軸側がほぼ垂直で長軸側がそれよりやや緩やかに立ち上がっている。又、焼土については焚き口付近と煙道部で確認されている。

SC-3・4の埋土はほぼ同質で、2基の新旧関係を裏付ける相違点は確認できなかった。土質はかなり硬質な茶黒色土で、小粒の焼土や炭化粒 (SC-3 は炭化物)を含んでいた。又、SC-3 の埋土中の炭化物については、放射性炭素年代測定法により 9440 ± 50 年 BP という結果を得ている。



	第9表 E区炉穴観察表									
炉穴 No	検出面	サ イ ズ(m)	ブリッジ	焼土の 位置	炭化物	放射性 炭素年代 測定値	共伴遺物	備考		
SC-3	Ⅷ層中位	$3.18 \times 0.80 \times 0.50$	0	端部	0	9440 ± 50	0	SC-3 と切りあう		
SC-4	Ⅷ層中位	$1.35 \times 0.75 \times 0.35$	×	-	Δ	-	0	SC-4 と切りあう		

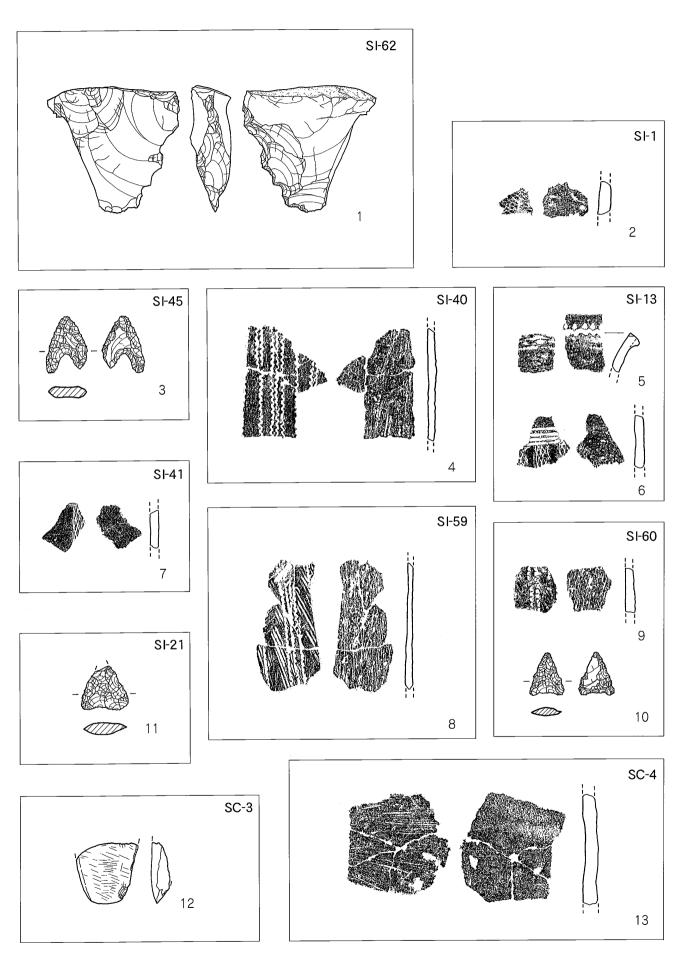
*炭化物の欄の△のマークは、炭化粒のみが検出されたケース。

(4) 遺構内遺物

土器については、2は楕円押型文である。4は外面に縦位の貝殻刺突文、内面に貝殻条痕文を施していて、器形は円筒形を呈しているものと推測される。5は口縁部に断面三角形の突帯が貼り付けられており、口唇部内面には連続キザミ目が施されている。6・7は撚糸文が施されているが、6には棒状工具による沈線もみられる。8・9は外面に貝殻条痕文を施した後に縦位の貝殻刺突文を施しており、内面はいずれも貝殻条痕文が施されている。13は内・外面とも貝殻条痕文を施しているが、内面は部分的にナデ調整が行なわれている。

石器については、1は頁岩製のスクレイパーである。背面右側縁において背面側からの加撃により、 刃部を作り出す。3はサヌカイト製の打製石鏃である。抉りは深く素材の主要剥離面を大きく残す。 10は流紋岩製の打製石鏃である。抉りは浅く素材の主要剥離面を大きく残す。11はチャート製の打製 石鏃である。抉りは浅く、先端部を欠する。12は磨製石斧の刃部の破片である。小型品で残存部位に 関しては全面に研磨を施しており、包含層から出土しているもの(123)と平面形が同じタイプのもの である。

^{*}放射性炭素年代測定値については、加速器質量分析法による補正¹⁴C年代を掲載。



第 107 図 E 区遺構内遺物実測図 (土器:S=1/3 石器:S=2/3)

]一覧表			
遺構	111 1 No. 160 at / \ \	遺物	番号	放射性	/# +V.
遺構 番号	出土遺物 *()内は出土点数	土器	石器	炭素年代	備考
SI-72	・チャート剥片(1)	_	_		
SI-62	・頁岩スクレイパー(1)	_	1	9650 ± 40	
SI-17	・貝殻文系土器 (2)		_		
SI-1	・貝殻文系土器《下剥峰(1)》・押型文土器《楕円(1)》・不明土器(2)	2	_		
SI-45	・サヌカイト石鏃 (1)	_	3	9300 ± 40	
SI-40	・貝殻文系土器 (1) ・黒曜石剥片 (1)	4	_	8890 ± 40	黒曜石は桑ノ木津留産
SI-32	・流紋岩剥片(1)	_	_	8890 ± 40	
SI-13	・平栫式土器(1)・塞ノ神式土器(1) ・黒曜石剥片(1)・チャート剥片(1)	5.6	_		黒曜石は桑ノ木津留産
SI-14	・チャート剥片(1)・頁岩剥片(1)・黒曜石剥片(1)	_	_		
SI-23	・不明土器(1)	_	_		
SI-41	・塞ノ神式土器(1)	7	_		
SI-59	・貝殻文系土器(1)	8	_		
SI-63	・チャート剥片 (1)	_	_		
SI-60	・貝殻文系土器(1) ・流紋岩石鏃(1)	9	10		
SI-16	・貝殻文系土器(1)	_	_		
SI-20	・チャート剥片 (1)	_	_		
SI-21	・不明土器 (1)・チャート石鏃 (1)	_	11		
SI-5	・黒曜石剥片(1)	_			黒曜石は姫島産
SC-3	・不明土器 (3) ・砂岩 ? 石斧 (1)・流紋岩剥片 (2)・チャート礫 (1)		12	9440 ± 50	
SC-4	・貝殻文系土器 (2)・不明土器 (1) ・流紋岩剥片 (1)	13	_		

					第11表	E区遺構内	出土	上器制	黎表			_	
遺構 遺物		部位	文様及	び調整	色	調	胎			,	土	備考	遺物 整理
No	No	山小小	外面	内面	外面	内面	石英	長石	キンウンモ	クロウンモ	砂粒	"胂 号	No
SI-1	2	胴部	楕円押型文	ナデ	5YR4/4 にぶい赤褐	7.5YR4/3 褐		0			O 6mm 以下		174
SI-40	4	胴部	貝殼刺突文	貝殼条痕文	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR4/3 褐	0	0		0	O 2mm 以下		169
CT 10	5	口縁部	貼付突帯 (断面三角形)	ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	10YR4/2 にぶい褐			0		O 2mm 以下	口唇部内面にキザミ目	168
SI-13	6	胴部	沈線文撚糸文	ナデ	7.5YR4/3 褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 2mm 以下		144
SI-41	7	胴部	撚糸文	ナデ	2.5YR4/1 赤灰	10YR5/3 にぶい黄褐		0			O 2mm 以下		140
SI-59	8	胴部	貝殻条痕文 貝殻刺突文	貝殻条痕文	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0		0	O 2mm 以下	-	171
SI-60	9	胴部	貝殻条痕文 貝殻刺突文	貝殼条痕文	5YR4/3 にぶい赤褐	7.5YR5/3 にぶい褐	0	0		0	O 2mm 以下		137
SC-4	13	胴部	貝殼条痕文	貝殻条痕文 ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0			O 2mm 以下		133

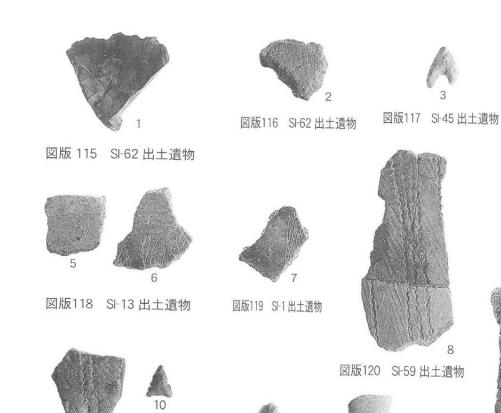
	第 12 表 E 区遺構内石器計測分類表										
遺物 No	整理 No	器 種	遺構 No	石 材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考		
1	503	スクレイパー	SI-62	頁岩	5	5.75	1.7	38.2			
3	479	打製石鏃	SI-45	サヌカイト	2.25	1.7	0.4	1.2			
10	473	打製石鏃	SI-60	流紋岩	1.7	1.4	0.4	0.6			
11	1 480 打製石鏃 SI-		SI-21	チャート	1.8	1.9	0.5	1.4	先端部欠損		
12	481	磨製石斧	SC-3	頁岩	2.4	2.2	0.7	5	刃部破片		





図版 113 埋設土器

図版 114 SA-1 石器



図版122 SI-60 出土遺物

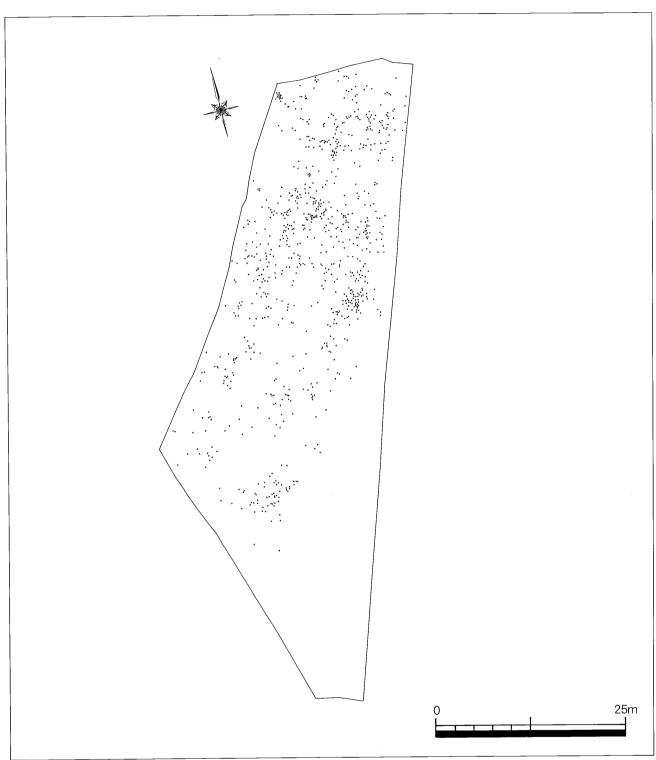


図版121 SI-40 出土遺物



図版125 SC-4 出土遺物

図版123 SI-21 出土遺物 図版124 SC-3 出土遺物



第 108 図 E区縄文時代早期包含層遺物分布図 (S = 1/500)

2. 包含層出土遺物

今回の調査では7層中位から8層下位にかけて約1,100点の遺物が出土した。これらの遺物はそのほとんどが縄文時代早期中葉から早期後葉のもので、土器と石器に分かれる。

(1) 土 器

土器については、貝殻文系土器と押型文土器及び塞ノ神式土器の3土器群に大別できる。貝殻文系土器と判断した土器は192点で、そのうち35点を今回資料化している。押型文土器と判断した土器は52

点で、今回はそのうち 15 点を資料化している。又、塞ノ神式土器と判断した土器は 55 点で、そのうち 今回は 19 点を資料化している。

貝殼文系土器

1 はやや胴部の張った円筒形を呈する。口縁部は平坦であり丁寧な調整が施されている。施文的特徴については、外面に縦位の貝殻条痕文が施されているが、口縁部付近においては横位の貝殻条痕文の後、縦位の貝殻条痕文が施されている。 $2\cdot3$ については 1 とほぼ同じ特徴であり、同一固体の可能性もあると推測される。 $4\sim15$ は円筒形を呈する貝殻文土器の口縁部である。 $4\cdot5$ は口縁部外面に棒状工具によるキザミ目が施されていて、5 については口唇部にもキザミ目が施されている。 $6\sim11$ は口縁部に貝殻刺突文を施すもので、貝殻刺突文の下位に貝殻条痕文がみられるもの $(7\cdot10\cdot11)$ とみられないものがある $(6\cdot8\cdot9)$ 。又、 $12\sim16$ については、口縁部から貝殻条痕文が施されているが、 $12\cdot13$ は横位と斜位、 $14\cdot15$ は横位、16 は斜位に施文されている。又、15 のみはやや外反している。 $17\sim21$ は円筒形を呈する貝殻文土器の胴部である。横位もしくは斜位の貝殻条痕文が施されている。 $22\sim32$ は胴部に貝殻条痕文を施しその上から貝殻刺突文を重ねたものである。器形については、 $22\cdot23\cdot24\cdot29\cdot30\cdot31\cdot32$ が円筒形で $25\cdot28$ が角筒形を呈しており、 $26\cdot27$ については小破片のためいずれとも断定できない。又、 $22\cdot27$ のみが口縁部でその他は胴部であるが、 $22\cdot27$ の口縁部には横位の貝殻刺突文がみられる。尚、 $22\sim26$ については、0

33・34 については、貝殻刺突文が施された胴部であるが、小破片のため器形は断定できない。又、35 については、棒状工具による短沈線文が施されているが、貝殻文系土器の一部の可能性があると判断し今回の報告では貝殻文系の土器として資料化している。

30・32 については、整理作業の段階で土器外面に付着していた炭化物を採取し、放射性炭素年代測定を行ったところ、30 が 9250 ± 40 年 BP で 32 が 9290 ± 40 年 BP という結果を得ている。

押型文土器

 $36\cdot37$ は楕円押型文土器である。いずれも口縁部の小破片で内面・外面に 3mm 程度のソロバン珠状の楕円を斜位に施している。38 は格子目押型文土器であるが、小破片のため器形等は不明である。 $39\sim50$ は手向山式土器である。39 は縦位にやや間延びした山形文が施され、40 は胴部の屈曲部に山形文が施されている。41 については菱形文が施され、 $42\sim50$ はミミズばれ文が施されている。尚、42 のみが口縁部で 43 が胴部中央やや下方の屈曲部その他はいずれも胴部である。

塞ノ神式土器

E区で出土した塞ノ神式土器は、ほとんどが撚糸文系のものである $(51 \sim 68)$ 。 51 は口縁部から胴部にかけて残存しており、器形はやや中央が張った胴部にラッパ状にひらく口縁部が付いている。 文様は屈曲部と胴部中央に沈線が施され、その間に撚糸文が施されている。 $52 \sim 58$ はラッパ状にひらく口縁部であるが、51 も含めてすべての口唇部にキザミ目が施されている。 又、59 は屈曲部で $60 \sim 67$ は胴部、68 は底部であるが、いずれも沈線ないし撚糸文が施されている。

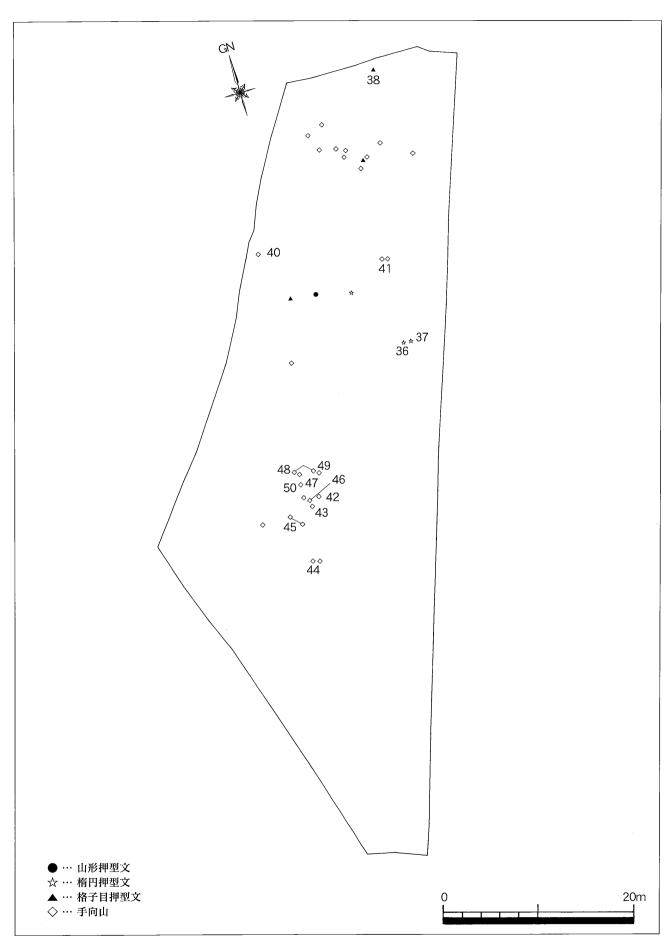
尚、53·67 については、整理作業の段階で土器外面に付着していた炭化物を採取し、放射性炭素年代 測定を行ったところ、53 が 7880 ± 40 年 BP で 67 が 7640 ± 40 年 BP という結果を得ている。

その他

69·70 は平栫式土器の口縁部と思われるが、当遺跡ではこの形式の土器はほとんど出土していない。いずれも断面三角形の突帯を貼り付け、口唇部内面にキザミ目を施している。71·72 はやや内湾する口縁部であるが、櫛状工具による縦位の文様が施されている。73 は縄文が施された底部であるが器形等は不明で、74 は平底の底部である。



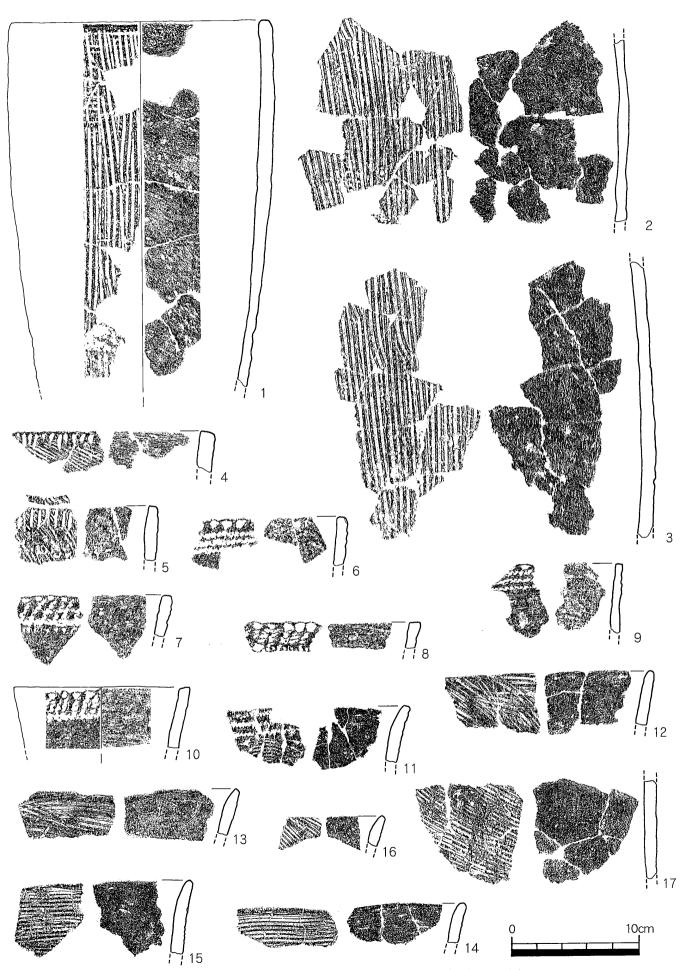
第 109 図 E区貝殼文系土器分布図 (S = 1/400)



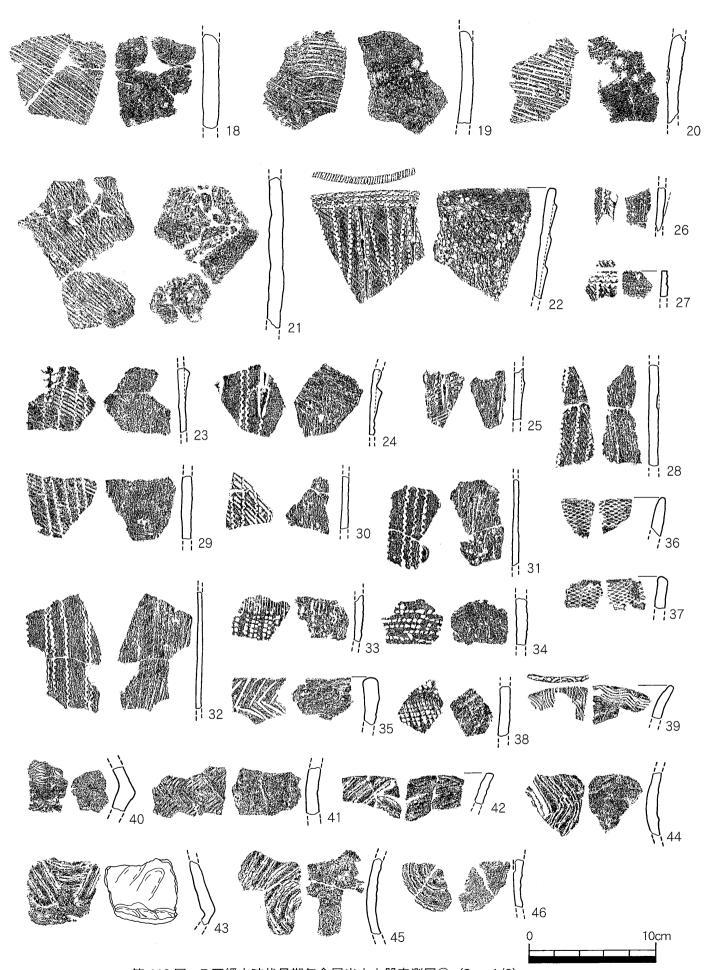
第 110 図 E 区押型文土器分布図 (S = 1/400)



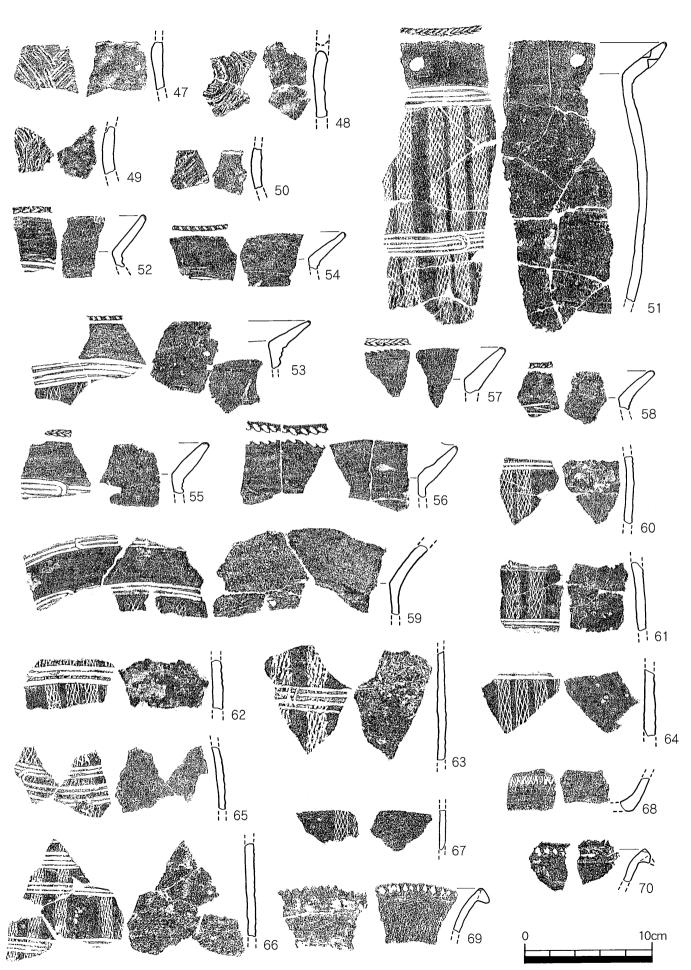
第 111 図 E 区塞ノ神式土器分布図 (S = 1/400)



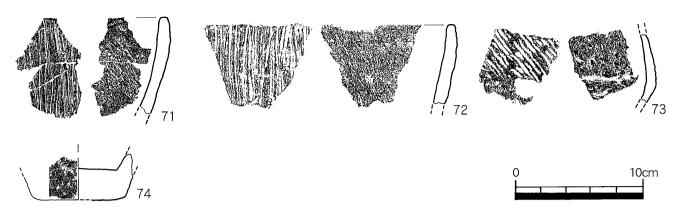
第 112 図 E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図① (S = 1/3)



第 113 図 E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図② (S = 1/3)



第 114 図 E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図③ (S = 1/3)



第 115 図 E 区縄文時代早期包含層出土土器実測図④ (S = 1/3)

					第13表		Т Т					·	Vitto de
遺物 出土 No 層位			文様及で		色	調				· ·	t	- 備 考	遺物 整理
NO	僧仏		外面	内面	外面 10YR5/3	内面 7.5YR5/4	石英	長石	キンウンモ	クロウンモ	砂粒	 口縁径は 20.4cm、胴部最大	No
1	Ⅷ層	口縁~ 胴部	貝殻条痕文	ナデ 	にぶい黄褐	にぶい褐	0	0			3mm 以下	日禄在以 20.4cm、 桐 品 最 八 径は 21.2cm	33
2	WI層	胴部	貝殼条痕文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0			O 3mm以下		32
3	WI層	胴部	貝殼条痕文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0	0	0	O 3mm以下		32
4	VII層	口縁	貝殻条痕文 キザミ	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0			O 1mm 以下		24
5	VII層	口縁	貝殻条痕文 キザミ	ナデ	10YR5/4 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 1mm以下	口唇部にキザミ目	25
6	VII層	口縁	貝殻刺突 キザミ	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0			0	O 4mm 以下		24
7	垭層	口縁	貝殻刺突 キザミ	ナデ	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0			0	O 3mm以下		24
8	VIII層	口縁	貝殻刺突 キザミ	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0			0	O 4mm 以下		24
9	Ⅷ層	口縁	貝殼刺突	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0			0	O 5mm以下		25
10	Ⅷ層	口縁	キザミ 貝殻刺突	 ナデ	7.5YR5/3	7.5YR5/4	0			0	0		25
11	垭層	口縁	キザミ 貝殻刺突	 ナデ	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 10YR5/3	0	0			4mm 以下		26
12	Ⅷ層	口縁	貝殻条痕文 貝殻条痕文	 ナデ	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄褐 7.5YR5/4	0	0			2mm 以下 O		24
			貝殻条痕文	 ナデ	にぶい褐 10YR5/3	にぶい褐 10YR5/2	0	0			2mm 以下 〇		24
13	Ⅷ層	口縁	7 (1741 112 17		にぶい黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	<u> </u>				2mm 以下 〇		24
14	VII.層	口縁	貝殼条痕文	ナデ 	灰黄褐 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/3	0	0			1mm以下		
15	VⅢ層	口縁	貝殻条痕文	ナデ 	にぶい黄橙 10YR5/3	にぶい黄褐_ 10YR5/3	0	0			2mm以下 O		24
16	VII層	口縁	貝殻条痕文	ナデ 	にぶい黄褐	にぶい黄褐	0	0			1mm 以下		24
17	WI層	胴部	貝殻条痕文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/3 にぶい褐	0	0			O 3mm以下		25
18	Ⅷ層	胴部	貝殼条痕文	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR6/4 にぶい橙	0	0			O 1mm以下		25
19	Ⅷ層	胴部	貝殼条痕文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい <u>褐</u>	0	0			O 2mm 以下		25
20	VII層	胴部	貝殼条痕文	ナデ	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR5/3 にぶい褐	0	0		0	O 3mm 以下		26
21	VII層	胴部	貝殼条痕文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0			O 3mm 以下		26
22	Ⅷ層	口縁	貝殻条痕文・貝殻刺突文 クサビ形貼付文	ナデ	5YR5/4 にぶい赤褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0			O 2mm 以下	口唇部にキザミ目	27
23	V亚層	胴部	貝殻刺突文 クサビ形貼付文	 ナデ	7.5YR4/3 褐	5YR4/4 にぶい赤褐	0	0			O 2mm以下	271	
24	VII層	胴部	見殻刺突文 クサビ形貼付文		7.5YR4/3 褐	5YR4/4 にぶい赤褐	0	0			O 2mm以下		27
25	VII層	胴部	貝殻条痕文·貝殻刺突文	 ナデ	7.5YR5/4	7.5YR5/3	0	0			O 1mm以下	角筒	27
26	VII層		クサビ形貼付文 貝殻条痕文・貝殻刺突文	ナデ	にぶい褐 10YR4/2	にぶい褐 7.5YR5/4	0	0			0		27
27	「加層	口縁	クサビ形貼付文 貝殻条痕文	 ナデ	灰黄褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	0	0			1mm以下		26
28	Ⅷ層	胴部	貝殻刺突文 貝殻条痕文	 ナデ	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	0	0			1mm 以下		26
			貝殻刺突文 貝殻条痕文		にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR4/4	0	0			2mm 以下 〇		27
29	Ⅷ層	胴部	貝殻刺突文 貝殻条痕文	ナデ	にぶい褐 7.5YR4/3	褐 5YR5/4	-				2mm 以下 〇	 放射性炭素年代測定	<u> </u>
30	Ⅷ層	胴部	貝殻刺突文	ナデ	视 7.5YR5/4	にぶい赤褐 7.5YR5/4	0	0		0		9250 ± 40 年 BP	47
31	Ⅷ層	胴部	貝殼刺突文	ナデ	にぶい褐	にぶい褐	0	0			2mm 以下		26

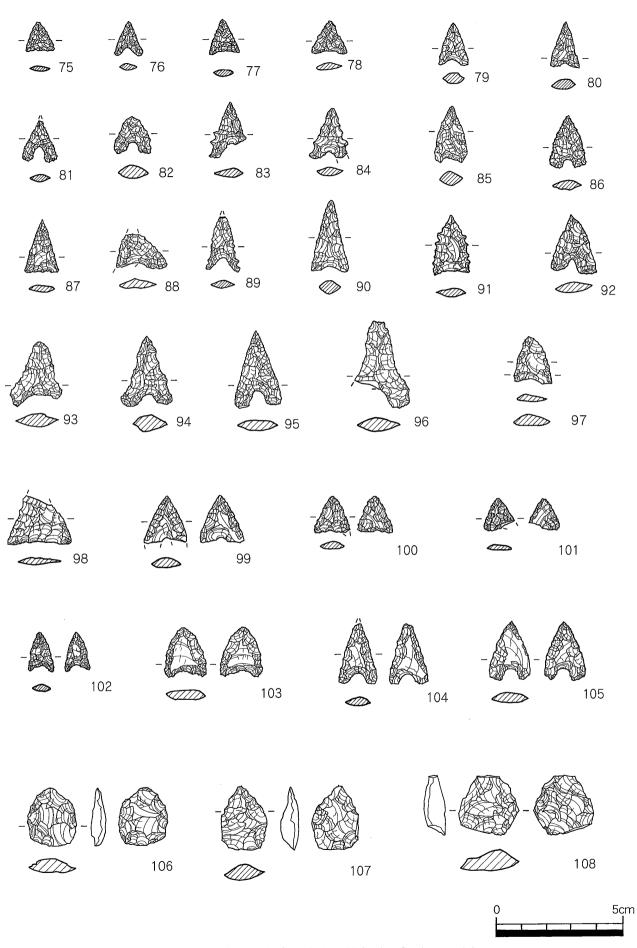
遺物	出土			び調整	色	調		胎 土		±	備考	遺物	
No	層位	部位	外面	内面	外面	内面	石英	長石	キンウンモ	クロウンモ	砂粒		整理 No
32	VII層	胴部	貝殼刺突文	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	5YR4/4 にぶい赤褐	0				〇 2mm 以下	放射性炭素年代測定 9290 ± 40 年 BP	267
33	VII層	胴部	貝殻条痕文 貝殻刺突文	ナデ	10YR6/3 にぶい黄橙	2.5Y4/2 暗灰黄		0		0	O 3mm 以下		280
34	VII層	胴部	貝殻条痕文 貝殻刺突文	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	2.5Y4/1 黄褐	0	0			O 3mm以下		285
35	VII層	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR4/2 灰黄褐	0	0			O 8mm以下		300
36	VII.層	口縁	—————— 楕円押型文	楕円押型文	7.5YR5/3 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐		0		0	O 1mm以下		359
37	Ⅷ層	口縁		ナデ 楕円押型文	5YR5/4	7.5YR5/2		0			O 2mm 以下		166
38	VII.M	胴部	格子目押型文	ナデ	にぶい褐 7.5YR5/4	灰褐 10YR5/2	0	0		0	0	-	463
39	VIII層	口縁	山形押型文	山形押型文	にぶい褐 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/3		0			1mm 以下 O		377
40	VIII層	胴部	山形押型文	ナデ	にぶい橙 10YR5/3	にぶい黄褐_ 7.5YR5/3	0	0			2mm 以下 O		380
41	VII層	胴部	<u>屈曲部</u> 菱形文	ナデ	にぶい黄褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/4			0		2mm 以下 O		378
			ミミズばれ文	 ミミズばれ文	にぶい褐 10YR5/3	にぶい褐 2.5Y5/2	0	0		0	3mm 以下 〇		381
42	VII層	口縁 胴部屈			にぶい黄褐_ 10YR6/4	暗灰黄 2.5Y6/3	0	0	-	0	2mm 以下 〇		369
43	Ⅷ層	曲部	ミミズばれ文	ナデ	にぶい黄橙 10YR5/4	にぶ黄 10YR6/3					2mm 以下 O		370
44	Ⅷ層	胴部	ミミズばれ文	ナデ	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR5/3	0	0		0	2mm 以下 O		
45	VII.層	胴部	ミミズばれ文 	ナデ	にぶい黄褐 2.5Y5/2	にぶい黄褐 10YR5/4	0	0		0	3mm以下 〇		373
46	VII.ME	胴部	ミミズばれ文	ナデ	暗灰黄 10YR5/4	にぶい黄褐 2.5Y5/3	0	0		0	3mm以下 〇		374
47	VII層	胴部	ミミズばれ文	ナデ	にぶい黄褐 10YR4/2	<u>黄褐</u> 10YR5/3	0	0		0	2mm以下 O		375
48	Ⅷ層	胴部	ミミズばれ文	ナデ	灰黄褐	にぶい黄褐	0	0			2mm 以下		379
49	™層	胴部	ミミズばれ文	ナデ	7.5YR4/2 灰褐	10YR5/4 にぶい黄褐	0	0		0	O 2mm以下		376
50	WIE	胴部	ミミズばれ文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/3 にぶい黄橙	0	0			O 2mm以下		383
51	Ⅷ層	口縁~ 胴部	沈線文 	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐		0	0		O 3mm以下	口唇部にキザミ目・穿孔有り	34
52	Ⅷ層	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙		0		0	O 1mm以下	口唇部にキザミ目	325
53	WII層	口縁	沈線文 撚 <u>糸文</u>	ナデ	7.5YR4/3 褐	7.5YR6/4 にぶい橙	0	0		0	O 2mm以下	口唇部にキザミ目 放射性炭素年代測定 7880±40年BP	327
54	Ⅷ層	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/4 にぶい黄橙		0		0	O 2mm 以下	口唇部にキザミ目	329
55	WI層	口縁	沈線文	ナデ	10YR5/2 灰黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0	0		O 3mm以下	口唇部にキザミ目	330
56	WII層	口縁	ナデ	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR6/3 にぶい黄橙		0			O 1mm以下	口唇部にキザミ目	326
57	Ⅷ層	口縁	ナデ	ナデ	10YR5/3 にぶい黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0	0		O 2mm 以下	口唇部にキザミ目	328
58	VII層	口縁	沈線文	ナデ	7.5YR4/3 褐	5YR5/4 にぶい赤褐	0	0			O 2mm 以下	口唇部にキザミ目	332
59	Ⅷ層	頸部	沈線文 撚糸文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 3mm以下		314
60	VIII層	胴部	沈線文 撚糸文	ナデ	10YR4/2 灰黄褐	10YR5/3 にぶい黄褐	0	0		0	O 2mm以下		301
61	Ⅷ層	胴部	沈線文 然糸文	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐	7.5YR5/4 にぶい褐	0	0		0	O 2mm 以下		302
62	Ⅷ層	胴部	沈線文	ナデ	10YR5/2	7.5YR5/3 にぶい褐	0	0	0	0	O 2mm 以下		303
63	WI層	胴部	燃糸文 沈線文	ナデ	灰黄褐 10YR5/3	10YR5/3	0				0		304
64	VII.層	胴部	燃糸文 沈線文	ナデ	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3		0			2mm 以下		306
65	V亚層	胴部	燃糸文 沈線文	ナデ	にぶい黄褐 2.5YR5/2	にぶい黄褐 10YR3/1			0		2mm 以下 O		308
66	Ⅷ層	胴部	燃糸文 沈線文	ナデ	灰赤 5YR5/4	黒褐 10YR4/2		0		0	3mm以下 O		309
67	Ⅷ層	胴部	燃糸文 燃糸文	ナデ	にぶい赤褐 10YR4/2	灰黄褐 10YR5/3	0	0		<u> </u>	2mm以下 O	放射性炭素年代測定	470
\vdash			沈線文	ナデ	灰黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 2.5Y5/2	0	Ť	0		1mm 以下 O	7640 ± 40 年 BP	319
68	四層	底部	燃糸文		にぶい <u>黄褐</u> 10YR4/3	暗灰黄 10YR5/3	0		0		2mm 以下 O	 口唇部にキザミ目	431
69	加層	口縁	貼付け突帯	ナデ	にぶい黄褐 10YR4/3	にぶい黄褐 10YR4/3	0	0	0		3mm 以下 〇	口唇部にキザミ日 口唇部にキザミ目	432
70	Ⅷ層	口縁	貼付け突帯	ナデ	にぶい黄褐 5YR5/4	にぶい黄褐 10YR4/2	0				2mm以下 O	H-ETHACT AND	420
71	Ⅷ層	口縁	沈線文	ナデ	にぶい赤褐 7.5YR5/4	灰黄褐 7.5YR5/3		0		0	6mm以下 O		
72	VII層	口縁	沈線文	ナデ	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR4/3	0	0			3mm以下 O		26
73	Ⅷ層	底部	縄文	ナデ	にぶい褐 10YR6/4	名 名 2.5YR5/2	0	0		0	5mm以下		424
74	WII層	底部	ナデ	ナデ	にぶい黄橙	灰赤 _	0	0		0	1mm 以下		426

(2) 石器

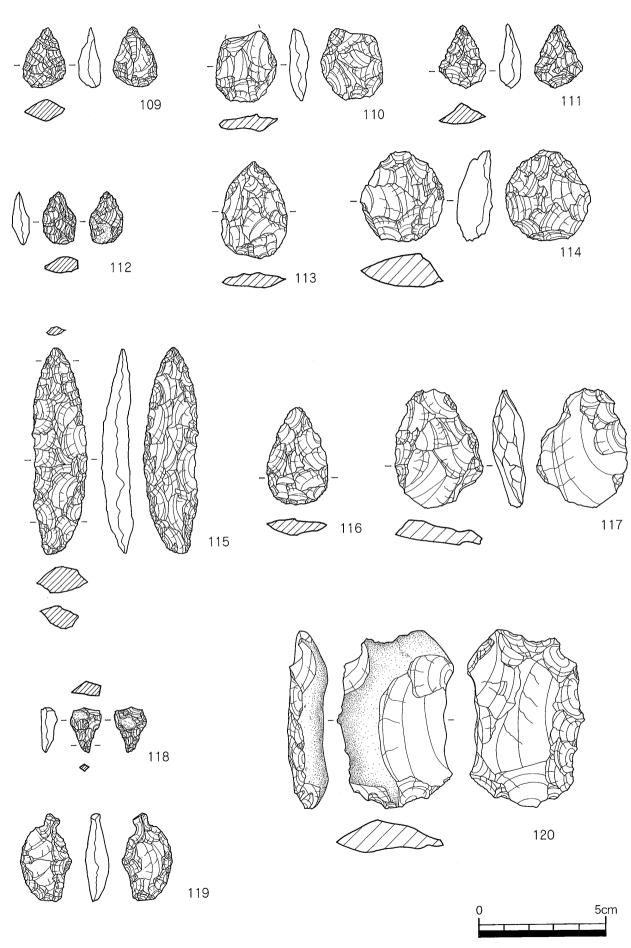
 $75 \sim 105$ は打製石鏃で、 $106 \sim 112$ はその未製品である。E区においては未製品・欠損品を含め総 数 65 点の打製石鏃が出土している。石材はチャートが3分の1以上を占め、頁岩・流紋岩と黒曜石が それぞれ4分の1程度を占める。長さ2 cm に満たない小型の三角形鏃には桑ノ木津留産黒曜石が使用 されている。81 は鍬形鏃である。83・84・89 は脚部付近に突出部を持つ。91 は刃部が鋸歯状を呈す る。103~105は剥片の主要剥離面を多く残す。112は桑ノ木津留産黒曜石製で小型の三角形鏃の未製 品であろう。113・116は石鏃に比べ大ぶりで、鈍く尖端部を作り出しているところから尖頭状石器と 考えられる。また 114・117 はその未製品であろう。113 はチャートを使用し、その他は頁岩を使用す る。115 は尖頭器である。頁岩を使用し、断面形はきれいなレンズ状を呈しておらず、左右非対称の形 熊である。また側面形熊も湾曲している。118は石錐である。黒曜石の小礫を素材としている。119は 安山岩製の石匙である。小振りで主要剥離面を大きく残す。120はスクレイパーである。背面に自然面 を多く残し、腹面の右側縁に加工を施す。121・122は2次加工ある剥片で、接合資料である。123は 磨製石斧の刃部の破片である。小型品で残存部位に関しては全面に研磨を施している。124・125 は 2 次加工ある剥片である。 $126\sim131$ は剥片である。126 は黒曜石、 $127\cdot128\cdot130$ は頁岩、 $129\cdot131$ は砂岩を使用する。131 は背面に稜線を持つ自然面を多く残していることから、砂岩の角礫から作出さ れた剥片である。 $132 \sim 137$ は石核である。いずれも打面調整の行わないものである。また $132 \cdot 134 \cdot$ 137 は剥片素材の資料である。135 は針尾産黒曜石を使用しており、自然面を打面とし求心的な剥片剥 離を行う。138 ~ 141 は砂岩製の敲石である。138・139 は円礫、140 は棒状の礫を使用する。141 は 砂岩の分厚い不定形な剥片を使用するもので、下端部に使用痕が見られる。142・143 は尾鈴山酸性岩 製の磨石である。

	第 14 表 E 区包含層出土石器計測分類表										
遺物 No	整理 No	器種	出土 グリッド	層位	石材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	
75	404	打製石鏃	E13	VIII	黒曜石(桑ノ木津留)	1.1	1.1	0.2	0.1 以下		
76	401	打製石鏃	E13	VIII	黒曜石(姫島)	1.4	1.15	0.25	0.1 以下		
77	407	打製石鏃	E21	VII	黒曜石(桑ノ木津留)	1.4	1.1	2.5	0.1 以下		
78	232	打製石鏃	E13	VIII	黒曜石(桑ノ木津留)	1.3	1.4	0.3	0.3		
79	226	打製石鏃	E18	VII	チャート	1.7	1.2	0.4	0.6		
80	419	打製石鏃	E21	VII	黒曜石 (姫島)	1.9	1.2	0.4	0.6		
81	233	打製石鏃	E13	VII	チャート	1.6	1.4	0.3	0.4		
82	409	打製石鏃	E21	VII	砂岩	1.5	1.5	0.55	0.8		
83	391	打製石鏃	E13	VII	黒曜石(姫島)	2.2	1.5	0.4	0.7		
84	411	打製石鏃	E13	VIII	黒曜石 (姫島)	2	1.5	0.35	0.5		
85	227	打製石鏃	E18	VIII	砂岩	2.3	1.3	0.6	1.2		
86	410	打製石鏃	E13	VIII	流紋岩	2.1	1.4	0.4	0.9		
87	387	打製石鏃	E14	VIII	頁岩	2.1	1.35	0.3	0.6		
88	442	打製石鏃	E13	VIII	水晶	1.4	2.1	0.35	0.8	先端部を欠損	
89	385	打製石鏃	E21	VII	サヌカイト	2.2	1.4	0.35	0.6		
90	230	打製石鏃	E17	VIII	頁岩	2.9	1.5	0.5	1.6		
91	239	打製石鏃	E13	VIII	流紋岩	2.4	1.4	0.4	1.1		
92	231	打製石鏃	E21	VII	黒曜石(姫島)	2.35	1.8	0.4	0.9		
93	437	打製石鏃	E13	VIII	チャート	2.55	2.15	0.6	2.0		

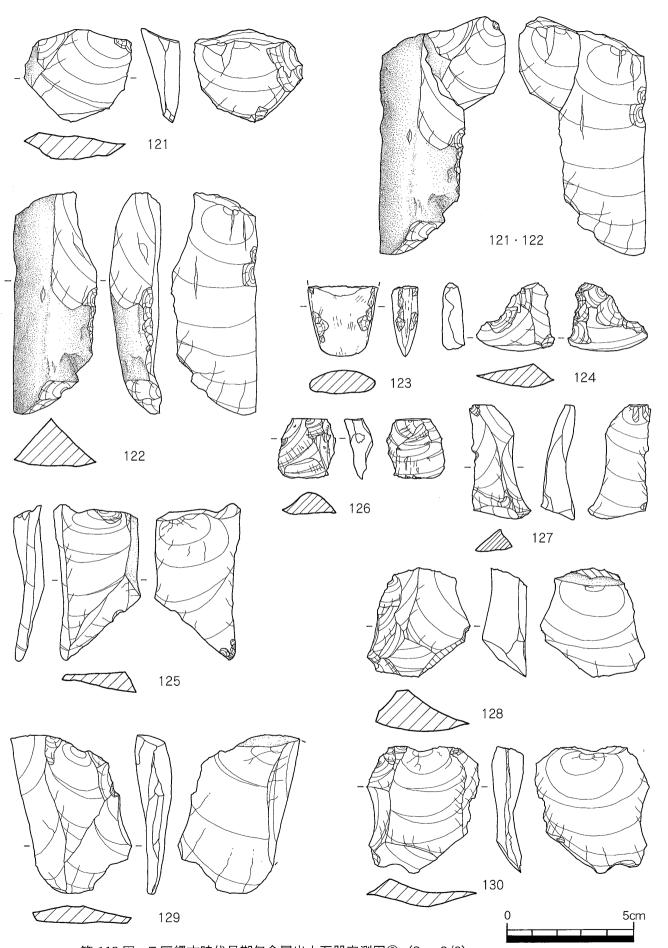
遺物 No	整理 No	器 種	出土 グリッド	層位	石 材	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
94	40	打製石鏃	E13	VIII	チャート	2.8	1.05	0.6	1.7	
95	394	打製石鏃	E17	VIII	チャート	3.15	1.8	0.4	1.6	
96	388	打製石鏃	E13	VIII	砂岩	3.5	2.25	0.6	2.2	
97	415	打製石鏃	E13	VIII	チャート	1.9	1.5	0.45	0.9	
98	405	打製石鏃	E13	VIII	頁岩	1.9	2.6	0.35	1.5	先端部を欠損
99	408	打製石鏃	E13	VIII	 玉髄	1.9	1.7	0.4	0.9	
100	412	打製石鏃	E17	VIII	黒曜石(桑ノ木津留)	1.45	1.4	0.3	0.4	
101	413	打製石鏃	E17	VIII	黒曜石(桑ノ木津留)	1.3	1.2	0.2	0.1 以下	
102	414	打製石鏃	E13	VIII	チャート	2.1	1	0.3	0.1	
103	469	打製石鏃	E13	VIII	流紋岩	2	1.7	0.5	1.5	
104	238	打製石鏃	E17	VIII	砂岩	2.4	1.5	0.4	1.0	
105	395	打製石鏃	E13	VIII	安山岩	2.35	1.6	0.4	1.0	
106	209	打製石鏃未製品	E13	VIII	流紋岩	2.3	1.95	0.6	2.4	
107	212	打製石鏃未製品	E13	VIII	チャート	2.55	1.85	0.8	3.7	
108	221	打製石鏃未製品	E10	VIII	チャート	2.4	2.4	0.9	5.3	
109	216	打製石鏃未製品	E13	VIII	チャート	2.4	1.7	0.9	2.7	
110	215	打製石鏃未製品	E13	VIII	流紋岩	2.85	2.4	0.7	4.9	
111	220	打製石鏃未製品	E10	VIII	チャート	2.6	1.9	0.85	2.7	
112	214	打製石鏃未製品	E13	VIII	黒曜石(桑ノ木津留)	2.1	1.35	0.7	1.4	
113	229	尖頭状石器	E13	VIII	頁岩	3.9	2.6	0.65	6.3	-
114	217	尖頭状石器未製品	E13	VIII	チャート	3.6	3.35	1.35	17.7	
115	41	槍先形尖頭器	E13	VIII	頁岩	8.3	2.25	1.3	19.0	
116	235	尖頭状石器	E13	VIII	頁岩	3.9	2.4	0.7	6.0	-
117	219	尖頭状石器未製品	E17	VIII	頁岩	4.7	3.55	1.35	19.6	
118	213	石錐	E17	VIII	黒曜石(桑ノ木津留)	1.8	1.25	0.6	0.8	
119	467	石匙	E18	VIII	安山岩	3.55	2.1	0.9	5.3	
120	202	スクレイパー	E17	VIII	流紋岩	7.15	4.65	1.6	46.5	
121	205	2 次加工ある剥片	E13	VIII	流紋岩	3.75	4.3	1.55	18.7	接合
122	206	2次加工ある剥片	E13	VIII	流紋岩	8.8	3.4	2.05	56.8	
123	443	磨製石斧	E21	VIII	頁岩	2.8	2.8	9.5	11.0	
124	203	2 次加工ある剥片	E13	VIII	頁岩	2.75	3.1	0.9	5.9	
125	122	2次加工ある剥片	E21	VIII	流紋岩	6.2	3.5	0.8	17.1	
126	179	剥片	E13	?	黒曜石(桑ノ木津留)	2.4	2.3	1.1	4.0	
127	121	剥片	E13	VIII	頁岩	4.6	2.5	1.3	8.2	
128	181	剥片	E13	VIII	頁岩	4.4	4.1	1.8	25.5	
129	194	剥片	E18	VII	砂岩	6.3	4.9	1.45	30.2	
130	177	剥片	E17	VIII	頁岩	5.05	4.5	1.3	18.8	
131	195	剥片	E13	VIII	砂岩	7.4	5.7	2.2	84.2	
132	451	石核	E13	VIII	チャート	3.2	3.95	1.9	20.5	
133	452	石核	E13	VIII	頁岩	5	4.25	2.2	48.9	
134	448	石核	E13	VIII	頁岩	6.1	6	2.7	89.4	
135	120	石核	E13	VIII	黒曜石(針尾)	5.7	7.15	1.9	77.2	
136	450	石核	E13	VIII	頁岩	3.85	6	2.3	47.7	
137	447	石核	E13	?	砂岩	4.9	7.7	2.3	81.7	
138	461	敲石	E13	VIII	砂岩	4.1	5.5	7.4	247.9	
139	462	敲石	E13	VII	砂岩	9.1	7.95	3.9	329.9	
140	39	敲石	E20	VII	砂岩	3.2	4.7	12.7	195.2	
141	453	敲石	E13	VIII	砂岩	8.8	6	4.35	207.2	
142	457	整石	E13	VIII		7.5	8.6	4.6	425.9	
	-			VIII	尾鈴山酸性岩	9.3	9.7	4.6	719.7	
143	455	磨石	E13	Ŭ VIII	尾鈴川酸性岩	9.3	9.7	4.6	(19.7	



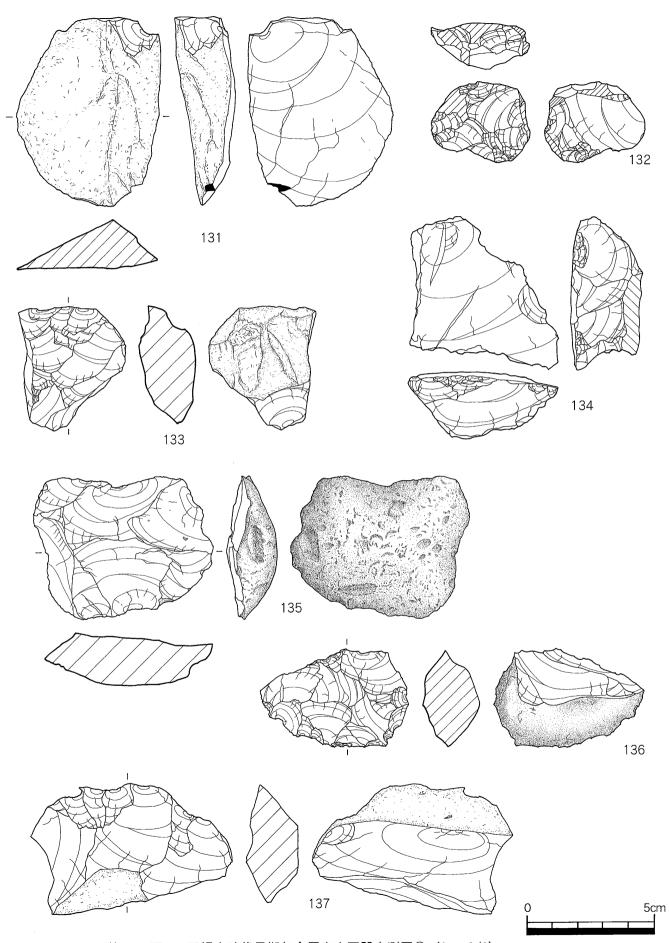
第 116 図 E区縄文時代早期包含層出土石器実測図① (S = 2/3)



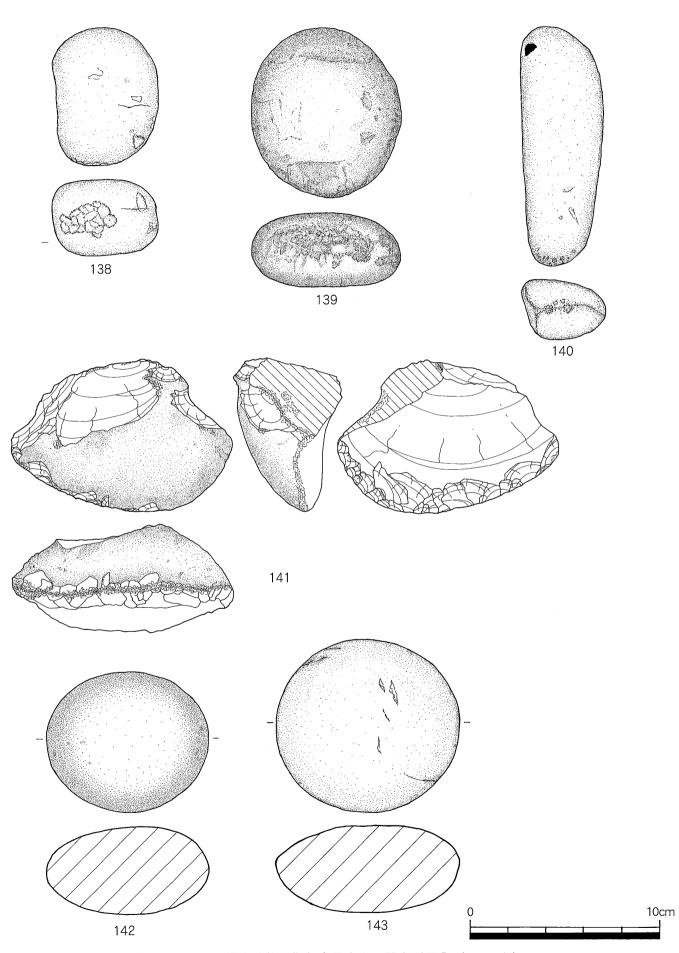
第 117 図 E区縄文時代早期包含層出土石器実測図②(S = 2/3)



第 118 図 E 区縄文時代早期包含層出土石器実測図③ (S = 2/3)



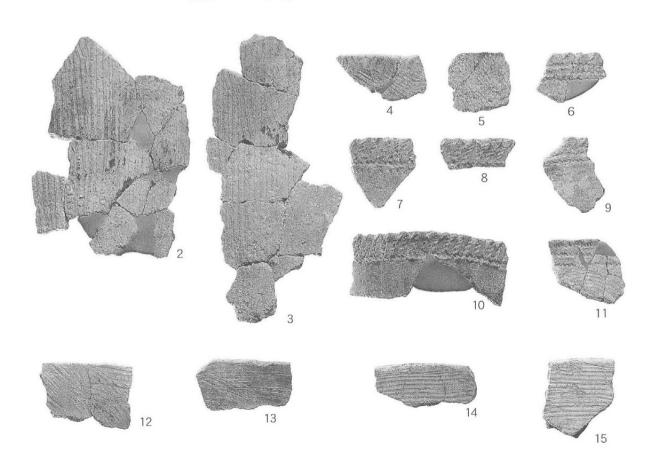
第 119 図 E区縄文時代早期包含層出土石器実測図④ (S = 2/3)



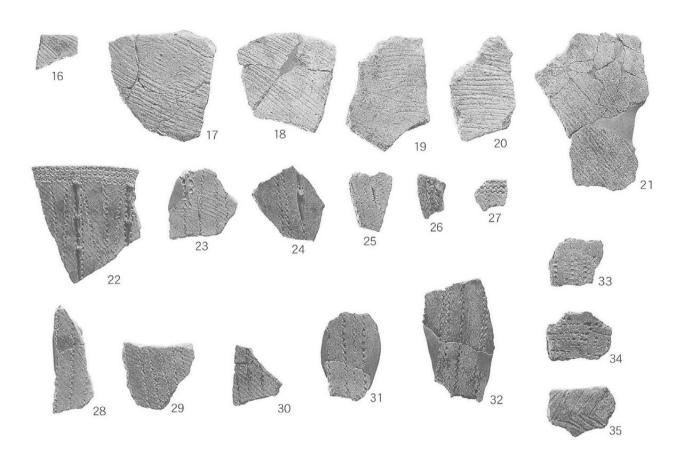
第 120 図 E 区縄文時代早期包含層出土石器実測図⑤ (S=1/2)



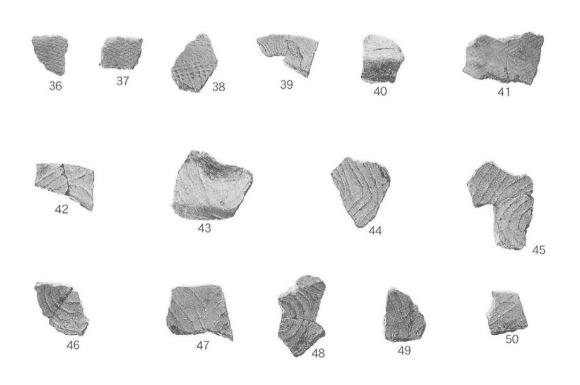
図版 126 E区縄文時代早期包含層出土土器①



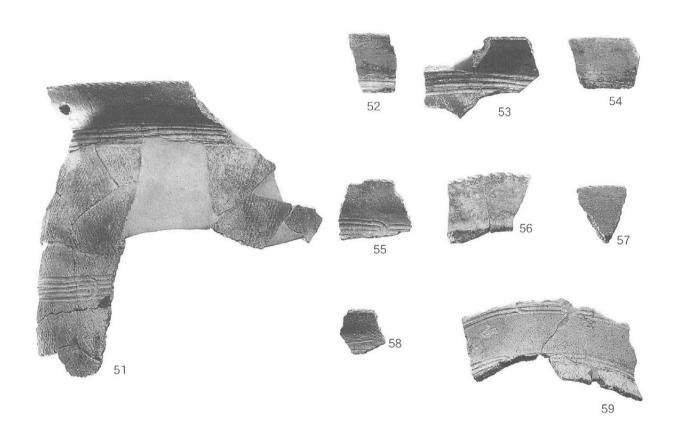
図版 127 E区縄文時代早期包含層出土土器②



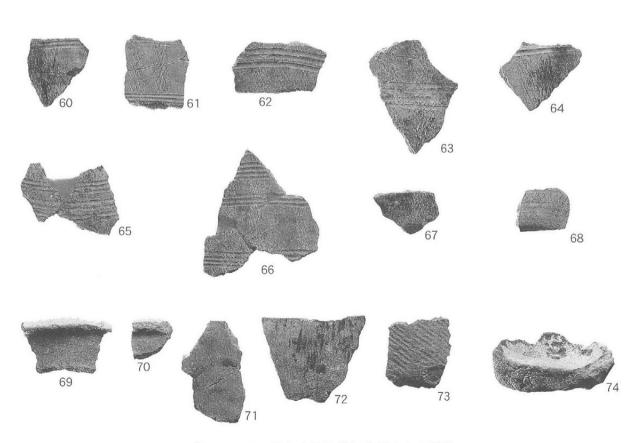
図版 128 E区縄文時代早期包含層出土土器③



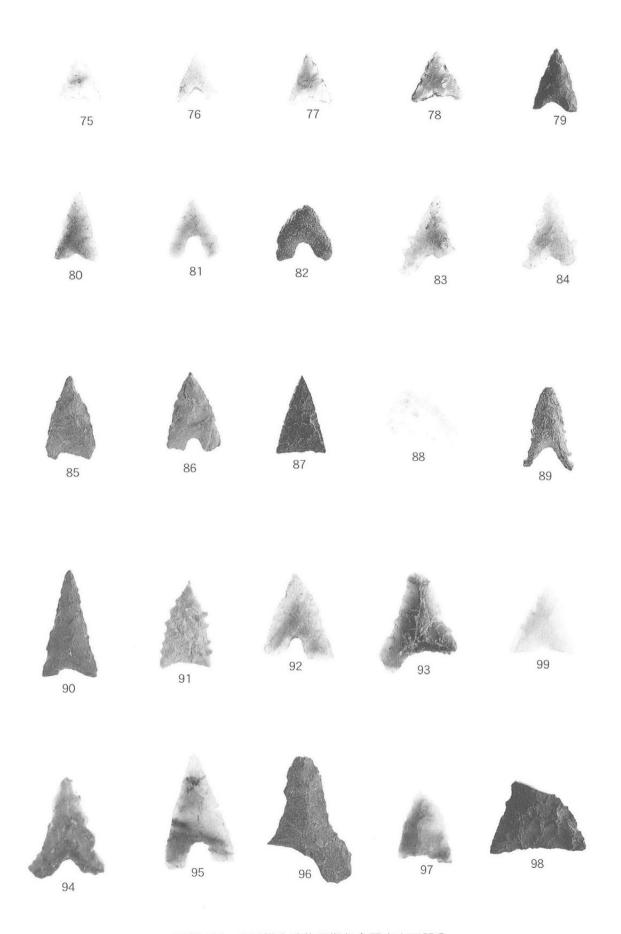
図版 129 E区縄文時代早期包含層出土土器④



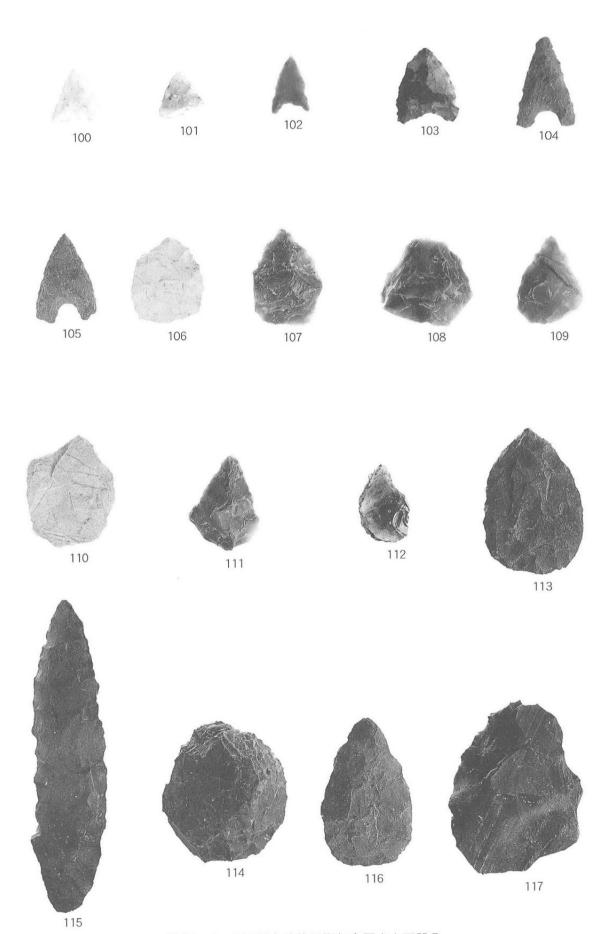
図版 130 E区縄文時代早期包含層出土土器⑤



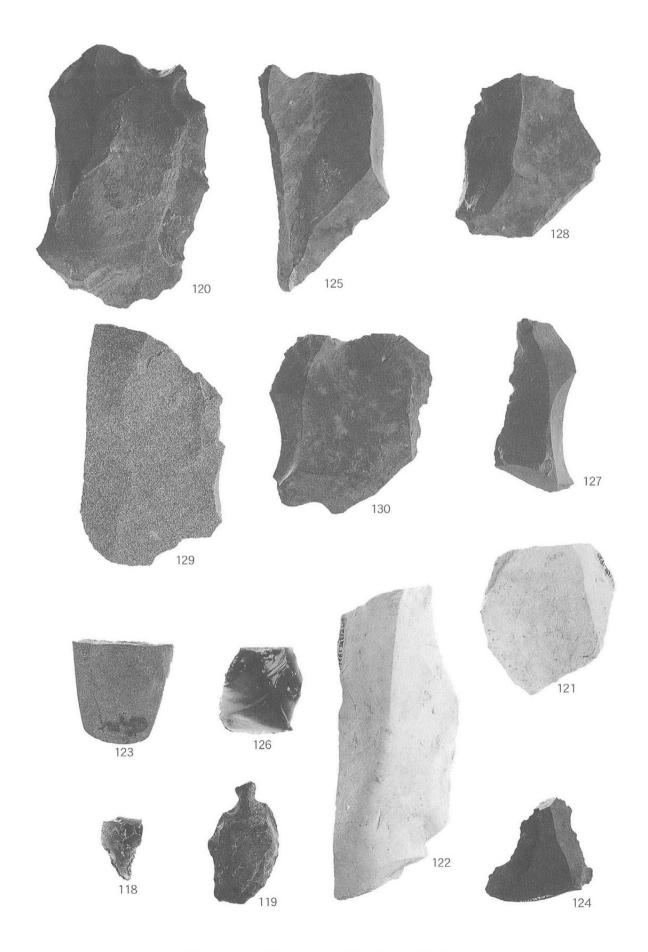
図版 131 E区縄文時代早期包含層出土土器⑥



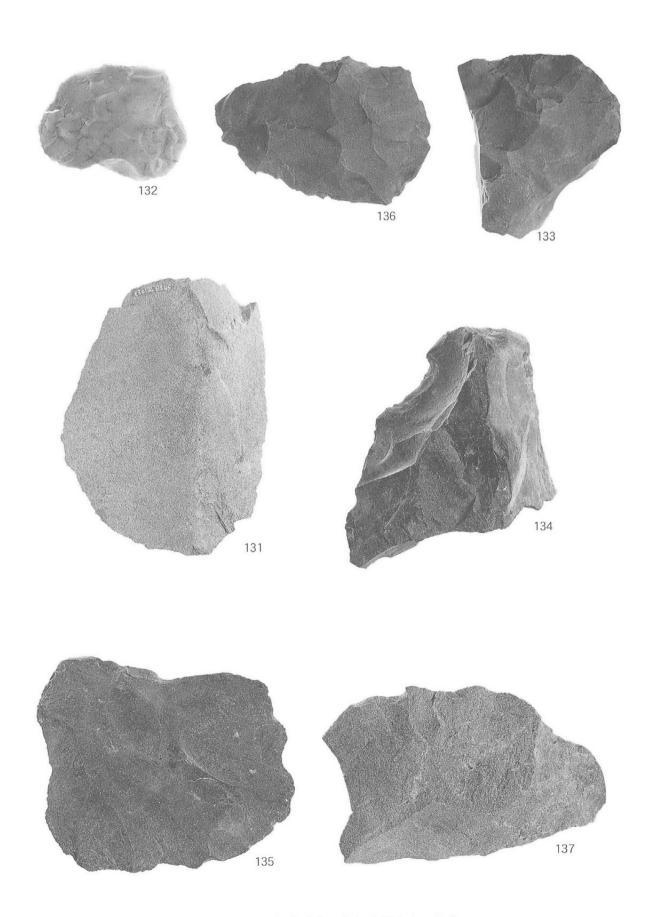
図版 132 E区縄文時代早期包含層出土石器①



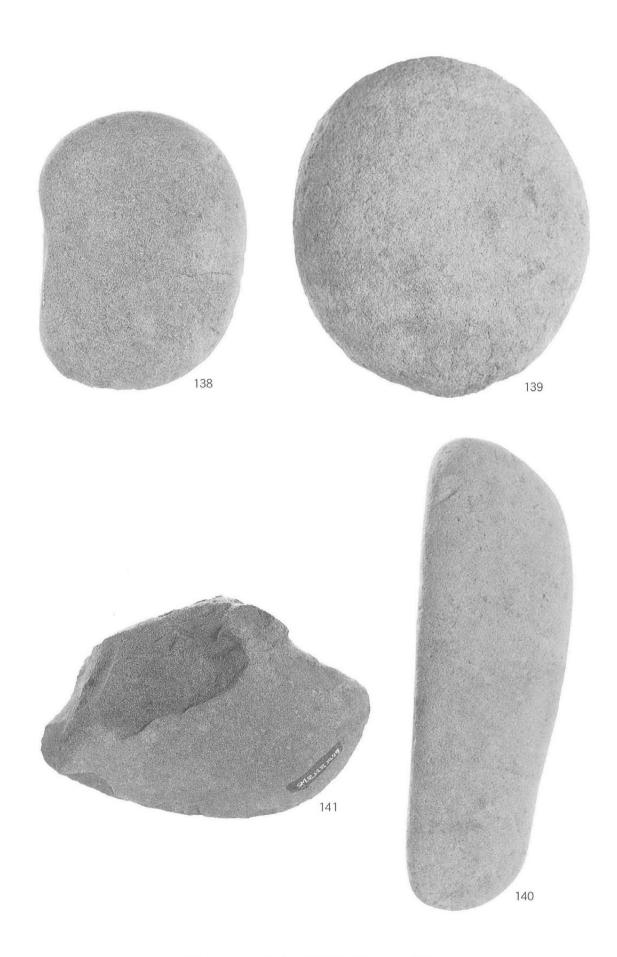
図版 133 E 区縄文時代早期包含層出土石器②



図版 134 E区縄文時代早期包含層出土石器③



図版 135 E区縄文時代早期包含層出土石器④



図版 136 E区縄文時代早期包含層出土石器⑤